

第五十九回 帝國議院

地租法案外六件委員會議錄(速記)第十八回

付託議案

(一一四)

會 議	大藏大臣 井上準之助君 商工大臣 俵 孫一君 内務大臣 安達 謙藏君	明治四十一年法律第三十七號中改正 法律案(地方稅ニ關スル件)(政府提出)	
出席委員左ノ如シ	出席政府委員左ノ如シ	大正十五年法律第二十四號中改正法 律案(地方稅ニ關スル件)(政府提出)	
委員長 本田 恒之君	内務省地方局長 次田大三郎君 内務書記官 岡田 周造君	都市計畫法中改正法律案(政府提出)	
理事 西脇 舞君	大藏政務次官 小川郷太郎君 大藏參與官 勝 正憲君	○本田委員長 開會致シマス、此際念 ノ爲ニ一言致シテ置キマスガ、減稅案 ニ對スル質問ハ二十五日ヲ以テ終了ス ルト云フコトニ 理事會ノ申合セニナッ テ居リマスカラ、質問者ハ成ベク簡潔 ニ御質問下スッテ、全部質問ヲ終リタイ ト考ヘテ居リマス、其御含デ御發言ア ランコトヲ希望致シマス	
理事 永田 善三郎君	大藏省主稅局長 青木 得三君 大藏書記官 野津高次郎君 專賣局長官 平野 亮平君	○井上國務大臣 此前ノ木暮君ノ質問 ノ時ニ、私ハ陸軍大臣ノ速記錄ヲ讀ミ マシテカラ御答致シマスヤウニ申シテ 置キマシタノデスガ、木暮君ノ言ハレ ルノハ、貴族院ノ本會議ト、ソレカラ 會ノ申合セニ依ツテ二十五日ニ質問ヲ打 切ルト云フ御言明デアリマシタケレド モ、理事會ハ二十五日ヲ以テ質問終了 ト云フコトヲハッキリ申合シテ居ルノ	
理事 中村 繼男君	商工省商務局長 橋本豊三郎君 商工省工務局長 松本忠雄君 商工省貿易局長 一柳仲次郎君	○木暮委員 左様デス ○木暮武太夫君 岡田 忠彦君 前田 喜六君 加藤鐸五郎君 津雲 國利君 同日委員東鄉實君辭任ニ付其ノ補闕ト シテ前田米藏君ヲ議長ニ於テ選定セリ 出席國務大臣左ノ如シ 出)	○井上國務大臣 ソレニ依リマスト、 大體整理節約ヲスルト云フ事ト、ソレ カラ十大政綱ノ中ニアル事モ認メテ居 ル、併ナガラ清水君ノ問ニ對シテハ、 軍備縮小ト云フ事ヲ私ハ申シテハ居リ マセヌト云フ事ダケ言ツテ居リマシテ、 私ガ申シタ如ク、幾ラノ節約ガ出來ル カ否ヤト云フ事ハ明言ノ限リデナイ、 殊ニ昭和四年、五年、六年ニ亘ツテ相 當多額ノ整理節約ヲシテ居ルカラ、此 上幾ラト云フコトハ言ヘナイケレド モ、十大政綱ノ精神ニ依ツテ整理節約 ヲヤツテ居ル、此上モヤルノデアル、斯 云フ事ヲ申シテ居ル次第デアリマシ テ、吾々ガ十大政綱ヲ出シ、又其後考 ヘテ居リマシタ事ト、何モ違ツテ居ル 事ヲ申シテハ居ラヌト私ハ考ヘテ居リ マス
理事 高橋熊次郎君	大藏政務次官 小川郷太郎君 大藏參與官 勝 正憲君	○井上國務大臣 只今委員長カラ理事 會ノ申合セニ依ツテ二十五日ニ質問ヲ打 切ルト云フ御言明デアリマシタケレド モ、理事會ハ二十五日ヲ以テ質問終了 ト云フコトヲハッキリ申合シテ居ルノ	
理事 清水 銀藏君	大藏省主稅局長 青木 得三君 大藏書記官 野津高次郎君 專賣局長官 平野 亮平君	○木暮委員 左様デス ○木暮武太夫君 岡田 忠彦君 前田 喜六君 加藤鐸五郎君 津雲 國利君 同日委員東鄉實君辭任ニ付其ノ補闕ト シテ前田米藏君ヲ議長ニ於テ選定セリ 出席國務大臣左ノ如シ 出)	○井上國務大臣 ソレニ依リマスト、 大體整理節約ヲスルト云フ事ト、ソレ カラ十大政綱ノ中ニアル事モ認メテ居 ル、併ナガラ清水君ノ問ニ對シテハ、 軍備縮小ト云F事ヲ私ハ申シテハ居リ マセヌト云F事ダケ言ツテ居リマシテ、 私ガ申シタ如ク、幾ラノ節約ガ出來ル カ否ヤト云F事ハ明言ノ限リデナイ、 殊ニ昭和四年、五年、六年ニ亘ツテ相 當多額ノ整理節約ヲシテ居ルカラ、此 上幾ラト云Fコトハ言ヘナイケレド モ、十大政綱ノ精神ニ依ツテ整理節約 ヲヤツテ居ル、此上モヤルノデアル、斯 云F事ヲ申シテ居ル次第デアリマシ テ、吾々ガ十大政綱ヲ出シ、又其後考 ヘテ居リマシタ事ト、何モ違ツテ居ル 事ヲ申シテハ居ラヌト私ハ考ヘテ居リ マス
理事 松井文太郎君	大藏政務次官 小川郷太郎君 大藏參與官 勝 正憲君	○井上國務大臣 只今委員長カラ理事 會ノ申合セニ依ツテ二十五日ニ質問ヲ打 切ルト云F御言明デアリマシタケレド モ、理事會ハ二十五日ヲ以テ質問終了 ト云Fコトヲハッキリ申合シテ居ルノ	
理事 本多真喜雄君	大藏政務次官 小川郷太郎君 大藏參與官 勝 正憲君	○木暮委員 左様デス ○木暮武太夫君 岡田 忠彦君 前田 喜六君 加藤鐸五郎君 津雲 國利君 同日委員東鄉實君辭任ニ付其ノ補闕ト シテ前田米藏君ヲ議長ニ於テ選定セリ 出席國務大臣左ノ如シ 出)	○井上國務大臣 ソレニ依リマスト、 大體整理節約ヲスルト云F事ト、ソレ カラ十大政綱ノ中ニアル事モ認メテ居 ル、併ナガラ清水君ノ問ニ對シテハ、 軍備縮小ト云F事ヲ私ハ申シテハ居リ マセヌト云F事ダケ言ツテ居リマシテ、 私ガ申シタ如ク、幾ラノ節約ガ出來ル カ否ヤト云F事ハ明言ノ限リデナイ、 殊ニ昭和四年、五年、六年ニ亘ツテ相 當多額ノ整理節約ヲシテ居ルカラ、此 上幾ラト云Fコトハ言ヘナイケレド モ、十大政綱ノ精神ニ依ツテ整理節約 ヲヤツテ居ル、此上モヤルノデアル、斯 云F事ヲ申シテ居ル次第デアリマシ テ、吾々ガ十大政綱ヲ出シ、又其後考 ヘテ居リマシタ事ト、何モ違ツテ居ル 事ヲ申シテハ居ラヌト私ハ考ヘテ居リ マス
理事 鎌木 忠正君	大藏政務次官 小川郷太郎君 大藏參與官 勝 正憲君	○井上國務大臣 只今委員長カラ理事 會ノ申合セニ依ツテ二十五日ニ質問ヲ打 切ルト云F御言明デアリマシタケレド モ、理事會ハ二十五日ヲ以テ質問終了 ト云Fコトヲハッキリ申合シテ居ルノ	
理事 一柳仲次郎君	大藏政務次官 小川郷太郎君 大藏參與官 勝 正憲君	○木暮委員 左様デス ○木暮武太夫君 岡田 忠彦君 前田 喜六君 加藤鐸五郎君 津雲 國利君 同日委員東鄉實君辭任ニ付其ノ補闕ト シテ前田米藏君ヲ議長ニ於テ選定セリ 出席國務大臣左ノ如シ 出)	○井上國務大臣 ソレニ依リマスト、 大體整理節約ヲスルト云F事ト、ソレ カラ十大政綱ノ中ニアル事モ認メテ居 ル、併ナガラ清水君ノ問ニ對シテハ、 軍備縮小ト云F事ヲ私ハ申シテハ居リ マセヌト云F事ダケ言ツテ居リマシテ、 私ガ申シタ如ク、幾ラノ節約ガ出來ル カ否ヤト云F事ハ明言ノ限リデナイ、 殊ニ昭和四年、五年、六年ニ亘ツテ相 當多額ノ整理節約ヲシテ居ルカラ、此 上幾ラト云Fコトハ言ヘナイケレド モ、十大政綱ノ精神ニ依ツテ整理節約 ヲヤツテ居ル、此上モヤルノデアル、斯 云F事ヲ申シテ居ル次第デアリマシ テ、吾々ガ十大政綱ヲ出シ、又其後考 ヘテ居リマシタ事ト、何モ違ツテ居ル 事ヲ申シテハ居ラヌト私ハ考ヘテ居リ マス
理事 鎌木 忠正君	大藏政務次官 小川郷太郎君 大藏參與官 勝 正憲君	○井上國務大臣 只今委員長カラ理事 會ノ申合セニ依ツテ二十五日ニ質問ヲ打 切ルト云F御言明デアリマシタケレド モ、理事會ハ二十五日ヲ以テ質問終了 ト云Fコトヲハッキリ申合シテ居ルノ	
理事 松本 忠雄君	大藏政務次官 小川郷太郎君 大藏參與官 勝 正憲君	○木暮委員 左様デス ○木暮武太夫君 岡田 忠彦君 前田 喜六君 加藤鐸五郎君 津雲 國利君 同日委員東鄉實君辭任ニ付其ノ補闕ト シテ前田米藏君ヲ議長ニ於テ選定セリ 出席國務大臣左ノ如シ 出)	○井上國務大臣 ソレニ依リマスト、 大體整理節約ヲスルト云F事ト、ソレ カラ十大政綱ノ中ニアル事モ認メテ居 ル、併ナガラ清水君ノ問ニ對シテハ、 軍備縮小ト云F事ヲ私ハ申シテハ居リ マセヌト云F事ダケ言ツテ居リマシテ、 私ガ申シタ如ク、幾ラノ節約ガ出來ル カ否ヤト云F事ハ明言ノ限リデナイ、 殊ニ昭和四年、五年、六年ニ亘ツテ相 當多額ノ整理節約ヲシテ居ルカラ、此 上幾ラト云Fコトハ言ヘナイケレド モ、十大政綱ノ精神ニ依ツテ整理節約 ヲヤツテ居ル、此上モヤルノデアル、斯 云F事ヲ申シテ居ル次第デアリマシ テ、吾々ガ十大政綱ヲ出シ、又其後考 ヘテ居リマシタ事ト、何モ違ツテ居ル 事ヲ申シテハ居ラヌト私ハ考ヘテ居リ マス
理事 前田房之助君	大藏政務次官 小川郷太郎君 大藏參與官 勝 正憲君	○井上國務大臣 只今委員長カラ理事 會ノ申合セニ依ツテ二十五日ニ質問ヲ打 切ルト云F御言明デアリマシタケレド モ、理事會ハ二十五日ヲ以テ質問終了 ト云Fコトヲハッキリ申合シテ居ルノ	
理事 竹田 儀一君	大藏政務次官 小川郷太郎君 大藏參與官 勝 正憲君	○木暮委員 左様デス ○木暮武太夫君 岡田 忠彦君 前田 喜六君 加藤鐸五郎君 津雲 國利君 同日委員東鄉實君辭任ニ付其ノ補闕ト シテ前田米藏君ヲ議長ニ於テ選定セリ 出席國務大臣左ノ如シ 出)	○井上國務大臣 ソレニ依リマスト、 大體整理節約ヲスルト云F事ト、ソレ カラ十大政綱ノ中ニアル事モ認メテ居 ル、併ナガラ清水君ノ問ニ對シテハ、 軍備縮小ト云F事ヲ私ハ申シテハ居リ マセヌト云F事ダケ言ツテ居リマシテ、 私ガ申シタ如ク、幾ラノ節約ガ出來ル カ否ヤト云F事ハ明言ノ限リデナイ、 殊ニ昭和四年、五年、六年ニ亘ツテ相 當多額ノ整理節約ヲシテ居ルカラ、此 上幾ラト云Fコトハ言ヘナイケレド モ、十大政綱ノ精神ニ依ツテ整理節約 ヲヤツテ居ル、此上モヤルノデアル、斯 云F事ヲ申シテ居ル次第デアリマシ テ、吾々ガ十大政綱ヲ出シ、又其後考 ヘテ居リマシタ事ト、何モ違ツテ居ル 事ヲ申シテハ居ラヌト私ハ考ヘテ居リ マス
理事 木暮武太夫君	大藏政務次官 小川郷太郎君 大藏參與官 勝 正憲君	○井上國務大臣 只今委員長カラ理事 會ノ申合セニ依ツテ二十五日ニ質問ヲ打 切ルト云F御言明デアリマシタケレド モ、理事會ハ二十五日ヲ以テ質問終了 ト云Fコトヲハッキリ申合シテ居ルノ	
理事 大口 喜六君	大藏政務次官 小川郷太郎君 大藏參與官 勝 正憲君	○木暮委員 左様デス ○木暮武太夫君 岡田 忠彦君 前田 喜六君 加藤鐸五郎君 津雲 國利君 同日委員東鄉實君辭任ニ付其ノ補闕ト シテ前田米藏君ヲ議長ニ於テ選定セリ 出席國務大臣左ノ如シ 出)	○井上國務大臣 ソレニ依リマスト、 大體整理節約ヲスルト云F事ト、ソレ カラ十大政綱ノ中ニアル事モ認メテ居 ル、併ナガラ清水君ノ問ニ對シテハ、 軍備縮小ト云F事ヲ私ハ申シテハ居リ マセヌト云F事ダケ言ツテ居リマシテ、 私ガ申シタ如ク、幾ラノ節約ガ出來ル カ否ヤト云F事ハ明言ノ限リデナイ、 殊ニ昭和四年、五年、六年ニ亘ツテ相 當多額ノ整理節約ヲシテ居ルカラ、此 上幾ラト云Fコトハ言ヘナイケレド モ、十大政綱ノ精神ニ依ツテ整理節約 ヲヤツテ居ル、此上モヤルノデアル、斯 云F事ヲ申シテ居ル次第デアリマシ テ、吾々ガ十大政綱ヲ出シ、又其後考 ヘテ居リマシタ事ト、何モ違ツテ居ル 事ヲ申シテハ居ラヌト私ハ考ヘテ居リ マス
理事 加藤鐸五郎君	大藏政務次官 小川郷太郎君 大藏參與官 勝 正憲君	○井上國務大臣 只今委員長カラ理事 會ノ申合セニ依ツテ二十五日ニ質問ヲ打 切ルト云F御言明デアリマシタケレド モ、理事會ハ二十五日ヲ以テ質問終了 ト云Fコトヲハッキリ申合シテ居ルノ	
理事 津雲 國利君	大藏政務次官 小川郷太郎君 大藏參與官 勝 正憲君	○木暮委員 左様デス ○木暮武太夫君 岡田 忠彦君 前田 喜六君 加藤鐸五郎君 津雲 國利君 同日委員東鄉實君辭任ニ付其ノ補闕ト シテ前田米藏君ヲ議長ニ於テ選定セリ 出席國務大臣左ノ如シ 出)	○井上國務大臣 ソレニ依リマスト、 大體整理節約ヲスルト云F事ト、ソレ カラ十大政綱ノ中ニアル事モ認メテ居 ル、併ナガラ清水君ノ問ニ對シテハ、 軍備縮小ト云F事ヲ私ハ申シテハ居リ マセヌト云F事ダケ言ツテ居リマシテ、 私ガ申シタ如ク、幾ラノ節約ガ出來ル カ否ヤト云F事ハ明言ノ限リデナイ、 殊ニ昭和四年、五年、六年ニ亘ツテ相 當多額ノ整理節約ヲシテ居ルカラ、此 上幾ラト云Fコトハ言ヘナイケレド モ、十大政綱ノ精神ニ依ツテ整理節約 ヲヤツテ居ル、此上モヤルノデアル、斯 云F事ヲ申シテ居ル次第デアリマシ テ、吾々ガ十大政綱ヲ出シ、又其後考 ヘテ居リマシタ事ト、何モ違ツテ居ル 事ヲ申シテハ居ラヌト私ハ考ヘテ居リ マス
理事 同日委員東鄉實君辭任ニ付其ノ補闕ト	大藏政務次官 小川郷太郎君 大藏參與官 勝 正憲君	○井上國務大臣 只今委員長カラ理事 會ノ申合セニ依ツテ二十五日ニ質問ヲ打 切ルト云F御言明デアリマシタケレド モ、理事會ハ二十五日ヲ以テ質問終了 ト云Fコトヲハッキリ申合シテ居ルノ	
理事 シテ前田米藏君ヲ議長ニ於テ選定セリ 出席國務大臣左ノ如シ	大藏政務次官 小川郷太郎君 大藏參與官 勝 正憲君	○木暮委員 左様デス ○木暮武太夫君 岡田 忠彦君 前田 喜六君 加藤鐸五郎君 津雲 國利君 同日委員東鄉實君辭任ニ付其ノ補闕ト シテ前田米藏君ヲ議長ニ於テ選定セリ 出席國務大臣左ノ如シ 出)	○井上國務大臣 ソレニ依リマスト、 大體整理節約ヲスルト云F事ト、ソレ カラ十大政綱ノ中ニアル事モ認メテ居 ル、併ナガラ清水君ノ問ニ對シテハ、 軍備縮小ト云F事ヲ私ハ申シテハ居リ マセヌト云F事ダケ言ツテ居リマシテ、 私ガ申シタ如ク、幾ラノ節約ガ出來ル カ否ヤト云F事ハ明言ノ限リデナイ、 殊ニ昭和四年、五年、六年ニ亘ツテ相 當多額ノ整理節約ヲシテ居ルカラ、此 上幾ラト云Fコトハ言ヘナイケレド モ、十大政綱ノ精神ニ依ツテ整理節約 ヲヤツテ居ル、此上モヤルノデアル、斯 云F事ヲ申シテ居ル次第デアリマシ テ、吾々ガ十大政綱ヲ出シ、又其後考 ヘテ居リマシタ事ト、何モ違ツテ居ル 事ヲ申シテハ居ラヌト私ハ考ヘテ居リ マス

付託議案
地租法案(政府提出)
營業収益稅法(政府提出)
砂糖消費稅法(政府提出)
織物消費稅法(政府提出)
明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(政府提出)
方稅制限ニ關スル件(政府提出)
大正十五年法律第二十四號中改正法律案(政府提出)
都市計畫法中改正法律案(政府提出)
稅ニ關スル件(政府提出)
耕地整理法中改正法律案(政府提出)

デハアリマセヌ、二十五日ヲ目安トシ
テ進行シヨウヂヤナイカト云フコトヲ
申合シタノデアリマシテ、無論如何ナ
ル事件ガアルカ、質問ノ工合ニ依リマ
シテハ如何ナル質問ガ起ラウガ、如何ナ
ル問題ガ起ラウガ、兎ニ角二十五日
ヲ以テ終了スルト云フコトハ申合シテ
居ラヌノデアリマス、一言辯明シテ置
キマス

同僚確ニ申合セテ、同僚間デハ時々私共非難ヲ受ケマス位、同僚ノ御方々ニ對シテモ何トカ簡潔ニ出來ナイカト云フヤウナコトヲ申上ゲ、私モ關聯シタル質問デ承リタイト思フ事がアリマシテモ、時間ヲ恐レマスカラ出來ルダケ辛抱致シテ、自己ノ質問ノ時ノ來ルノヲ待ツテ居ルノデアリマスカラ、出來ル限り私共モ進行スルコトヲ努メテ居ル積リデアリマシテ、眞面目ニ誠意ヲ以テヤツテ居ル積リデアリマス、唯斯ウ云フ重大ナ問題デアル、減稅ガ一時のノモノデアレバ是ハ又其場限リデ濟ムト云フ事情モアリマスガ、大分長イ、是ハ恒久的ノモノデアルカラシテ、餘程將來ノ我國ノ財政ニ付テモ研究討議シテ置ク必要ガアルト考ヘマシテ、種々私共モ質問ヲ致シタイ點モアリマスカラ、出來ルダケ委員長ノ思召ヲ體シシテ私共努メマスカラ、ドウカ其思召デ、委員長ニ於テモ私共ニ相當質問ノ餘裕ヲ御與ヘ下サルヤウニ、御取計ヒ下サルヤウニ願ヒタイ、只今御宣告ノヤウニ二十五日トキメテシマツタト云フコトデアルト、大分是ハ意見ガ違フト思ヒマス、出來ルダケ努メマスコトハ勿論デアリマスカラ、ドウカ私共ノ誠意ノアル所ヲモ委員長ニ於テ御汲取置キ下サルヤウニ御願致シタイト考ヘテ

○本田委員長 尚ホ一言致シテ置キマス、過日モ理事會ニ於キマシテ私ヨリ二十五日ヲ以テ質問ヲ終了シタイ、デアルカラ政友會ノ理事諸君モ其事ニ御承認ヲ得タイト云フコトヲ私カラ申出デマシタノデ、理事諸君ニ於キマシテモサウスルコトニ御同意ニナリマシタ、ソレデ其積リデ進行シテ居リマス、尙又併シ私ハ質問者ノ全部ヲシテ満足ヲセラレルヤウニ取計ヒタイト考ヘテ居リマスカラ、過日カラ夜分モ繼續シテヤリマシタケレドモ、夜分ノ委員會ノ繼續ニハ段々御疲勞ヲ感ゼラレテ、廢メテ貴ヒタイト云フ希望モ段々アリマス、尤モ至極ト考ヘマスカラ、私委員長トシテハ、成ベク諸君ガ簡潔ニ御回答ニナリマスレバ、二十五日マデニハ全部ノ質問ヲ終了スルニ十分ノ時間ガアルト考ヘマシタカラ、サウ云フ提議ヲシテ、理事諸君ノ同意ヲ得タ次第デ質問ヲ圓滿ニ終了シタイト考ヘテ居リマス、御希望ニ依リマスレバ——尙ホ二十五日マデニ終了ノ見込ガナク、時間モ何等厭ヒマセヌ、併カガラ非常ニ疲労シテ困ルト云フ御意見ガ段々アリマバ、委員長トシテハ夜分ニ繼續スルコトモ何等厭ヒマセヌ、併カガラ非常ニ疲労シテ困ルト云フ御意見ガ段々アリマスカラ、委員長ハ之ヲ斟酌シテ夜分ヲ

中止致シマシタガ、御希望ニ依リマスレバ夜分ニ繼續スルコトヲ決シテ委員長トシテハ厭ヒマセヌ、昨日モ時間ガ参加藤君ノ御質問ハ長カラウト存ジマシタカラ、時間デ打切ッタ次第デアリマス〇清水(銀)委員只今ノ御話デハ、二十五ニ質問打切ト云フコトヲ全部ノ理事ガ同意シタト云フコトデゴザイマシタガ、吾々ハ言葉ノ上ニ於キマシテハドウ取レマスカ知レマセヌガ、兎ニ角目安ヲ二十五日ト云フコトニ置イテ御互ニ進行シヨウデナイカト云フ御話ニ同意致シタノデアリマス、二十五日ヲ以テ終了致スト云フ委員長ノ其御提案ニ、全部吾々ガ同意致シタト云フコトハ私ハ思モ依ラヌコトデアリマス、私共ハ二十五日ヲ以テ終了スルト云フ其目安ヲ以テ進行シヨウデナイカ、ソレニ對シテハ吾々ハ最善ノ努力ヲ致スト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、是ダケハ私ハ當時立會致シマシタ者トシテ辯明致シテ置キマス

○大口委員 私モウ一言——只今ノ委員長ノ御希望ナラ洵ニ私ハ當然ノ御希望ト思^ワテ了解致シマスガ、併シ一言序デアルカラ御願シテ置キタイノハ、豫テ御内談的ニ申上ゲタ通り、私ガ質問シヨウト考ヘテ居リマス事ハ、先づ先ニ内田君ノ海軍大臣ニ對スル質問ノ結果ガ付カナイト困リマス、ソレカラ岡田忠彦君ノ内務大臣ニ對スル質問ガ完結シナイト云フト、是ハ時間ヲ取ルバカリニナリ、二重ニモ三重ニモナッテ質問應答ガ行ハレルヤウニナリマスカラ、私ハ順序ヲ立テ、成ベク時間ヲ無駄ニシナイヤウニスル爲ニハ、此海軍大臣ニ對スル問題ハ内田君ニ讓^ツテ、内田君ノ質問應答ガ濟ムノヲ待^ツテ、ソレデ盡キレバ私ハ質問ヲシナイデアリマス、ソレカラ内務大臣ニ對スル地方稅ノ問題モ、岡田君ノ質問ガ内務大臣ニ對シテ完結シテ、ソレデ或ル程度マヂ掛ケニナ^ツテ居リマス、質問ヲ始メレバ甚ダ其處ニ無益ナ事ガ出來マスカラ、之リマス、ソレデアリマスカラ是ガ食ヒ双方ノ便ヲ圖ル爲ニ私ハ兩君ノ質問ノ終結ヲ待^ツテ居ル譯ニアリマスカラ、之ニモ委員長トシテ御盡力ヲ願ヒマシ

テ、サウシテ内務大臣ナリ海軍大臣ナリ御出席ヲ願ツテ、之ヲ片付ケテ下サルヤウニ御盡力下サレバ、洵ニ簡潔ニモ参ラウカト存ジマスカラ、サウ云フ點ニ對シテモ委員長ニ御盡力ヲ願ヒ、私共モ出來ルダケ委員長ノ御意見ノアル所ヲ體シテ、御互ニ眞面目ニ進ンデ見テ、ソレデドウシテモ誰ノ目ニモ、モウ少シ此質問ハ當然繼續スペキモノト御認メ下サル場合ニハ、更ニ御相談下サルコトニナラナイト、今日カラ二十五日デ打切ルト云フ先刻ノ御話ノヤウニ聽キマシタカラ私モ申シタノデアリマス、只今ノ委員長ノ御聲明デアレバ、其處ニ餘裕ガアリマシテ、御互ニ是ハ誠意ヲ以テ眞面目ニ意見ヲ交換シタイト考ヘマスカラ、只今ノ御聲明デ諒解致シマシタガ、尙ホ此希望ヲ申述べテ置キマス

稀ナ場合ハ外形標準デヤルガ、殆ド全
部ハ純益ニ課税ヲスルト云フ意味ノ御
答辯ガアリマシタガ、ソレハ間違ッテハ
居ルマイカト云フ質疑ヲ致シマシタニ
對シテ、大藏大臣ハ依然トシテ本會議
ノ主張、即チ稀ノ場合ニハ外形標準デ
課税ヲスルノデアルト云フコトヲ申サ
レタニ對シテ、私ガ稅務署ニ於テ祕密ニ
出シテ居ル所ノ文書ヲ以テ、斯ウ云フ
風ニ外形標準デ課ケテ居ルデハナイカ
ト質疑ヲシタ、ソレニ對シテ大藏大臣
ハマダ言ヲ左右ニシテ、的確ニ其通り
デアルトモ何トモ仰シヤラナインデア
リマス、ソコデ私ハ飽マデ追窮スル譯
デハアリマセヌガ、既ニ斯様ナモノガ
出テ居ル以上ハ、是ハ正直ニ御認メニ
ナツタラドウデアリマスカ、左様ナ事ヲ
言ヲ左右ニシテ堅白異同ノ辯ヲ弄サレ
ルヨリモ、寧ロ議事ノ進行ノ上ニ於テ、
斯ウ云フモノハ成程遺憾デアルガ、斯
ウ云フモノガ出テ居ル、即チ外形デヤ
テ居ルト云フコトノ御答辯ヲ得マスレ
バ、私ハ此問題ハ是レ以上追窮致シマ
セヌガ、昨晩ハ委員長ガ中途ニ於テ散
會ヲ命ぜラレマシタガ故ニ、今日私ハ
改メテ大藏大臣ノ正直ナル御答辯ヲ得
タイト存ズルノデアリマス

ハ純益ヲ標準ニシテ課稅スル、ソレガ
加藤君ノ舉グラレタヤウナ所謂外形標準ニ依ルヤ、ウナ形ガアルケレドモ、ソレハ純益ヲ算出スル手段ニ使フノデアル、斯ウ云フ大體ノ説明デアリマス、而シテ昨日ハ實ハ此御持ノモノヲ私手許ニ持チマセヌデシテ、サウシテ之ヲズット指摘サレマスガ、成程營業者ニ對シテ所得稅營業收益稅ヲ見マスノニ或ル一定ノ賣上高、收入高等ヲ基ニシテ課稅標準ヲ立テ、居ルノデアリマス、サウシテ所得稅ヤ何カヲ割出シテ居リマスガ、併ナガラ是其モノガ課稅ニナルノデアリマセヌノデ、總テ純益ヲ算出スル手段ニ之ヲ使フテ居ルノデアリス、隨ヒマシテ假リニ純益ガナカツタト致シマシタラ、ソレニ對スル種々ノ訴願等ノ方法モ十分認メテ居ルノデアリマス、御承知ノ如ク純益デ取ル、併ナガラ個人ノ營業者ニ對シテ、加藤君ガ舉グラレタ如ク帳簿ノ整頓モ出來テ居ラヌ、サウ云フ場合ニドウシテ見ルカト云フコトハ可ナリ困難ナ問題デアリマスカラ、此表ニアリマス如ク、ドノ品物ハ百圓賣レバソレガ幾ラノ利益ガアル、ドノ商品ハ百圓賣レバ幾ラノ利益ガアルト云フコトヲ、毎年斯ウ云フモノヲ一つ拵ヘマシテ、サウシテ之ニ依ツテ大體純益ヲ算出スルノデ、併シ是ガ全部デハナイノデアリマス、要る

ルニ是ガ加藤サンノ言ハレル外形標準、是ハ見テ居リマセヌ、即チ是ハ純益ヲ割出ス一ツノ手段方法、便宜ナ方法デアル、營業収益稅ハ何處マデモ純益標準デアルト斯ウ云フコトデアリマス。

○加藤委員 實ニ驚入ッタ御答辯デアル、私ハ昨日以來青木政府委員ノ如キハ織物課稅ニ對シテ正直ニ眞相ヲ御述ニナリマシタカラ、言ヒタイ事ハアリマシタガ、私ハソレ以上追窮シマセヌデシタ、此位明々白々ノ事ヲ、辭ヲ左右ニシテ堅白異同ノ辯ヲ弄スルノハ實ニ失敬極マル、此一ツヲ見マスト、如何ニシテ何ニシテ純益ヲ見ル標準トスル、純益ヲ見ル標準デアル、純益ヲ如何ニシテ見出スカト云フコトガ營業収益稅ノ根本義デ収益ニ課稅スルコトガ根本義デアル、ソレヲ純益ヲ見出ス一ツノ便付テ申上ゲル如ク、九十三「バーント」ト云フ個人ノモノハ、此不景氣ニナッテ純益ガ少シモナイニモ拘ラズ、又純益ガ僅カアッタニシテモ、ソレハ何モ一つノ付イテ調査ヲスル譯デハアリマセヌ、申告ニ對シテ勝手ノ目安ヲ置イテ、基本調査ト稱シテ、町内ノ一軒位ニ彼處ノ家ハドウダラウ位聽イテ、ソレヲ標準ニシテ利益ヲ見積ルノデアル、利益ガドレダケアルカ

分ラヌ、茲ニ滑稽ナ事ガアル、他ノモ
ノハ事實ニ就テ調査スル所ガナイガ、
唯一ツ政府ノ煙草デアル、煙草ハ成ベ
ク實地調査ヲスルコト、書イテアル、
是ハ實ニ滑稽極マル事デアル、煙草ハ
百圓ノ賣上ニ對シテ色々ノ區別ガアル
ガ、是ダケハ備考ノ中ニ成ベク實地ニ
就テ調査スルコト、アル、後ノモノハ
實地ニ就テ調査スルト云フコトハ一ツ
モナイ、成ベク實查ヲスルコト、アル、
是レ悉ク目安アデル、是ガ外形標準デナ
クテ何デアル、然ルニ辭ヲ左右ニシテ、
尙ホ之ヲ以テ純益ヲ見ル方法デアルト
ハ何タル事デアル、元ノ營業稅ニ於テ
モサウデアル、例ヘバ營業ノ賣上高ガ
アル、家賃ヲ引クトカ、アルモノヲ控除
スルト云フノハ何デアリマス、賣上高
ニ課稅スルノデハナイ、何デアルカト
云ヘバ、サウ云フモノヲ控除スルト云
フコトハ、此賣上高ニ對シテ純益ガド
レダケアルト云フ氣持カラ、サウ云フ
コトヲ致シタノデアル、純益ト云フノ
ハ元ハナカッタノデアリマスガ、純益
ヲ見ル爲ニサウ云フ色々ノモノヲ控除
スルヤウニ出來テ居ツタ、然ルニ之ヲ
ナタハ此頃何時モ實際ノ問題ニ對シ
テ、的確ノ事モ、辭ヲ左右ニシテ、サ
スルノハ何タルコトデアリマスカ、ア
ウデナイ、斯ウデナイト云フコトヲ言

ハレルガ、此位明々白々タルニ於テス
ラ、アナタガ之ヲ否認シテサウデナイ
ト言フコトハ何タルコトデアリマス
カ、厚顔無恥ト言ハズシテ何デアルカ、
小人デモ事實ヲ突付ケラレテハ左様ナ
コトハ申シマセヌ、況ヤ大藏大臣ガ斯
様ナコトヲ實際ニ於テ見セ付ケラレ、
之ヲ又サウデナイト云フニ至ッテハ厚
顔無恥ニアラズシテ何デアルカ、何カ
御答辯ガアツタラ承リマセウ
○井上國務大臣 只今ノ御質問ニ對ス
ル説明ガアリマスカラ、ソレヲコチラ
デ説明ヲサセマス
○青木政府委員 只今ノ成ベク實査ス
ルコト、云フ……
○加藤委員 ソンナ枝葉末節ノ事デハ
ナイ、根本問題デアル
○青木政府委員 根本問題ハ後デ大藏
大臣カラ御答ニナリマス、成ベク實査
スルコト、云フコトハ、煙草ノ利益歩
合ハ等級ニ依ツテ皆異ツテ居リマスカ
ラ、ソレデ斯ウ云フコトニナツテ居リ
マス
○加藤委員 煙草ダケハサウデアル
ガ、他ノモノハドウデアリマスカ
○青木政府委員 ソレハ私ガ昨日御答
致シマシタヤウニ、此所得標準率ト云
税務署ノ定員ヲ以テシテハ、全部ノ所
得者ニ付テ實査ヲスルコトガ出來マセ

ルノデアリマシテ、之カ法律ノ規定ノ上ニ於テ、營業稅時代ニ於テ物品販賣業ニ付テハ賣上金額、卸賣ガ甲萬分ノ八、乙萬分ノ十一、從業者一人毎ニ金二圓ト云フヤウナ法律ヲ以テ標準ヲ定メテ居リマシタノトハ、全ク其趣旨ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、營業稅ノ時代ニ於テ斯ノ如キ外形標準ヲ設ケテ置キマシタノハ、決シテ純益ヲ計算スル所ノ標準デハアリマセヌ、只今營業稅時代ニ於ケル外形標準ト云フモノハ、純益ヲ計算スル標準デアルカノ如キ御説ガアリマシタケレドモ、私共ハ決シテ左様ニ信ジテ居リマセヌ、是ハソレ自體ヲ計算スル所ノ標準デアリマス、ソレデアルカラ左様ナ營業稅ソレ稅時代ノ外形標準ト云フモノハ營業稅自身ヲ外形標準ニ依ツテ課稅スルコトガ惡イト云フコトニ依ツテ、此度ハ純益ヲ以テ營業收益稅ヲ課スルト云フコトニ致シマシテ、其純益ヲ計算スル所ノ目安ヲ此處ニ置イテ、所得標準率ヲ應用シテ純益ノ方モヤツテ居ルト云フコトデアリマシテ、決シテ是ダケヲ以テ稅額ヲ計算スルト云フノデハアリマセヌ、昨日私ガ何カ嘘ヲ申シタト云フヤウナ御言葉モアリマシタガ、ソレハ加藤サンノ仰セニナル通り、私共モ實查

スル割合ハ百ノ中デ少クトモ一割ハ實
查ヲシロト云フコトヲ申シテ居リマス
ガ、稅務署ノ今日ノ定員ヲ以テシテハ、
困難ナ狀況デ、ソレハアナタノ仰セニ
ナル通リデアリマスケレドモ、ソレハ
今大臣カラ仰セニナリマスヤウニ純益
ソレ自身ヲ推定スル標準ニナツテ、此所
得標準率ガ出來テ居ルノデアリマシ
テ、營業稅時代ノ外形標準ト云フコト
トハ全ク趣旨ガ違ツテ居ルト考ヘマス
○加藤委員 私ハ政府委員ニ質問シタ
ノデハアリマセヌガ、只今政府委員ノ
説明ニ依レバ、是ハ純益ヲ見出スノデ
アルケレドモ、一割位シカ實際ノ調査
ハ出來ヌト政府委員自體ガ言ハレル
ガ、一割モ出來テ居リマセヌ、百人ノ
中ノ三人力四人シカ實際ノ調査ガ出來
テ居ラス、政府委員ニスラ百人ノ中一割
フモノハ目安デ宜イト自白シテ居ル、デ
アルガ故ニ營業稅ノ時ハ純益ニ課稅ス
ルト云フノデハアリマセヌガ、法律ノ
精神ハ又其處ニアツタノデアリマス、色
色ノモノヲ控除スルト云フコトハ其處
ニアツタ、ソンナ細カイ理窟ハ兎モ角
トシテ、大體實際問題トシテハドウデ
アルカ、實際問題トシテハ十人ノ中ノ
一人キリ調査セス、アトノ者ハ悉ク調
査セヌ、是ハ明白デアリマス、サウデ

アルガ、實際ハ百人ノ中ノ二人位シカ
調査セヌデ、アトハ損ヲシテモドウシ
ガ、稅務署ノ今日ノ定員ヲ以テシテハ、
一割ノ實查ヲスルト云フコトヲ申シテ居
リマス、儲ケタノデアルト云フ目安ノ下
ニ、此純益ハ必ズアルモノデアル、例
へバ生絲ノ如キニ於テモ百圓扱ヘバ二
十五圓乃至三十五圓儲カツタモノダ、
斯ウ云フ實ニ亂暴至極ナ方法デ、是ダ
ケ純益ガアツタモノダト云フ頭デヤツ
テ居ル、外形標準ト何處ガ異ルカ、言
葉ノ形式デハアリマセヌ、實際問題デ
アリマス、商人ノ實際問題トシテ課稅
サレル時ニ外形標準ト何ガ違フカ、法
律ノ精神ガドウデアルトカ、是ハ法律
ノ建前デアルトカ、ソンナ事デハナイ、
懷ロカラ出ス國民カラ言ッタラ同ジ事
デアル、之ヲ外形標準ト言ハズシテ
何デアルカ、言葉ハ何デモ宜イ、事實
ハサウデハナイカ、是マデモ詭辯ヲ
弄シテ、法律ノ文句ガドウトカ、精神
ガドウデアルトカ言フガ、國民ノ實際
問題ハドウデアルカ、大藏大臣如何デ
アルガ故ニ營業稅ノ時ハ純益ニ課稅ス
ルカ

○井上國務大臣 再ビ 説明致シマス
ガ、アナタノ持テ居ラレル其外形標
準ト言ハレルモノハ、年々ノ經濟狀態
ハ怪シカラヌノデアリマスガ、法人モ
個人モ賣上高ト云フモノニ課稅ヲ致シ
ス、即チ營業收益稅ト云フモノハ理窟
ハ頗ル宜シイガ、實際問題トシテ惡イ
事ガ三四アル、第一ハ、個人ト法人ノ間
ニ頗ル不公平デアルト云フ事デアリマ
ス、從來ノ營業稅ハ賣上高ニ課稅スル
カラ怪シカラヌ、成程理窟ノ上ニ於テ
ハ怪シカラヌノデアリマスガ、法人モ
個人モ賣上高ト云フモノニ課稅ヲ致シ
ス、從來ノ營業稅ノ時ニ於テハ、調查委員
ノ所ニ行ツテ色々申立て、私ノ家ハス
ウデアリマスト言ッテ、町内ノサウ云
フ委員ノ所ニ申出テ、委員ガ、成程ア
ナタノ所ハサウダト云フヤウナ風ニ、
其處デ手加減モ致シマシタガ、只今ハ
サウ云フ途ハアリマセヌ、唯申告シテ

アルガ、實際ハ百人ノ中ノ二人位シカ
調査セヌデ、アトハ損ヲシテモドウシ
ガ、稅務署ノ今日ノ定員ヲ以テシテハ、
一割ノ實查ヲスルト云フコトヲ申シテ居
リマス、儲ケタノデアルト云フ目安ノ下
ニ、此純益ハ必ズアルモノデアル、例
へバ生絲ノ如キニ於テモ百圓扱ヘバ二
十五圓乃至三十五圓儲カツタモノダ、
斯ウ云フ實ニ亂暴至極ナ方法デ、是ダ
ケ純益ガアツタモノダト云フ頭デヤツ
テ居ル、外形標準ト何處ガ異ルカ、言
葉ノ形式デハアリマセヌ、實際問題デ
アリマスカラ、御聞キニナツタ諸君
デアリマスカラ、御聞キニナツタ諸君
テ居ル、外形標準ト何處ガ異ルカ、言
葉ノ形式デハアリマセヌ、實際問題デ
アリマス、商人ノ實際問題トシテ課稅
サレル時ニ外形標準ト何ガ違フカ、法
律ノ精神ガドウデアルトカ、是ハ法律
ノ建前デアルトカ、ソンナ事デハナイ、
懷ロカラ出ス國民カラ言ッタラ同ジ事
デアル、之ヲ外形標準ト言ハズシテ
何デアルカ、言葉ハ何デモ宜イ、事實
ハサウデハナイカ、是マデモ詭辯ヲ
弄シテ、法律ノ文句ガドウトカ、精神
ガドウデアルトカ言フガ、國民ノ實際
問題ハドウデアルカ、大藏大臣如何デ
アルガ故ニ營業稅ノ時ハ純益ニ課稅ス
ルカ

○井上國務大臣 再ビ 説明致シマス
ガ、アナタノ持テ居ラレル其外形標
準ト言ハレルモノハ、年々ノ經濟狀態
ハ怪シカラヌノデアリマスガ、法人モ
個人モ賣上高ト云フモノニ課稅ヲ致シ
ス、即チ營業收益稅ト云フモノハ理窟
ハ頗ル宜シイガ、實際問題トシテ惡イ
事ガ三四アル、第一ハ、個人ト法人ノ間
ニ頗ル不公平デアルト云フ事デアリマ
ス、從來ノ營業稅ハ賣上高ニ課稅スル
カラ怪シカラヌ、成程理窟ノ上ニ於テ
ハ怪シカラヌノデアリマスガ、法人モ
個人モ賣上高ト云フモノニ課稅ヲ致シ
ス、從來ノ營業稅ノ時ニ於テハ、調查委員
ノ所ニ行ツテ色々申立て、私ノ家ハス
ウデアリマスト言ッテ、町内ノサウ云
フ委員ノ所ニ申出テ、委員ガ、成程ア
ナタノ所ハサウダト云フヤウナ風ニ、
其處デ手加減モ致シマシタガ、只今ハ
サウ云フ途ハアリマセヌ、唯申告シテ

置イテ、稅務署ニ於テ所得稅調查委員ト僅カノ者ガ、先刻來申シテ居ル此標準ニ依ツテ純益アルモノト認ムルダケデアリマスガ故ニ、此點ハ如何ニ見マシテモ、法人ト個人ノ間ニ願ル不公平デアルト云フコトハ、實際問題トシテハドウシテモ御認ニナラザルヲ得スノデアリマス

ソコデモウ一ツノ問題ハドウナルカト云フト、大キイ商賣人及ビ只今申シタコトニ依ツテ法人ハ免レルコトガ比較的易イノデアル、是ハ昨日來屢々申シ

マシタガ故ニ、私ハ細カクハ申シマセヌガ、上ノ方ノ者ハ免レルノニ工合好

ク出來テ居ル、殊ニ法人ニ於テハ少シ純益ガ多クナツテ來レバ、ヤレ從業員

ノ旅行スル旅費ニ出ストカ、ヤレ何ニ出ストカ、ヤレ廣告費ニ出シタカ、

合法的ニ從ツテ之ヲ免レルヤウニ出來テ居リマスガ故ニ、大概稅務署デ今年ハ此位ナ範圍ニ於テ取ルト云フ額ガ定

マルト云フト、勢ヒ是ガ下ノ方ヘ持ツテ來テ下ノ商工業者ノ損ヲシタ者ニデモ之ヲ脊負ハセルト云フコトニナル、

是ハ實際問題デアル、デアリマスガ故ニ、他ノ處ハ知リマセヌガ、名古屋ナドニ於キマシテハ、濱口大藏大臣ノ時ニ

云フモノガ高過ギル、此假想標準率トスウ云フモノガ出マシテ以來、二倍三

倍ハ當リ前ノ事デアル、甚シイ處ハ十

倍ノ純益ヲ見ルト云フ上カラ云ヘバ、

人——豆腐屋、八百屋ガ執ルヤウナ事トニナル、故ニ上ノ方ノ負擔ヲ下ノ方

ノ者ニ負ハシムル、實際問題ニ至ツテハサウ云フ事ニ相成ルノデアル

ソレカラ只今ノ假想利益標準率ト云

フモノハ、所謂假想デアル、損ヲシテ居ルカモ知レス——煙草ハ損ハセスカモ

知レマセヌガ、豆腐屋デアルトカ、八百屋ト云フモノハ、ドレダケ賣上高ガ

アツテモ損ヲシテ居ルカモ知レス、ソ

レヲ構ハズニ卸賣ハドレダケ、小賣ハ

ドレダケ儲カツタト云フ所ノ假想標準

率ガアツテ是デ皆稅金ヲ取ラレテシマ

フ、デアリマスガ故ニ假想標準率ガ高

イ——是ハ私昨日歸ツテ見マスト新聞

ヲ送ツテ來テ居リマシタガ、名古屋ニ

於テハ、長野縣アタリカラ生絲ニ對シテ

ハアリマスガ故ニ、實際問題トシテハ

スト云フノデ、ソレニ負ケテシマフ譯

ス、デアルカラ泣ク子ト地頭ニハ勝テ

ハレルヤウニ面倒ナ手續ヲシテ出テ争

率ニ依リマシテ純益アルモノト見ラレ

シタイケレドモ仕方ガナクテヤツテ居

店ヲ張ツテ居リマスガ、事實ハ夜逃ヲ

アル、机ノ上デハ立派デアルガ、實際問

題トシテハアベコベデアル、勝君ハ何

アル、是ハ諸君モ能ク御研究ニ相成リ

ナコトガ書イテアルガ、實際ハ駄目デ

アル、是ハ日本ノ現狀ニ於テハ、私ハ昨日申シ

マシタ如ク、八百屋ヲ始メルノニ簿記

ノ日本ノ現狀ニ於テハ、私ハ昨日申シ

テシマフ、之ヲ争フ途ガナイ、只今言

ハレルヤウニ面倒ナ手續ヲシテ出テ争

率ガアツテ是デ皆稅金ヲ取ラレテシマ

フ、デアリマスガ故ニ假想標準率ガ高

イ——是ハ私昨日歸ツテ見マスト新聞

ヲ送ツテ來テ居リマシタガ、名古屋ニ

於テハ、長野縣アタリカラ生絲ニ對シテ

ハアリマスガ故ニ、實際問題トシテハ

スト云フノデ、ソレニ負ケテシマフ譯

ス、デアルカラ泣ク子ト地頭ニハ勝テ

ハレルヤウニ面倒ナ手續ヲシテ出テ争

率ガアツテ是デ皆稅金ヲ取ラレテシマ

フ、デアリマスガ故ニ假想標準率ガ高

イ——是ハ私昨日歸ツテ見マスト新聞

ヲ送ツテ來テ居リマシタガ、名古屋ニ

於テハ、長野縣アタリカラ生絲ニ對シテ

ハアリマスガ故ニ、實際問題トシテハ

スト云フノデ、ソレニ負ケテシマフ譯

ス、デアルカラ泣ク子ト地頭ニハ勝テ

ハレルヤウニ面倒ナ手續ヲシテ出テ争

率ガアツテ是デ皆稅金ヲ取ラレテシマ

フ、デアリマスガ故ニ假想標準率ガ高

イ——是ハ私昨日歸ツテ見マスト新聞

ヲ送ツテ來テ居リマシタガ、名古屋ニ

於テハ、長野縣アタリカラ生絲ニ對シテ

ハアリマスガ故ニ、實際問題トシテハ

スト云フノデ、ソレニ負ケテシマフ譯

ス、デアルカラ泣ク子ト地頭ニハ勝テ

ハレルヤウニ面倒ナ手續ヲシテ出テ争

率ガアツテ是デ皆稅金ヲ取ラレテシマ

フ、デアリマスガ故ニ假想標準率ガ高

イ——是ハ私昨日歸ツテ見マスト新聞

ヲ送ツテ來テ居リマシタガ、名古屋ニ

於テハ、長野縣アタリカラ生絲ニ對シテ

ハアリマスガ故ニ、實際問題トシテハ

スト云フノデ、ソレニ負ケテシマフ譯

ス、デアルカラ泣ク子ト地頭ニハ勝テ

ハレルヤウニ面倒ナ手續ヲシテ出テ争

率ガアツテ是デ皆稅金ヲ取ラレテシマ

フ、デアリマスガ故ニ假想標準率ガ高

イ——是ハ私昨日歸ツテ見マスト新聞

ヲ送ツテ來テ居リマシタガ、名古屋ニ

於テハ、長野縣アタリカラ生絲ニ對シテ

ハアリマスガ故ニ、實際問題トシテハ

スト云フノデ、ソレニ負ケテシマフ譯

ス、デアルカラ泣ク子ト地頭ニハ勝テ

ハレルヤウニ面倒ナ手續ヲシテ出テ争

率ガアツテ是デ皆稅金ヲ取ラレテシマ

フ、デアリマスガ故ニ假想標準率ガ高

イ——是ハ私昨日歸ツテ見マスト新聞

ヲ送ツテ來テ居リマシタガ、名古屋ニ

於テハ、長野縣アタリカラ生絲ニ對シテ

ハアリマスガ故ニ、實際問題トシテハ

スト云フノデ、ソレニ負ケテシマフ譯

ス、デアルカラ泣ク子ト地頭ニハ勝テ

ハレルヤウニ面倒ナ手續ヲシテ出テ争

率ガアツテ是デ皆稅金ヲ取ラレテシマ

フ、デアリマスガ故ニ假想標準率ガ高

イ——是ハ私昨日歸ツテ見マスト新聞

ヲ送ツテ來テ居リマシタガ、名古屋ニ

於テハ、長野縣アタリカラ生絲ニ對シテ

ハアリマスガ故ニ、實際問題トシテハ

スト云フノデ、ソレニ負ケテシマフ譯

ス、デアルカラ泣ク子ト地頭ニハ勝テ

ハレルヤウニ面倒ナ手續ヲシテ出テ争

率ガアツテ是デ皆稅金ヲ取ラレテシマ

フ、デアリマスガ故ニ假想標準率ガ高

イ——是ハ私昨日歸ツテ見マスト新聞

ヲ送ツテ來テ居リマシタガ、名古屋ニ

於テハ、長野縣アタリカラ生絲ニ對シテ

ハアリマスガ故ニ、實際問題トシテハ

スト云フノデ、ソレニ負ケテシマフ譯

ス、デアルカラ泣ク子ト地頭ニハ勝テ

ハレルヤウニ面倒ナ手續ヲシテ出テ争

率ガアツテ是デ皆稅金ヲ取ラレテシマ

フ、デアリマスガ故ニ假想標準率ガ高

イ——是ハ私昨日歸ツテ見マスト新聞

ヲ送ツテ來テ居リマシタガ、名古屋ニ

於テハ、長野縣アタリカラ生絲ニ對シテ

ハアリマスガ故ニ、實際問題トシテハ

スト云フノデ、ソレニ負ケテシマフ譯

ス、デアルカラ泣ク子ト地頭ニハ勝テ

ハレルヤウニ面倒ナ手續ヲシテ出テ争

率ガアツテ是デ皆稅金ヲ取ラレテシマ

フ、デアリマスガ故ニ假想標準率ガ高

イ——是ハ私昨日歸ツテ見マスト新聞

ヲ送ツテ來テ居リマシタガ、名古屋ニ

於テハ、長野縣アタリカラ生絲ニ對シテ

ハアリマスガ故ニ、實際問題トシテハ

スト云フノデ、ソレニ負ケテシマフ譯

ス、デアルカラ泣ク子ト地頭ニハ勝テ

ハレルヤウニ面倒ナ手續ヲシテ出テ争

率ガアツテ是デ皆稅金ヲ取ラレテシマ

フ、デアリマスガ故ニ假想標準率ガ高

イ——是ハ私昨日歸ツテ見マスト新聞

ヲ送ツテ來テ居リマシタガ、名古屋ニ

於テハ、長野縣アタリカラ生絲ニ對シテ

ハアリマスガ故ニ、實際問題トシテハ

スト云フノデ、ソレニ負ケテシマフ譯

ス、デアルカラ泣ク子ト地頭ニハ勝テ

ハレルヤウニ面倒ナ手續ヲシテ出テ争

率ガアツテ是デ皆稅金ヲ取ラレテシマ

フ、デアリマスガ故ニ假想標準率ガ高

イ——是ハ私昨日歸ツテ見マスト新聞

ヲ送ツテ來テ居リマシタガ、名古屋ニ

於テハ、長野縣アタリカラ生絲ニ對シテ

ハアリマスガ故ニ、實際問題トシテハ

スト云フノデ、ソレニ負ケテシマフ譯

ス、デアルカラ泣ク子ト地頭ニハ勝テ

ハレルヤウニ面倒ナ手續ヲシテ出テ争

率ガアツテ是デ皆稅金ヲ取ラレテシマ

フ、デアリマスガ故ニ假想標準率ガ高

イ——是ハ私昨日歸ツテ見マスト新聞

ヲ送ツテ來テ居リマシタガ、名古屋ニ

於テハ、長野縣アタリカラ生絲ニ對シテ

ハアリマスガ故ニ、實際問題トシテハ

スト云フノデ、ソレニ負ケテシマフ譯

ス、デアルカラ泣ク子ト地頭ニハ勝テ

ハレルヤウニ面倒ナ手續ヲシテ出テ争

率ガアツテ是デ皆稅金ヲ取ラレテシマ

フ、デアリマスガ故ニ假想標準率ガ高

イ——是ハ私昨日歸ツテ見マスト新聞

ヲ送ツテ來テ居リマシタガ、名古屋ニ

於テハ、長野縣アタリカラ生絲ニ對シテ

ハアリマスガ故ニ、實際問題トシテハ

スト云フノデ、ソレニ負ケテシマフ譯

ス、デアルカラ泣ク子ト地頭ニハ勝テ

ハレルヤウニ面倒ナ手續ヲシテ出テ争

率ガアツテ是デ皆稅金ヲ取ラレテシマ

フ、デアリマスガ故ニ假想標準率ガ高

イ——是ハ私昨日歸ツテ見マスト新聞

ヲ送ツテ來テ居リマシタガ、名古屋ニ

於テハ、長野縣アタリカラ生絲ニ對シテ

ハアリマスガ故ニ、實際問題トシテハ

スト云フノデ、ソレニ負ケテシマフ譯

ス、デアルカラ泣ク子ト地頭ニハ勝テ

ハレルヤウニ面倒ナ手續ヲシテ出テ争

率ガアツテ是デ皆稅金ヲ取ラレテシマ

フ、デアリマスガ故ニ假想標準率ガ高

イ——是ハ私昨日歸ツテ見マスト新聞

ヲ送ツテ來テ居リマシタガ、名古屋ニ

於テハ、長野縣アタリカラ生絲ニ對シテ

ハアリマスガ故ニ、實際問題トシテハ

スト云フノデ、ソレニ負ケテシマフ譯

ス、デアルカラ泣ク子ト地頭ニハ勝テ

ハレルヤウニ面倒ナ手續ヲシテ出テ争

率ガアツテ是デ皆稅金ヲ取ラレテシマ

フ、デアリマスガ故ニ假想標準率ガ高

イ——是ハ私昨日歸ツテ見マスト新聞

ヲ送ツテ來テ居リマシタガ、名古屋ニ

於テハ、長野縣アタリカラ生絲ニ對シテ

ハアリマスガ故ニ、實際問題トシテハ

スト云フノデ、ソレニ負ケテシマフ譯

ス、デアルカラ泣ク子ト地頭ニハ勝テ

ハレルヤウニ面倒ナ手續ヲシテ出テ争

率ガアツテ是デ皆稅金ヲ取ラレテシマ

フ、デアリマスガ故ニ假想標準率ガ高

イ——是ハ私昨日歸ツテ見マスト新聞

ヲ送ツテ來テ居リマシタガ、名古屋ニ

於テハ、長野縣アタリカラ生絲ニ對シテ

ハアリマスガ故ニ、實際問題トシテハ

スト云フノデ、ソレニ負ケテシマフ譯

ス、デアルカラ泣ク子ト地頭ニハ勝テ

ハレルヤウニ面倒ナ手續ヲシテ出テ争

率ガアツテ是デ皆稅金ヲ取ラレテシマ

フ、デアリマスガ故ニ假想標準率ガ高

イ——是ハ私昨日歸ツテ見マスト新聞

ヲ送ツテ來テ居リマシタガ、名古屋ニ

於テハ、長野縣アタリカラ生絲ニ對シテ

ハアリマスガ故ニ、實際問題トシテハ

スト云フノデ、ソレニ負ケテシマフ譯

ス、デアルカラ泣ク子ト地頭ニハ勝テ

ハレルヤウニ面倒ナ手續ヲシテ出テ争

率ガアツテ是デ皆稅金ヲ取ラレテシマ

○岡田委員 一寸簡單ニ今ノ問題デ伺
ヒマス、今加藤君ノ言ハレマシタヤウ
ニ、各稅務監督局ニ對シテ、ソレドク
此頃商工會議所等ノ連中ガ各稅ノ稅目
ニ亘ツテ陳情シテ居ルヤウニ伺ツテ居リ
マス、アレハドンナ風ニ爲サル御考デ
アリマセウカ、聯關シテ居リマスカラ、
序ニ伺ツテ置キマス、モット具體的ニ申
シマスト、只今ノ課稅標準ト云フモノ
ヲ改正ヲセラレテ、來年度査定ヲセラ
レル筈デアリマスカ、或ハ只今加藤君
ノ言ハレタ昨年四月發行ノ標準ト云フ
モノヲ以テ割出スノデアリマスカ、其
點ヲ承ツテ置キタイノデアリマス

アリマスガ、來年即チ六年度ノ收益稅ノ御査定ニハ之ヲ御用ヒニナラヌ御考デアリマスカ、簡單デ宜シウゴザイマスカラ其御返事ヲ伺ヒマス

○井上國務大臣 御答致シマスガ、經濟界ノ状態ニ依リマシテ、殆ド全部變ルダラウト豫期シテ居リマス、毎年之ヲ變ヘマス

○岡田委員 ソレデハ今既ニ各地カラ陳情モ起ブテ居リマスルシ、最早既ニ旱急ノ場合ニ迫ツテ居リマスルガ、大藏省ニ於キマシテハ、之ヲ變ヘルト云フ原稿ハ既ニ出來テ居リマスカ

○青木政府委員 御答致シマス、是ハ御承知ノヤウニ各稅務監督局ニ於テ所
得標準率ハ作ルコトニナツテ居リマス、各地ノ状況ガ違ヒマスカラ、ソレデ毎年三月十五日ノ所得申告期ノ前ニハ、原則ト致シマシテ各監督局ガ稅務署長會議ヲ開キ、サウシテ此所得標準率ニ依ツテ、昨年ノ所得標準率ト、今年ノ所得標準率トヲ變ヘル必要ガナイカト云フコトヲ、稅務署長會議ヘ諮問致シマシテ、サウシテ改ムベキモノハ改メマス、今年ニ限ツタ事デハゴザイマセス、毎年サウ云フ風ニ致シマス、ソレデアリマスカラ先程加藤サンノ御指摘ニナリマシタ、昨年ノ四月ニ出シテ居リマスモノト、今年昭和六年度ノ所得ニ適用致シマスル標準率ハ全部變ルトハ申

シマセヌガ、各監督局ニ於テ相當ノ修正ヲ加ヘルコト、思ツテ居リマス、是ハ大藏省ノ方デ何ヲドウシロト云フヤウナ指圖ハ致サナイ例ニナツテ居リマス
○岡田委員 私ハ指圖ヲサレルガ當然ト思ヒマスガ、其意見ヲ申シテ置キマス、尙ホソレニ聯關シテ居ル事デアリマスガ、此頃監督局長ヲ御集メニナリマシテ、昭和五年ノ稅ハ成ベク豫算通り嚴重ニ之ヲ取ルヤウニト云フ御訓示ガアツタト伺ヒマシタガ、其實否如何、之ヲ伺ツテ置キマス

御伺シテ置キタイノデアリマス
○井上國務大臣 御答致シマス、今政
府委員カラ御答申上グマシタ如ク、何
モ變ツタ手段ヲ執ル 積リハゴザイマセ
ヌ、先ヅ大體稅ノコトハ稅務監督局長
ガ其他ノ事情ニ依ツテ徵收スルノデア
リマシテ、私ガ何カ命令スレバ、政治
的ニドウトカ云フ事デアリマセウガ、
左様ナ考ハ只今ノ所毛頭持ツテ居リマ
セヌ

○岡田委員 ソレデハ最後ニ申シテ置
キマス、來年ノ營業收益稅ノ御査定ニ
付テハ、私ハ監督者タル大藏大臣ト致
シマシテ、今日ノ經濟ノ現狀ニ照シ、
苛酷ニナラナイヤウニ成ベク寛ニスル
ヤウナ御方針デ御監督アルベキモノト
思ヒマス、御意見ガアレバ伺ヒマス、
ナケレバ言放シデ宜シウゴザイマス

○加藤委員 此場合……

○本田委員長 岡田君ノ御要求ニ依ツ
テ内務大臣ガ御出席ニナツテ居リマス
カラ、此場合岡田君ノ方ニ質問ノ順序
ヲ一時御譲リ下サツテ……

○加藤委員 モウ一口デ宜イノデス
ガ、只今ノ來年度ハ違フ、本年ハ此利
益課稅標準率ヲ下グルト云フコトデア
リマスケレドモ、下グタダケデハ參ラ
ヌノデアリマス、稅務署長會議ヲ開イ
テモ利益アルモノト思ウテ居リマス
ガ、是ハ今殆ド純益ト云フモノハ無イ

狀態デアリマスガ故ニ、税率ヲ下グタバカリデハ相成ラヌノデアリマス、仍テ是ハ十分御監督相成リマシテ、事實ニ就テ見テ、無イモノハ無シト云フコトニシナケレバナラヌ、是デ殆ド收益ト云フモノハ半分減ル、隨テ政府ノ收入ト云フモノハ半分減ルト云フコトヲ私ハ斷言シテ憚ラヌ

ソコデ私ハモウ一ツ申シテ後ハ留保致シマスルガ、此營業收益稅ト云フモノハ次ノ稅制ノ整理ノ時ニドウナサルカ、是ハ此儘置カレルカドウカ、此問題ハ長クナリマスカラ是亦留保シテ次ニ致シマス、唯純益ト云フモノハ課說標準率ヲ下ゲタバカリデハ相成ラヌ、之ニ對シテハ十分ニ御監督ヲ願ヒタイト云フコトヲ申上ゲテ岡田君ニ譲ッテ次ノ質疑ノ機會ニ於テ質問ヲ致シタイト存ジマス

○岡田委員 此前ニ質問致シマシテマダ大分残^ツテ居ルノデアリマスガ、前回ノ御答辯デ私ノ了解出來マセヌ點ヲ簡單ニ申上ゲマスカラ、内務大臣ヨリ御答ヲ願ヒタイ、即チ此間ノ質問ノ一番初メノ頃ニ伺^ツタノデアリマシテ、三千万圓ト云フモノハ減^ツテ居ル、負擔輕減ニナ^ツテ居ル、此三千萬圓ハ内務省ノ地方概要ノ文字ヲ御指摘ニナ^ツテ居ガ、ソレニ依^ツテ御答辯ニナ^ツタノデアリマスカ、ソレヲ先^ツ御ヒタイ

○安達國務大臣 御尋ノ地方概要ニ依^ツテ御答致シタノデアリマス
○岡田委員 全クソレニ合シテ居リマシテ、特別スカラサウ思ヒマス、ソレデ私ハ疑問ヲ抱クノデアリマスガ、私ハアノ御答辯ニハ無論満足ハ致シテ居リマセヌ、其中ニハ見積リノ減モアリ、課率ノ減モアル、色々チヤンポンニナ^ツテ居ル、所謂此負擔減ナルモノハ課率ノ減デナケレバ、之ヲ測定スルコトハ出來ナイト云フ意見デアリマスガ、之ニ付テハ御異存ガナイガ、兎ニ角地方稅ト云フモノハ中々分ラヌ、課率ノ減ト云フモ又、故ニ先^ツ吾々ハ三千萬圓ヲ以テ負担減ト見テ居ルト云フ、洵ニ曖昧ナル、アリマスカラ、私ハ其概要ノ中ヲ能ク又洵ニ不研究ナル御返事ガアッタノデ調べテ見タ所ガ範例ニモ書イテアル通

○岡田委員 成ベク内務大臣若クハ地方局長カラ御答ヲ戴キタイト思ヒマス、ソレデハモット具體的ニ申上ゲマス
○岡田委員 成ベク内務大臣若クハ地方局長カラ御答ヲ戴キタイト思ヒマス、ソレデハモット具體的ニ申上ゲマス
○岡田委員 尚ホ實ニ不思議ナノデアリマスガ、之ヲ兩方加算シテ見ルト、東京府ノ稅收入ト云フモノハ、特別會計一般會計ヲ通ジテ、却テ十八萬六千七百二十九萬圓増ニナ^ツテ居ル、是ハ甚だ天下ヲ誤ルモノデアリマシテ、今ノ返事ニ依ルト、何時モ斯ウスルカラ斯ナタノ方ノ統計技術ノ關係ヨリシテ、アリマスカラ、其額ガ政友會ノ政務一例デアリマス、其額ガ政友會ノ政務十二萬七千六百八十五圓ト云フ大キナ金デアリマス、其金ト云フモノハ偶アリニ、府縣ノ特別會計ニ入レテアル數字ト云フモノハ抜キニナ^ツテシマッテ居ル、ソコデ府縣ノ特別會計ガ唯一片ノ統計ノ技術上ノ爲ニ落チテ居ル、其爲シマッタ、從テ其數ハ殘^ツテ居ラヌ、斯ウ云フ事ガアリマスガ、左様ナル事ハ内務行政監督上ニ於テ、其數字ヲ出シテ置イテ天下ヲ誤ラスカ、又アナタ方ノ監督上誤リハナイカト云フコトノ御意

○安達國務大臣 數字ニ關シマスル事ハ地方局長カラ御答スルコトニ致シマス
○岡田政府委員 御承知ノヤウニ地方
○安達國務大臣 数字ニ關シマスル事ハ地方局長カラ御答スルコトニ致シマス
○岡田政府委員 全ク御話ノ通リデアリマシテ、地方財政概要ノ編纂ノ仕方
○岡田政府委員 御承知ノヤウニ地方
○安達國務大臣 私ハ監督上不都合ナ事ハ無イト思^ツテ居リマス、數字ニ關スル事ハ成ベク地方局長其他ノ政府委員カラ御答ヲ致シマセヌト、細カイ事ハ

私ノ方デハ分リマセヌカラ、私ハ大體
ノ大綱ヲ握^ツテ居^ツテ宜シイト思フ、國
務大臣ハサウ云フモノト考ヘテ居リマ
ス、有體ニ言ヘバサウ云フ數字、殊ニ
東京府ニ關スルヤウナ事ハ、私ハ一々
承知致シテ居リマセヌカラ、地方局長
カラ御答スル方ガ相應シイト考ヘマス
ンナモノデアリマセウ、ケレドモ内務
省ノ數字ト云フモノガ、此前カラ申上
ゲタ通リ始終違^ツテ居ルノデアル、例へ
バ今増減ノ率ガ、増ト云フノガ減^ツデア
ル、大體サウデアリマス、卒然トシテ
見レバ大阪ハ減^ツアルガ、實質ニ於テ
ハ増^ツアル、増減ト云フコトガマルデ
違^ツテ居^ツテ、地方行政ノ監督ニ任せラ
レルト云フコトハ、大ナル方針ノ誤リ
デアリマス、單ナル數字ノ問題デアル
カラ俺ハ知ラヌト云フコトハ出來ナ
イ、此増減ノ首尾顛倒スルモノヲ捉ヘ
テ、ソレハ俺ハ知ラヌト云フコトハ餘
リ無責任デハアリマセヌカ
○安達國務大臣 此數字ノ誤^ツタノハ
先ニ御断リ致シテ置イタ次第デアリマ
ス、決シテ無責任デモ何デモナイ、當
時ノ計算ガ誤^ツタカラ、誤リマシタ、甚
ダ遺憾デアリマスト云フコトヲ率直ニ
申上ゲタ、ソレデ大體數字ニ關スル事
ハ、ヤハリ地方局長カラ御答スルノガ
宜イト思ヒマス、調べノ間違^ツタコトハ

申上ゲマシタ
○岡田委員 宜シウゴザイマス、ソレ
ハ水掛論デアリマスカラ、誤タカラ謝
リマシタ、ソレデ宜イト云ウテハ濟ム
マイ、私ノ言フノハ謝ル謝ラナイト云
フ問題デハナイ、アナタガ地方財政監
督ヲサレ、地方ニ緊縮政策ヲ遂行スル
上ニ於テ、斯様ナル誤クル概念ノ上ニ
於テハ間違ハセヌカト云フコトヲ申上
ゲタノデアリマシテ、謝ル謝ラナイト
云フコトハ何モ關係ガ無イ、内務大臣
トシテ地方監督ノ責任上、是デハ困ル
デナイカト云フコトヲ私ハ申上ゲタノ
デアリマス、ダカラ其點ニ付テ將來ド
ウスルカト云フコトヲ御答辯ヲ願ヒタ
ス

○安達國務大臣 將來十分注意致シマ
ス

○岡田委員 ソレデハ仕方ガアリマセ
ヌ、次ニ伺ヒマスガ、昨日モ申上ゲテ
置キマシタ通リ義務教育ノ一千萬圓、
此中略、九十八「バーセント」位ニナリ
マセウカ、是ハ全部負擔ノ輕減ニ用ニ
ルト云フ御言明ガアリマシタ、其材料ハ
無論御持ノコト、存ジマシテ、御提供
ヲ願ツテ置イタノデアリマスガ、今日マ
デマダアリマセヌ、先ニ議論ヲ進メル
上ニ於テ必要デアリマスカラ、只今此處ニ御提供ヲ願ヒタイ

○次田政府委員 其數字ハ先日カラ御要求ガアリマシテ今拵ヘテ居ルノデアリマスガ、アノ課率ヲ云フ御註文ガアリマシタノデ、其課率ヲ各地ニ照會シ今日ノ委員會ニ問ニ合フヤウニト思ヒマシテ、課率ヲ書カナイモノヲ今拵ヘテ居リマス、午後ノ會ニハ大丈夫聞ニ合フ積リデアリマス

○岡田委員 ソレデハ一應稅目、稅種別ヲ御話願ヒマス

○次田政府委員 市町村ヲ通ジマシテ、戸數割ニ於キマシテ七百十六萬六千三百三十七圓、家屋稅ノ附加稅ニ於キマシテ百二十一萬八千八百六十圓、地租ノ附加稅ニ於キマシテ三萬六千五百八十一圓、特別地稅ノ附加稅ニ於マシテ八千百七十八圓、營業收益稅ノ附加稅二萬七千八百二十三圓、所得稅附加稅ニ於キマシテ五千八百五十五圓、鑛業稅附加稅ニ於キマシテ四十三圓、營業稅附加稅ニ於キマシテ二萬七千二百四十一圓、雜種稅附加稅ニ於キマシテ一萬四千七百五十八圓、戸別割ニ於キマシテ三百四十四圓、其他百分十六萬四千五百八十七圓、合計九百七十九萬七千三百四十三圓デアリマス、是ハ昨年ノ十二月末ノ調デアリマス、

此其他ト申上ゲマシタ百十六萬四千五百八十七圓、是ガ市町村ニ於テ豫算ニマダ計上シテ居ナイ金額デアリマス、ソト云フ中カラ今申上ゲマシタ六十二萬八千五百六十七圓、是ガ市町村ニ於テ豫算ニマダ計上シテ居ナイ金額デアリマス、ソト云フ中カラ五十三萬六千二十圓ハ、其他八千五百六十七圓ヲ引キマシタ殘リデアリマス、ソレハ一度負擔輕減ヲ致シマシテ、其後特別ノ事情ガ起リマシテ増稅ヲ致シマシテ、其負擔ノ課率ガソレダケ動イテ來タノデアリマス、ソレガ現在ノ市町村ノ豫算ニハ現レテ居ナイコトニナツテ居ルモノガ五十三萬六千二十圓、サウ云フコトニナルノデアリマス、ソレデ念ノ爲ニ今ノ豫算ニ上ツテ居ナイ關係ヲ一ツ申上ゲマス、ソレハ市町村ニ於キマシテ義務教育費國庫負擔金ガ昭和五年度ノ市町村豫算ヲ編成スル時ニ較ベテ一千萬圓増額ニナリマシタ結果、其市町村ニ對シテ幾ラカノ——市町村ニ依ツテ違ヒマスガ、兎ニ角増額配當ガアルト云フコトハ分ッテ居ルノニ拘ラズ、マダ之ヲ豫算ニ計上シテ居ナイノデアリマス、詰リ此國庫負擔金ノ増額配當ヲ外ノ費用ニハ充テ、居リマセヌ、外ノ費用ニ充テルト云フ決議ハ致シテ居リマセヌガ、マダドノ稅デ負擔輕減ヲスルト云フ決議ヲシテ居ナイモノガ、今ノ六十二萬圓餘リナノデアリマス、是ハ何レ負擔輕減

ニナルモノト考ヘテ居リマスルガ、併シ勿論負擔金増額ノ趣旨ニ鑑ミマシテ必ズ今年度ニ於ケル負擔輕減ニ充テセタイト云フ趣旨デアリマス、ソレカラ一方ニハ此二月ニハ増額配當迄モ全部市町村ニ渡リマスカラ、取急イデ其團體ノ方ニ文部内務兩方ノ關係局長ノ名前デ通達シテ居リマスガ、昨年ノ十二月末デアリマスカラ、此數字ハ餘程減ツテ居ルダラウト思ヒマヌ、ソレガ昨年十二月末ニハソレダケノモノガ減ツテ居ツタ譯デアリマス	調ベタモノヲ差上ゲマス
○岡田委員 スルト課率ハ今御調ガアルノデスカ	○次田政府委員 今此處ニ持ツテ居ナインデス、主ナ税目ニ付テハ集ツテ居ルサウデアリマス、統計ガ出来テ居ルサウデアリマス
○岡田委員 ドウモ洵ニ困ルデスネ、斯ウ云フ大キナモノハ内務省デ御調べニナツテ居ラナケレバ困ルト思フ、此前ニナツテ居ルダラウト思フノデス、是考デアルト云フコトヲ先達テ申シタノカラ他ノ負擔輕減以外ノ費途ニ充テタモノハ明瞭ニナツタカラ、ソレヲ直サス考デアルト云フコトヲ先達テ申シタノハ約百八萬圓ニナルト思フノデス、是ハ計數ノコトデアリマシテ、私此點ハデアリマス、ソレハ只今申シタ數字ノ外デアリマス	○岡田委員 ドウモ洵ニ困ルデスネ、斯ウ云フ大キナモノハ内務省デ御調べニナツテ居ルダラウト思フ、此前ニナツテ居ラナケレバ困ルト思フ、此前ニナツテ居ルダラウト思フノデス、是考デアルト云フコトヲ先達テ申シタノカラ他ノ負擔輕減以外ノ費途ニ充テタモノハ明瞭ニナツタカラ、ソレヲ直サス考デアルト云フコトヲ先達テ申シタノハ約百八萬圓ニナルト思フノデス、是ハ計數ノコトデアリマシテ、私此點ハデアリマス、ソレハ只今申シタ數字ノ外デアリマス
○岡田委員 ソレカラ今ノ東京市ノ課率ヲ申シテ下サイ	○岡田委員 ソレデ義務教育費交付金ヲ他ノ使途ニ充テ、ハイカヌト云フコトヲ、近來各府縣市町村ニ御訓令ニナツカコトガアリマスカ、如何デアリマス
○次田政府委員 東京市ハ今ノ六十二萬圓餘リノ中ニ這入ツテ居リマス、マダドウ云フ風ニ其金ヲ使フト云フ決議ヲ致シテ居リマセヌ	○次田政府委員 ドウモ洵ニ困ルデスカ、國勢調査費トカ、寄附金アタリニ付テ申シテ居ラレタガ、今日ノ御説明ノ何處ニソレガ這入ルノデスカ
○岡田委員 東京市ハソレデハ其金ヲ寝カシテ居ルノデスカ、尙又大阪市ニ付テハドウ云フ御調べニナツテ居リマスカ、主ナル都市ニ付テ御調べノ結果	○次田政府委員 今申上ゲマシタ数字ノ外ニ、ソレハ負擔輕減ニナラナイ事付テハドウ云フ御調べニナツテ居リマスカ、主ナル都市ニ付テ御調べノ結果
——課率ヲ御話下サイ	——課率ヲ御話下サイ
○次田政府委員 課率ハ後程申上ゲマスルガ、大阪市ハ家屋税附加税ニ於テ一千六千七百九十九圓ヲ減ジ、營業税附加税ニ於テ一千四百三十一圓ヲ減ジ、地租ノ附加税ニ於テ一萬四千七十二圓ヲ減ジテ居リマス、課率ハ後程	○次田政府委員 今申上ゲマシタ数字ノ外ニ、ソレハ負擔輕減ニナラナイ事付テハドウ云フ御調べニナツテ居リマスカ、主ナル都市ニ付テ御調べノ結果
其最後ノ此間ノ質問ニ聯關シテ居ル問	其最後ノ此間ノ質問ヲ進メタイト思ヒマス、シテ先ニ質問ヲ進メタイト思ヒマス、

ウ、故ニ其二割ト云フ所ノ減ヲ今申シ
タ昭和六年度ノアナタノ方ニ示シテア
ル數ト、此三十四萬圓ヲ加ヘタ、即チ
五年度ノ現在ノ收入ト云フモノニ二割
ヲ掛ケルト、二百萬圓トナル、サウナ
レバ差引減收額ハ百四十二萬圓トナ
ル、ズンヽ行クト最後ノ落チハ百八
萬圓ニナルト云フコトヲ申シタ、アノ
時忙シカツタカラ數字ヲ申上ゲテ置イ
タガ、此計算法ニ依ルト、アナタノ方
ハ詰リ三十四萬圓ヲ計數ノ上カラニ重
ニ使ツテ居ル、ソレハドウデアリマス
カ

置キマス、ソレニ少シ加ヘ得ベキモノノ
ガアルノデアリマス、其關係カラ致シ
マシテ、其減税ヲ計算スル基本額ガ、
千十四萬八千圓バカリニナルノデアリ
マス、ソレカラソレニ對シテ減税ノ率
ヲ掛ケルノデアリマスガ、御承知ノヤ
ニ地方ノ營業稅ニ於キマシテハ、國
稅ノ營業收益稅ノ免稅點以下ノ小營業
者ニ營業稅ヲ課スルモノト、其外ニ地
方稅ニ關スル法律ノ施行勅令ニ依リマ
シテ、運河業外十一業バカリノ營業稅
ヲ賦課スル課目ガ規定サレテ居リマシ
テ、其分ガアルノデアリマシテ、其方
ハ全體ノ中ニ於キマシテ稅額ガ約三割
程度ニ達シテ居リマス、其方ハ御承知
ノヤウニ四百圓以下ノ小營業者ニ限ラ
ナイノデアリマシテ、或ハ純益千圓以
上ヲ得ルヤウナ者ガ相當ニアルノデア
リマス、サウ致シマスル關係カラシマ
シテ、此千十四萬八千圓ニ對シマシテハ、
是ガ百分ノ二・八デアッタモノガ直様ニ
此金額ガ百分ノ二・二ニナルト御計算
ニナルト少シ金額ガ多クナリ過ギル、
今回ノ地方稅整理ノ方針トシマシテハ、
ハ、國稅ノ營業收益稅ノ輕減ト同ジヤ
ウナ方法ヲ執リマシテ、純益千圓以下
ニ付テハ百分ノ二・二ニ下ゲマスガ、千
圓ヲ超エルモノニ付キマシテハ、百分
ノ二・六ニ止メル、營業收益稅ノ輕減ト
同ジ方法ヲ執ラウト云フノデアリマス

カラ、此輕減率ノ適用ガ、少シ岡田サントコチラノ計算ト違ツ居ルノデアリマス、サウ云フ關係カラ、私共ノ計算カラ行キマスト、營業稅ノ減收額ガ平年度ニ於キマシテ百八十五萬圓トナル、是ハ六年度ニ於テ輕減シナイモノトシテ計算シテ、百八十五萬圓デアルノデアリマス、ソレニ對シテ六年度ニ於キマシテ、既ニ輕減シタモノガ三十四萬圓アリマスカラ、此中カラ更ニ其數字ヲ差引イテ差支ナイ、斯ウ云フ計算ニナツテ居ルノデアリマス

○岡田委員 サウスルト此減收額百八十五萬圓ノ基礎額ハナンボデスカ

○岡田政府委員 是ハ別ニ提出セヨト云フ御話ガアリマセヌノデ、マダ御手許ニ上ツテ居ラナイカト思ヒマス

○岡田委員 基礎額ハナンボトシテ計算サレマシタカ

○岡田政府委員 一千十四萬八千圓トシテ……

○岡田委員 ソレデハ午後マデニ詳シ書イテ戴キタイ、是デハ盡サヌ所ガアツテ、總テノ數字ヲ御訂正願ハナケレバナラヌト思ヒマス

○本田委員長 丁度十二時デスカラ、此邊デ休憩シマセウ、午後ハ一時三十分カラ正確ニ開キマス

午後零時一分休憩

○武田委員 チヨット議事進行ニ付テ、大藏省ノ方ニ御願シタイノデスガ、昨日ノ私ノ質問ニ對シテ、專賣局長官ガ御答ニナツタ事ニ付テ、私御答辯ノ趣旨ヲ數字デ出シテ戴キタイト云フコトヲ申シタノデアリマスガ、極メテ簡単ナ数字デスカラ疾クニ出來テ居ルト思ヒマス、實ハ私ハ數字上ノ御説明ヲ口頭デ承ツタノデアリマスガ、ドウモ私ノ頭ニハツキリ這入ラナイ、私マダ了解ニ苦シム點ガアリマスノデ、其數字ニ付テモウ一應承リタイト斯ウ思ツテ居リマス、若シ私ノ考ヘテ居ルコトガ誤解デアレバナンンデモナイガ、數字ノコトデアリマスカラ、若シ私ノ解釋ガ其通りデアルトスルト、計算上收入ノ關係ニ大分影響ヲ來スト云フ疑ラ持ツテ居ルノデアリマス、是ダケヲ數字ノ上デ明カニ質シテ見タイト思ヒマス、極メテ事務的ノ事デ簡單ナ事ニアリマスカラ、專賣局長官ガオキデ、アリマシタラ、都合ヲ見計ツテ、チヨット御出席ヲ願ヒタイト思ヒマス、同時ニ私ノ御願シタ數字ノ書イタモノガ出來マシタラ、チヨットオイデラ願ツタ時ニ承ツテ置キタイト思ヒマス、ドウゾソレヲ御願

○岡田委員 チヨット簡単ニ商工大臣ニ御伺致シマス、ソレハ今度ノ織物税ノ中デ、人絹ノ扱ハ、ヤハリ生絲ト同ジヤウニ扱ハレマスカ、少シモ特典ガ與ヘテナイノデアリマスガ、或ハ御研究ノ結果左様ニナツタノデアリマセウカ、其點ヲチヨット伺ッテ見タイノデアリマス

○俵國務大臣 人絹ハヤハリ今仰セノ通リ同様ニ扱フテ居ルノデス、詰リ麻、絹ト同様ニヤハリ百分ノ五未満ノ交織ノモノハ免稅ヲスルト云フコトニナツテ居リマス、別ニサウ區別シテアリマセヌ

○岡田委員 百分ノ五マデノ分ハ免稅スル、成程ソレハサウナツテ居リマス、サウナルト詰リ生絲ヲ交織ニ用ヒル場合ト、人絹ヲ交織ニ用ヒル場合トニ於テ非常ニ使用法ニ輕重ガアルヤウニ承ツテ居リマス、ソレハ碎イテ申シマスト、人絹ハ非常ニ重イモノデアリマスカラ、同ジ五分ヲ入レテモ旨ク交ゼ合スコトガ出來ナイヤウニ思ヒマス、絹ハ輕イモノデアリマスカラ、五分デモ交ゼ合スコトガ出來ル、折角左様ナコトニナツテ居リマスケレドモ、是ノ惠澤ニ浴スルコトガ出來ナイヤウニ思ヒマスガ、其點ハドウデアリマスカ、私ハ専門デナイケレドモ、チヨット其點ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス、利用法ガ薄イ

カラ殆ド惠澤ニ浴スルコトガ出來ナイ
ト云フコトヲ聞イテ居リマス、是ハ政
府委員カラデモ宜シウゴザイマス
○青木政府委員 御答致シマス、只今
御質問ニナリマシタヤウニ、此人造綿
絲ノ重量ト、生絲ノ重量トノ關係ニ於
テ、只今御話ニナリマシタヤウナ結果
ニナルト云フコトハ私共モ方々カラ
伺ッテ居リマス、ソレデ先程商工大臣ハ
御答ニナリマセヌデシタケレドモ、實
ハ此減稅案ノ立案ハ私ノ方デ致シマシ
タカラ、自然御答ガナカッタト思ヒマス
ルガ、人造綿絲ノ織物ニ對スル減稅ノ
範圍ヲ如何ニ爲スベキカト云フコトニ
付テハ、隨分長ク色々研究調査ヲ致
タノデアリマスガ、大體論ト致シマシ
テ、此生絲ト云フモノヲ非常ナ重要ナ
ル產業トシテ居ル我國ニ於テ、人造綿
絲ノ方ガ生絲ノ方ヨリモット有利ニ取
扱ハレルト云フコトハ避ケタイト、斯
ウ云フヤウナ考ヲ持チマシテ、此度人
造綿絲ト生絲トハ全ク同ジヤウナ取扱
ヲシテ居ル、斯ウ云フ事ニナッテ居リ
マス

考ヘテヤッテ、商工省ハ其政策ニ付テハ
御關與ニナッテ居ラヌヤウニ思ヒマス
ガ、ソレヲ一寸商工大臣ニ御伺シタイ
マスカラ一寸附加ヘテ置キタイト思ヒ
マス、私ガ今申上ゲマシタノハ、此減
稅案ノ決定ハ大藏省ガ致シマシタト云
フコトヲ申シマシタノデアリマシテ、
決定ニ至リマス以前ニ、商工省等カラ
織物消費稅ノ改正ニ付テハ、斯様ニ改
正シタラ宜カラウト云フ御意見ハ確ニ
頂戴シテ居リマス

○岡田委員 ソレデハ商工省ハドウ云
フ意見デアルカト云フコトヲ御示シ下
サイ

○俵國務大臣 是モ色々ナ點ニ於テ大
藏省ニ意見ヲ申出テ居ルノデアリマス、
先般モ私ガ此處ニ參ッタ時ニ、此委員會
ニ於テ御話ガアリマシタノデ、廣幅織
物ノ問題ニ付テノ意見ヲ申上ゲテ置キ
マシタガ、人絹ニ付テモヤハリ同様ノ
意見ヲ持ツテ居リマスルガ、ドウモ商工
省ノ意見ト大藏省ノ意見ト此點ニ於テ
意見ノ必ズシモ一致セヌ點ガアルノデ
アリマス、而シテ只今主稅局長ノ言ハ
レタ如ク、交織ニ付テ、絹織物ト人造
絹絲トノ點ニ付テ、サウ區別シタクナ
イト云フ大藏省ノ最後ノ意見ニ依ッテ
決定サレタノデアリマスルガ、其點ニ
付キマシテハ私ノ方、商工省トシマシ

テハ、必ズシモ同意見デナイ點モアリ
マスルガ、併ナガラ一方ニ於テハ織物
消費税ノ減税ノ額、其額ニ依テヤハリ
支配サレ制限サレル點ガアリマスカ
ラ、一概ニ商工省ノ希望通リニモナラ
ヌ點モアルノデアリマス

○岡田委員 是ハ具體的ノ事デアリマ
スカラ、モウ少シ具體的ニ商工大臣カ
ラ御話ヲ願ツテ、ソレヲ速記録ニ留メテ
置キタインデアリマス、ソレデ、ドウ
云フ具體的ノ意見ヲ出サレタノデアル
カ、ソレニ依テ、大藏省ハドウシタト
云フ具體的ノアナタノ方ノ廣幅人絹ニ
對スル方針ノ御説明ヲ願ヒタインデ
ス、ソレハ假令此減税委員ヲ離レテモ
私ハ少シ聽イテ見タイ事ガアルノデ、
其材料ニ付テ御説明ヲ願ヒタイ
置キマス

○俵國務大臣 ソレデハ其點ハ後刻政
府委員ガ參リマスカラ、其材料ニ付テ
ハ御答スルコトニ致シマス、留保シテ
置キマス

○高橋委員 商工大臣ガオイデニナツ
タノデ、此間ノ續ヲチヨット伺ッテ置キ
タイノデアリマスガ、商品ノ運賃ト云
フモノハ、非常ニ商品ノ値段ニ、原價
ニ重大ナ關係ヲ持ツモノデアリマスガ、
ソレニ付テ此前ハ輸出織物其他ニ、輸
出獎勵ノ意味デ致シタ鐵道運賃ノ値下
ト云フモノガ、實際ニ於テハ何等效果
ノナイモノデアッタ、之ニ付テ改正ノ意

見モアッタヤウダシ、一部分改正サレタ

トニ致シタイト思ヒマス

素肥料ヲ又同時ニ支配ヲスルト云フ

謂内外ノ同業者ノ「カルテル」ヲ結バン

ヤウデアッタガ、ドウ云フ所ニ改正ガアッ

マス、ソレカラ目下問題ニナッテ居リ

ヤウナ關係ニナッテ居リマス

トシタノデアリマス、是ガ既ニ假調印

テ其效果ハドウデアッタト云フコトヲ

マス、ソレカラ目下問題ニナッテ居リ

ニ於テ、商工省ニ於ケル所ノ輸入窒

ヲシテ本年ノ一月ノ二十二日ト記憶致

伺ッテ居ッタノデアリマス、此點ニ付テ

マダ御答ヲ得ナイデ居ッタノデスガ、此

マス、ソレカラ目下問題ニナッテ居リ

シマスガ、其頃ニハ本調印ヲスルト云

マダ御答ヲ得ナイデ居ッタノデスガ、此

マス、ソレカラ目下問題ニナッテ居リ

ニ於テ、商工省ハ如何ナル御方針

屢々鐵道省ニ於テハ値下ヲスル、値下ヲ

スルト云フヤウナコトハ聞イテ居ルノ

農村ノ米ヤ爾ガ非常ニ暴落ヲ告ゲテ居

マス、其他一般商品ノ運賃ニ對シテモ、

農村ノ米ヤ爾ガ非常ニ暴落ヲ告ゲテ居

屢々鐵道省ニ於テハ値下ヲスル、値下ヲ

スルト云フヤウナコトハ聞イテ居ルノ

農村ノ米ヤ爾ガ非常ニ暴落ヲ告ゲテ居

マス、其他一般商品ノ運賃ニ對シテモ、

農村ノ米ヤ爾ガ非常ニ暴落ヲ告ゲテ居

屢々鐵道省ニ於テハ値下ヲスル、値下ヲ

スルト云フヤウナコトハ聞イテ居ルノ

農村ノ米ヤ爾ガ非常ニ暴落ヲ告ゲテ居

マス、其他一般商品ノ運賃ニ對シテモ、

農村ノ米ヤ爾ガ非常ニ暴落ヲ告ゲテ居

致シマシテハドウスルカト云フコトニ
付テハ、是ハ兎ニ角輸入ノ硫安ガ果シ
テ不當廉賣ト云フ此法律ニ牴觸スルカ
ドウカト云フコトノ研究ヲスル一途ア
ルノミデアル、ソコデ其研究ニ掛ルコト
ニ決意ヲ致シタ結果トシテ、内外「カル
テル」ノ實行ニ當ッテ國內ノ當業者ハ政
府ガ不當廉賣法ヲ適用スルト云フ決
意ガアル以上ハ、何モ此協約ハ啻ニ消
費者ニ對シテ不利益ダケデハナイ、國
内生產者ニ對シテモ不利益ノ條項ガア
ルノデアリマスカラ、之ヲ實行スル必
要ハナイ、斯ウ云フ所ニ著目シマシタ
結果ガ、彼等ガ自發的ニ内外協約ノ本
調印ヲ延期致シタノデアリマス、是ガ
現今ノ硫安業者ノ行動ノ實際デアルノ
デアリマス、目下商工省ニ於テハ不當
廉賣ヲ適用スルヤ否ヤノコトニ付テ、
先以テ幹事會ヲ開キ或ハ不當ナリヤ否
ヤ、或ハ國內當業者ノ生產企業ヲ危ク
スルヤ否ヤト云フニツノ點ニ付テ目下
調査中デアッテ、其調査ハマダ結了ニ
至ツテ居ナイノデアリマス、ソレ故ニ要
ヲ申シマスレバ商工省ニ於テモ高橋君
ノ言ハレル所ノ肥料ヲ第一安クシヨウ
ト云フ點ニ於テハ、少シモ反對ノ意見
ヲ持ツテ居ナイノデアリマス、偶々内地
ノ當業者ガ餘リニ輸入品ガ安クナルガ
爲ニ自分ノ損失ヲ是レ以上過大ナラシ
ムルコトニ堪ヘズシテ、茲ニ内外協定

ヲシテ値段ノ釣上ノ策ヲヤルト云フコトニ對スル反對ノ政策ヲ執ッタ、斯ウ云フ事デアルノデアリマス
○高橋委員 肥料ノ釣上策ニ對シテハ、商工大臣ハ之ヲ不當トシテ、成べク値段ノ安キ肥料ヲ農家ニ使用セシメルト云フコトニ付テハ自分モ相當ニ考慮シテ居ルト云フコトデアリマスガ、無論是ハ大體ニ於テ不當廉賣ナリト御認メニナツテ幹事會ヲ開イテ調査ヲ進メテ居ラレルト云フコトハ無論其通りデアリマスガ、新聞紙ノ傳フル所ハ區區ニナツテ居ルノデアリマス、獨逸或ハ英吉利、亞米利加其他ノ方面カラ這入テ來ルモノ、價格ハ無論違フデアリマセウガ、或ハ高イモノハ百十圓位ガ相當ノ價格デアル、ソレ以下ノモノハ不當廉賣デアルト云フヤウナ工合ニモ目セラレ、或時ハ七十四圓前後デアルト云フヤウナ譯デ、商工省カラ發表サレタト云フ區々ノ數字ガ數日ノ間ニ現レテ居ルノデアリマス、吾々ハドレヲ採ツテ宜シイノデアルカ、判斷ニ苦シムト共ニ幹事會ノ調査研究ハ何處ニ落著クカト云フコトニモ吾々ハ大ナル不安全體ドノ邊ニ見當ヲ付ケテ之ヲ不當廉賣ナリト思惟サレテ御調査ニナツテ居ルカト云フ、其目安ヲ此場合承ルコトガ

○儀國務大臣 輸入品ノ硫安ノ相場ハ
昨年中ニ於キマシテモ非常ニ値段ノ變
動ガアッタノデアリマス、變動ト申シマ
スヨリハ急ニ下グテ參^ツタノデアリマ
ス、今申シマシタ通リニ、昨年中ニ於
テモ輸入價格ガ非常ニ下^ツテ居リマス、
大體ハ最近ニ於テ一噸六十圓ノ相場デ
這入^ツテ居ル、所ガ是デハ到底先刻申シ
タ如ク國內ノ業者ハ引合ハヌ、ソコデ
然ラバ何ガ不當カト云フ御尋デアリマ
スガ、獨逸アタリガ本國ニ於テハ英曠
一噸最近ノ相場ガ九十一圓六十六錢
位ニ賣^ツテ居ル、約九十一圓「ラウンド・
ナンバー」デアリマス、斯ウ云フ風ナ
工合ノ相場デ國內デハ賣リナガラ、東
洋ニ持^ツテ來テ運賃ヲ掛ケ、手數料ヲ掛
ケ、雜費ヲ掛ケタ其相場ガ六十圓見當
ニ賣^ツテ居ル、是ハ不當デハナイカ、斯
ウ云フコトニ相成ルノデアリマス、而
シテ不當廉賣法ヲ適用シマスニ付テ
ハ、先刻モ申上ゲマシタ通リニ二ツノ
條件ガ要ル、一ツハ不當ノ價格デアル
ト云フコト、、一ツハ國內ノ產業ヲ危
クスル、國內ノ企業ヲ危クスル、斯ウ
云フ點ガアリヤ否ヤト云フニツノ條件
ガ要リマスガ、國內ノ硫安業者ノ狀況
ハ、恰モ不當廉賣法適用ノ條件ヲ具備
シテ居ルト云フ見地ノ下ニ、不當廉賣

法ヲ適用スルヤ否ヤノ調査ニ掛ツテ居ル、斯ウ云フ譯デアルノデアリマス、ソレデ果シテ先刻申シマシタ如ク不當廉賣法ヲ適用ノコトハキマリマセヌケレドモ、此會ノ決定ニ依ツテ見ルニアラザレバ、此商工省ニ於キマシテハ不當廉賣法ヲ適用スル意味デ以テ幹事會ヲ招集シテ、幹事會ガ調査シテ居ルト云フコトノ現状デアルノデアリマス

○高橋委員 サウスルト云フト九十一圓何ガシヲ標準トシテ、之ヲ不當廉賣ノ價格ト認メテ廉賣ヲ適用スルカドウカト云フコトニナツテ居リマスガ、今民間ノ狀況ヲ聞クト云フト、只今昭和肥料ノ如キハ頑張ツテ居ル、此聯盟ニハマダ加入モシナイ、調印モシナイ、併シ愈々不當廉賣ヲヤラスト云フコトデアルナラバ聯盟ニ加入シテモ宜イト云フヤウナ吾々ハ噂ヲ聞イテ居ルノデアリマス、サウスルト云フト、不當廉賣ヲヤレバ、此内外ノ「カルテル」ト云フモノガ出來上ルコトニナル、ドッヂニシテモ農家ハハイ肥料ヲ買ハナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナルト云フコトハ今ノ御説明ヲ承ツテモ分ルノデアリマス、ソレデ是ハ別ノ問題ニナリマスカラ此點デ保留シテ置キマスガ、要スルニ之ヲ不當廉賣トシテ取扱フカドウカ

ト云フ問題ハ、内地ノ同種ノ業者ヲ保護スルト云フ見地カラ、商工獎勵ノ立場カラ商工大臣ハ之ニ臨マレル、「カルテル」ヲ當業者ガヤラウト云フノモ、此見地カラ自家擁護ノ爲デアル、農家ノ利益ナドト云フコトヲ犠牲ニ供シテ之ニ出ヤウト、致シテ居ルノデアル、ソレナラバ何ガ故ニ窒素工業ニ對シテ漸ク獎勵ノ途ヲ執ツテ來タノヲ、種々ノ關係カラ獎勵ヲ御中止ニナリ、或ハ獎勵ノ度ヲ減殺サレタカト云フコトノ吾々疑問ヲ挾ム、殊ニ年來問題ニナリ議會ニ於テハソレゞ、政府ニ要望ヲシテ居タ所ノ有名ナル「ハーバー」ノ特許權ト云フモノハ、五六ノ資本家ガ東洋窒素肥料株式會社ト云フ名ノ下ニ之ヲ保留シテ、之ヲ實地ニ用ヒズシテ年々四十萬圓内外ノ「ローヤリティ」ヲ取ッテ居ルト云フコトハ、是ハ正義ノ觀念ニ反スルモノデアルノデアリマス、ソレデアルカラ之ヲ利用シテ窒素工業ヲ起ス、起サシメナケレバ政府ハ之ニ對シテ相當ノ處置ヲ執ツテ、是等ノ權利ヲ沒收スルカ、或ハ命令ヲ致シテ企業ヲ思フノデアリマス、之ニ付テ何等カニシテ置イテ、肥料會社ヲ溫室ノ中ニ

閉込ンデ、一部ノ肥料會社ニ不當ナル利益ヲ壟斷セシメテ、ソレデ當局ト一方デ窒素工業ヲ助長シテ益、之ヲ盛ナラシムルト云フコトモセズ、政府デ以テ獨逸ヨリ獲得致シタル所ノ、戰利品デアル所ノ特許權ヲ、無償ニ近イ數千圓ノ價額ヲ以テ、五六ノ資本家ニ之ヲ提供シテ、其儘遊バシテ置イテ年々數十萬ノ「ローヤリティ」ヲ舉ゲテ居ルノヲ其儘見テ居ルト云フコトハ、何ト言ツテモ忍ビ得ナイ所デアルノデアリマス、之ニ對シテ簡單ニ御所見ヲ承ツテ置キタイ

○ 倭國務大臣 私ノ先刻御答シタコトニ付テノ話ガ不十分デアッタガ爲ニ、一寸冒頭ニ於テ高橋君ノ御話ニ誤解ガ生起、起サシメナケレバ其邊ノ事ハ申上ゲラ、即チ冒頭申シマシタ通リニ、商工省ハ決シテ生産者ノミノ利益ヲ保護スル立場ニアルノデハナイ、八十五圓ニ釣上ラヌルコトガ不都合デアルト云フキマス、九十一圓ノ相場ト云フノハ獨逸ノ國內相場デス、之ガ標準ニシテ商工省ガ硫安ノ相場ヲ狙ツテ居ルカノ如キ御話ガアリマシタガ、ソレハサウヂセシムルカト云フコトニ出ヅルト云フコトハ、多分昭和四年ノ議會ニ於テ決議サレ、此要望ハ政府ニ致シテアル筈ダト思フノデアリマス、之ニ付テ何等カニ方策ヲ執ラレタカドウカ、將來此儘ルト云フ疑フ吾々共ハ持ツテ居ルト云

ス、併ナガラ御説ノ通リニ大變安イ値現スルヤウニモ見エナイノデアリマス、併ナガラ御説ノ通リニ大變安イ値段ヲ以テ拂下ヲ受ケ、而シテ特許料ヲ

是ハ何トカ其特許料ノ收入ヲ以テ疏安ノ製造獎勵或ハ研究ト云フモノ、費用ニ向ケシメナケレバナラヌ、是ハ今交渉シテ居リマス、東洋窒素會社モ亦此點ニ付テハ其趣旨ニ依ツテ支出スルコトニハ自分等ニモ決シテ異存ハナイト申シテ居リマスガ、其方法ニ付キマシテハマダ具體的ニハ定ツテ居ラヌノデアリマス、唯御斷ヲシテ置キタイノハ十數名ノ人ガ拂下ヲ受ケテ居リマスガ、其收入ヲ私シテ徒ニ自己ノ收入ヲ圖ツテ居ルト云フコトハ決シテナイノデ、其收入ハ積立テ、居ルノデアリマシテ、其積立費用ニ付テノ用途ハ、此方カラ指示スレバ其趣旨ニ基イテ支出スル、斯ウ云フ話合ガ出來テ居ルノデアリマス

農家トシテ實際ニ之ヲ使ツテ見テ分ルノデアリマスカラ、品質ノ改良ニ付テハ一段ノ進歩ヲ要求スルト共ニ、是ガ製造方法等ニ付テモマダ／＼十分研究ノ餘地ガアルダラウト思フ、ソレデアルカラ是等ノ事ニ付テハ直接、間接ヲ問ハズ、政府ガ營業者ニ向ツテ指示スルレバ、既ニ積立金モアルコトデスカラ、是等ヲ利用スレバ有用ナル研究ノ結果モ生レルコトダラウト思ヒマス、資金難ノ今日ニ於テコンナ多額ノ金ガ遊ンデ居ル、其後積立テ、居ルト云フコトニアリマスカラ、百五六十萬圓乃至二百四五十萬圓ノ金ハ今日マデニドウシテモ積立テ、居ラナケレバナラヌ事ニナルノデアリマス、是等ノ金ヲ有用ニ使フト否トニ依ツテハ、國產ノ上ニ於テ至大ナル影響ガアルダラウト思フノデアリマスカラ、商工大臣ニ於カレテハ農林大臣ト十分御相談下サッテ、斯云ノモノハ國家工業ノ爲ニ、又農村ノ犠牲ニ依ツテ是ダケノ金ガ積立テラレタノデアリマスカラ、農村ノ振興ニ資スルヤウナ施設ヲ爲サルノガ當然ダラウト思フ、農村ニ非常ナ關係ガアル工業ナラバ、農民ト雖モ不平ヲ言フ譯ハリマセヌカラ、國家有用ノ工業ノ進歩發達ノ爲ニ之ヲ利用スルヤウナ方策ヲ立テ得ルダラウト思ヒマス、此場合特ニ此事ヲ商工大臣ニ御註文申上ゲ

テ、幾多ノ問題ガアリマスガ、此質問
業ガ不振デアル、資金ノ回収ガ附カナ
イ、斯ウ云フ状態デアリマス、殊ニ小
賣商人ニ於キマシテハ、多クハト言フ
ノハ語弊ガアリマスガ、其中少クトモ
三分ノ一程度ノ者ハ掛ニナッテ居ルノ
デアリマス、月勘定又ハ田舎ニ参リマ
スト年二回ノ勘定、斯ウ云フコトニナッ
テ居ルガ爲ニ、資金ノ回収ニ頗ル困難
ヲ感ジテ居リマス、ソレデ舊ノ節季、
又昨年末ニ際シテ大ナル資本家ハソ
レヽ＼寛カナル正月ヲ迎ヘルコトガ出
來マシタガ、小商人ハモウ四苦八苦ノ
苦ミニ浸ツテ居ルノデアリマス、殊ニ近
代ハ百貨店「デパートメントストア」ノ
壓迫ノ爲ニ、尙ホ一層ノ苦ミヲ受ケテ
居ルノデアリマス、ソレデ商工大臣ニ
此際御伺致シタイノハ「デパートメン
トストア」ノ小商人壓迫ノ緩和ヲドウ
スルカ、此點ハ非常ニ大キナ問題デアリ
マス、東京ニ於テモ、此問題ガ此頃ヤカ
マシク論議サレルヤウニナツタ、ソレ以
上ニ地方ニ於テハ、或ル大「デパートメ
ントストア」ハ地方進出ヲ企テ、居ル
ノデアリマス、ソレノ第一段トシテ、
一方ニ於テハ金澤市、近クハ札幌市ニ
其尖端ガ現レテ居ルノデアリマス、ソ
レガ爲ニ地方ノ小商人ハ非常ナル脅威

ヲ受ケテ居ル、札幌ニ於テハ大ナル建築ヲ地方ノ者ガ投資ヲ致シテ、某百貨店ハ之ニ對シテ年一割八分ノ配當保證ヲ致シテ、其家屋ヲ借受ケルト云フコトヲ致シテ、地方ノ資產家ノ指示ヲ受ケテ、此處ニ支店ヲ出サウ、斯ウ云フノガ札幌市並ニ金澤市ニ於ケル所ノ計畫デアリマス、之ニ相次イデ約四十八ノ支店ヲ全國ニ出シテ、一大支店網或ハ百貨店網ヲ形成シヨウト云フコトデアルノデアリマス、是ガ爲ニ地方ノ小賣商人ハ非常ナル脅威ヲ受ケテ居ルノデアリマス、此問題ハ單リ我國バカリノ問題デナク、歐米先進國ニ於テモ既ニ十數年以前ヨリ是等ノ問題ノ對策ハ講ゼラレ、一部分ハソレドヽ實行ナレテ居ルノデアリマス、遅シト雖モ我國ニ於テハ、是等ノ問題ニ付テハ既ニ直面シテ居ルノデアリマスカラ、對策ハ考究サレテ居ラナケレバ相成ラヌト思フノデアリマス、是ハ商工大臣ニ於テ如何ナル對策ヲ講ジテ居ラレルカ、商工省ニ於ケル對策、又是ガ佛蘭西或ハ獨逸方面ニ於ケルガ如クニ、稅制ニ付テ是等ノ壓迫程度ヲ緩和シヨウト云フコトニ對シマシテハ、大藏省方面ヨリ吾吾ハ御意見ヲ拜聽シタイト斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、先づ商工大臣ヨリ御答辯ヲ得タイト思ヒマス

吾々ハ御心配サレルコトデアリマスガ、吾々ハ心細イ感ジヲ致スノデアリマス、今日ノ前ニ行詰ッテ居リ又行詰ラントシテ居ル、ソレヲ救フニハ左様ナ將來ニ瓦ルヤウナ法案ヲ以テ向フコトハ出來ナイ、是ハ焦眉ノ急デアル、此危急ノ場合ニ對シテサウ云フ手ヌルイコトデハ私ハ救ヒ得ナイト思フノデアル、ソレデ商工大臣トシテハ先進國ノ例ニ做ツテ大藏省ニ向ッテ、或ハ「デバートメント・ストアー」ニ對シテ特別ノ課稅ヲスル、例ヘバ使用人ノ數、是ダケヲ限ツテ是以上ハドウスル、或ハ賣上金は以上ノモノハドウスル、或ハ資本金ガは以上ノ百貨店ハ斯ウ云フ特別課稅ヲスル、或ハ建物ノ坪數、所謂店舗ノ坪數は以上ノモノニ對シテハ斯ウ云フ課稅ヲスル、所謂特別課稅ト云フヤウナモノヲシテ、サウ云フ意味ニ於テ小商人ト負擔ノ二上ニ於テ均等ヲ付ケテ、小商人ニ對スル重壓ヲ此處デ減殺スルト云フヤウナ方法ハ、當然ト考ヘラレナケレバナラヌノデアリマスケレドモ、サウ云フコトヲヤッタ方ガ宜イト云フコトヲ、大藏省ニ案ヲ具シテ御交渉ニナツカドウカ、サウ云フコトモ此場合承ル必要ガアルダラウト思フ

現在ニ於テモ、私能ク調べテ居リマセヌ、
スガ、相當ニ「デバートメント・ストア
ー」ニハ特別ナ負擔ヲシテ居ルダラウ
ト思フ、負擔ノ點ニ付キマシテハ小サ
イ商人ノ比例デハナイト思ヒマス、ソ
レ故ニ小サイ商人ハ先キ申シマス如
キ共同ノ力ヲ利用シテヤリマスルナラ
バ、店舗ノ費用モ「デバートメント・ス
トアーノ負擔ヨリハ餘程輕イシ、必
ズヤ是ト競争シ得ル状態ニ或ル程度迄
ハ行クモノダト思ヒマス、唯共同ト云
フコトガ中々困難ナ問題デ、餘程シニ
クイ點ガアリマスカラ、之ニ組合ヲ設
ケテ出來ルダケ共同ノ力ヲ利用スルコ
トニサセタイト、斯ウ思ツテ居リマス
○高橋委員 私ハ寡聞ニ致シテ「デバ
ートメント・ストアーナガ他ノ獨立商店
以外ニ特別ニ大キナ負擔ヲシテ居ルト
云フヤウナコトハ少シモ考ヘテ居リマ
セヌ、獨立ノ商店モ「デバートメント・
ストアーノ私ノ同一ナル稅法ノ上デ
ハ待遇ヲ受ケテ居ルコトダラウト思
フ、何等此間ニ區別ハ、國稅ノ上ニ於
テモ地方稅ノ上ニ於テモナカラウト、
吾々ハ考ヘテ居ルノデアル、殊ニ先程
御話ノ商品切手ノ如キニ至リマシテ
モ、是ハ非常ニ大キナ問題デ、商店ノ
經營ノ資本ノ上カラ言ツテモ大キナ「ア
イテム」ニナッテ居ル、即チ私ノ先程例

ニ舉ゲタ名前ハ斯ウ云フ場合デアリマスカラ、餘リ確的ニ申サヌ方ガ宜シイト思フノデスガ、同シ大キナ百貨店デアリマスガ、年額商品切手ノ發行高ガ一千萬圓ヲ超エルト云フコトデアリマス、是ガ無利子デ運用サレルノデアリマス、一企業家ニシテ一千萬圓ノ無利子ノ金ガ使ヘルト云フコトハ非常ナ恩典デアリマス、斯様ナコトニ對シテ何等國家ガ稅ノ目的物ト致シテ居ラヌノデアリマス、私ハ獨立商店ト百貨店トノ間ニ負擔ノ輕重ガアルナドト云フコトハ考ヘラレナイバカリデナク、百貨店ハ非常ナ恩惠ニ浴シテ居ルト私共考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデモ商工大臣ハ尙獨立商店ヨリモ百貨店ノ方ハ重キ負擔ヲ受ケテ居ルカラシテ、負擔ノ點ニ於テハ寧ロ小商人ノ獨立商店ノ方ハ競爭ニ堪工得ルノデアル、ソレデアルカラ共同サヘスレバ百貨店ニ當リ得ルノデアルト斯様ニ申サレルノデアリマスガ、私共ハ左様ニ承ツテ甚ダ不可解ニ思フノデアリマス、モウ一應御説明ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

ニ割當テ、諸稅及ビ諸負擔及ビ諸掛
リ、或ハ使用人ノ負擔等ヲ計算シテ見
タコトハアリマセヌケレドモ、「デバ
トメント・ストア」ノ大キナ世帶ハ、
諸稅、諸負擔、諸掛リ、或ハ使用人、
從業員ノ負擔ハナカヽ相當時ニ掛ツテ
居ルモノト思ハレル、之ヲ仔細ニ考ヘ
タ時ニ於テ、小商人ノ自分ノ子供ヲ使ツ
テ商賣ヲスルトカ、或ハ使用人デモ極
ク儉約シテ出來ルダケ少ナイ使用人ヲ
使ウテ、勉強サヘスレバ小商人ノ諸掛
リハ確ニ少ナイト私ハ思フノデアリマ
ス、ダカラ負擔諸稅ダケデハナク、私
ノ申上ゲタコトハ一體諸掛リ等ガナカ
ナカ大キイト云フコトヲ申シタノデア
リマス、尤モ坪數ニ依ツテ、或ハ賣上高
ニ依ツテ、計算シタコトハアリマセヌ
○高橋委員 益不可解ナコトヲ承ル
ノデアリマスガ、個人ノ商店ガ家内デ
以テ店番ヲ致スカラシテ、費用ガ少ナ
イト云フヤウナコトヲ申サレルノデア
リマスガ、私ハ是ハ大キナ間違ダラウ
ト思フ、家内ノ者デヤツテモ稅法ノ上カ
ラハ何等家内ノ者ハ、今日ハ經費ノ中
ニ差引カレヌ他カラ使用人ヲ雇入レタ
モノハ經費トシテ營業ノ收益カラ、或
ハ純益カラ、之ヲ差引クノデアリマス、
併ナガラ家内ノモノハ差引カヌノデア
リマス、家族ト云々テモ使用人ト云々
テモ、是ハ生活費ハ大シタ違ヒハナイ、

家族ノ方ガ餘計掛カルノデス、サウ云
ノモノヲ使ツタカラト云ツテ、使用人ヲ
使ツタカラト云ツテ、大シタ變リハナイ
バカリデナク、大キナ所ト云フモノハ、
ウ云フコトニアルダラウト思フガ、機
械ヲ利用シ文明ノ科學ヲ利用シテ、サウ
シテ人ヲ省クト云フコトニ付テ、手數ヲ
省クト云フコトニ合理的經營ノ根本義
ガアルダラウト思フノデス、時代ノ尖端
ヲ行カウト云フ所ノ此「デパートメン
ト・ストアーレ」ガ何ヲ苦シデカ時代ノ要
求ニ副ハザルヤウナ不合理ナ經營ヲヤ
ルモノデアリマスカ、ソレデアリマス
カラ大キナ商店内ニ於テ多數ノ人ハ動
イテ居リマセウ、併ナガラ一人々々ノ
働グ仕事ノ分量能率ト云フモノハ雲泥
ノ相違ガアルト云フコトヲ、吾々ハ考
ヘナケレバナラヌノデアリマス、日ニ
何十萬圓ト云フ賣上ノモノト、日ハ何
十圓ト云フ賣上ノモノデハ一人ノ働キ
前ハ非常ニ違フノデアリマス、賣上ト
云フコトヲ此處デ考慮ノ中ニ入レナケ
レバナラヌ暖簾ト云フモノヲ考慮ノ中
ニ入レナケレバナラヌ、斯ウ云フ色々
ノ點ヲ吾々ハ考ヘナケレバナラヌ、今
商工大臣ノ言ハレタル如ク、小商人ハ
業費ガ掛ラヌダラウ、サウ云フ負擔ハ

臣ハ負擔ノ輕重ヲ計ル測定ノ方法ヲ誤ツテ居ルノデ、唯金額ガ小サカッタカラ負擔ガ輕イノダ、斯ウ云フヤウナ錯覺ニ陥ラレタル結果、サウ云フ結論ニ到著スルノデヤナイカト思フ、左様ナモノデハゴザイマセス、茲ニ日本新聞ノ本日ノ記事ニモアリマスル如ク、「中小商工業者保護ヲ如何ニスル」ト云フ題デ、百貨店ニ四倍スル個人店ヘノ重課、収益査定ノ不合理、課稅ヲ改正ゼンバ個人店ハ破滅ノ外ナシ、斯ウ云フ論題デ縷々申述ベラレタル記事ガアリマス、之ヲ一々讀上ゲレバ非常ニ御参考ニナリマセウガ、時間ヲ取リマスカラ、私ハ讀上ゲルコトハ致シマセス、商工大臣ハ後ニ能ク此記事ヲ御讀ミニ仕合セダト思ツテ居リマス、是ハ新聞社ガ調査シタル記事ト云フヨリハ、東京商工會議所ノ議員デアル森某、新宿ノ中村屋店主相馬某、計理士ノ新居某ガ連名デ寄稿シタル、ツノ記事デアリマスカラ、是ハ實際ヲ穿ツテ居ルモノダラシト思フノデアリマス、非常ナ課稅ニ苦シニ居ルノデアリマスルカラシテ、是等ノ鐵ノ鎖カラシテ是非共小商人ヲ解放シ、一面ニ於テ百貨店ノ重壓ニ堪ヘ得ルヤウニ導イテ行カナケレバナラ

ヌダラウト思フノデアリマス
此問題ニ付テ餘リ時間ヲ取リマスカラ
ラ、何レ是等ノ記事ヲ御讀ミ下サレバ
私ガ申上グルヨリモ十分能ク分ルダラ
ウト思フノデアリマス、私モ此記事ハ
マダ讀ンデ居リマセヌカラ（笑聲）後デ
ユックリ讀ミマシテ、サウシテ其論點ヲ
更ニ進メテモ宜シウゴザイマスルシ、
又はハ重大ナル問題デアリマスカラ、
大臣ニ餘暇ガアリマシタナラバ、御夕
飯後等ニ於テユックリ別室デ御相談ヲ
申上ゲテモ苦シカラヌト思フノデアリ
マス、重大ナ問題デアリマス
尙ホ私ハ中小商工業者ニ對スル金融
ノ事デ心配ヲ致シテ居リマシテ、大藏大臣ニ向ツテ、是等ノ人々ニ對スル銀行ノ
貸出餘力ハドノ位アルカト云フコトヲ
承ツテ居タノデアリマス、之ニ對シテ
銀行ノ現在ノ預金ノ狀勢ヲ伺ツテ居リ
マシタ、商工大臣ニ於キマシテハ疾ニ
斯様ナル御調ハ出來テ居ルダラウト思
フ、農林省ニ於キマシテハ農業者ガ今
日脊負ウテ居ル所ノ借金ハ幾ラデアル
カ、今日資金トシテ新シク要スル金額
ハドノ程度デアルト云フヤウナ、ソレ
ソレノ御調ヲ致サレテ居リ、先づ過去
ノ負債ト云フモノヲ天下ニ公表サレテ
居ルノデアリマス、商工省ニ於カレマ
シテモ商工業者、殊ニ問題ニナッテ居リ
マスル中小商工業者ノ負債ハドノ位ア

ルダラウト云フヤウナ御見込デ、此負債ハ一日モ速ニ整理ヲセシムルト云フ御計畫ガアルベキ筈ダト思ツテ居リマスルガ、是等ニ付テ明細ナル御答辯ヲ得レバ、私共ハ非常ニ幸ト考ヘテ居リマス。

○儀國務大臣 御尋ノ商工業者ノ舊負債、斯ウ云フ調べハ今手許ニ持ツテ居リマセヌ、ソレ故ニ是ハ後日整ヘマシテ御手許ニ差出スコトニ致シマス

○高橋委員 總體ドノ位ト云フ御見込デ、商工省ハ中小商工業者ノ救濟ニ向ハレテ居ルノデアリマスカ、救濟ト云フト語弊ガアリマセウガ、中小商工業者ヲ萎靡不振ノ状態カラ救ヒ出シテ一ヤハリ救濟デセウ——サウシテ之ニ活氣ヲ與ヘルト云フヤウナコトハ、當然御考ヘニナラナケレバナラヌノデアリマスガ、一體ドノ位ノ借財ヲ大體ニ於テ持ツテ居ルカ、農民ハ四十五億乃至五十億、昨年中ハ左様ニ唱ヘテ居ツタノデアリマスガ、今年ハ六十億ト言ハレル、年々利息ガ嵩ンデ、而モ一割二分内外ノ高率ノ利息デ以テ重複致シテ居リマスカラ、年々殖エルノハ無理カラヌコトダラウト思フノデアリマスガ、商工省ニ於テハ其「ラウンド・ナンバー」ダケデモ承ルコトガ出来マセウカ

○儀國務大臣 是ハ今申シマス如ク手許ニ持ツテ居リマセヌ、唯御察シ下サ

ルデアラウト思ヒマスルノハ、農業ノ方ノ農家ノ負債ヲ計算スルコトハ、是ハ比較的ニ農村ハ單純デアルカラ容易デアリマスガ、商工業者ノ負債ノ計算ト云フコトハ餘程困難ガアルノデアリマス、ソレ故ニ今申シマス通り手許ニアリマセヌカラ、是ハ更ニ調べタ上ニ御答致シマスガ、大體ニ於テ今ノ御尋ノ如キ事ハ前來カラ——前内閣ノ時ニ於キマシテモ、又此内閣ニナリマシテモ、中小商工業者ノ資金ヲ心配シテヤルト云フコトハ、歷代ノ内閣ガ此點ニ付テ専ラ心配シテ居ルノデアリマス、即チ昭和四年ニ於キマシテハ低利資金貸付ニ付テハ、中小商工業ニ五千萬圓ノ貸付ヲスルト云フ見地ヨリ致シマシテ、之ヲ各府縣ニ割當テ、中小商工業者ニ資金ノ供給ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、事實ハ中々要求ガアリマセヌノデアリマス、是ハ前内閣ノ時代デアリマス、此内閣ニナリマシテモ、一昨年ニ於キマシテ、二千萬圓ハ中小商工業者ノ金融ノ資金ニ貸付ケルト云フコトニ致シマシタ結果ガ、今日ニ於キマシテ漸ク一杯ノ要求ガアリマシテ貸付ヲ了セントスル状況デアリマシテ、之ニ對シテ更ニ五百萬圓ヲ増加スルト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、或ハ此貸付ノ方法ハ御承知ノ通リニ總テノ金融需要者ガ満足スルガ如キコトニ

ナツテ居ルカト申シマスルト、サウハ
ハ其處ニ大ナル貸付ノ障碍ガアリマ
ス、大體申シマスルナラバ信用組合ノ
手ヲ經テ貸付マスルニ付キマシテハ、
役員ノ全部ノ連帶保證ガナケレバ貸付
ラリスト云ツタ如キ手續デアリマスル
ガ爲ニ、貸付ニ對スル要求ガアツテモ
役員ガ保證ヲスル位置ニ立チマスルカ
ラ、貸付ヲ敢テヨウシナイ、斯ウ言ツ
タ譯デ資金ノ需要ノ一部分シカ滿シテ
居ナイト云ツタヤウナ狀況デハアリマ
スルケレドモ、實際割當テタ金ガ使ハ
レテ居ルノハ貸付ケヨウト思ツタ額ニ
ノ故障、即チ信用組合ニ於キマシテ、
役員ガ連帶保證シナケレバ貸付ラレヌ
ト云ツタ如キコトヲ、緩和シタイト云フ
ヤウナコトニ付テ、先般來農林省、大藏
省、商工省ガ集ツテ此方法ノ緩和ヲ相談
致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ信
用組合ハ農林省ノ監督ニ屬シ、中央金
庫ノ支配ノ下ニ、信用組合ガ活動致シ
テ居リマスルガ爲ニ、中々吾々共ガ役
員ノ連帶保證ヲ緩和シテ貸付ヲ容易ニ
致シタイト申シマシテモ、中央金庫ガ
中々聽カナイト云ツタヤウナ憾ガアル
ノデアリマス、ソレ故ニ此中小商工業
者ノ金融ニ付キマシテハ、尙ホ大藏大

臣トモ相談致シマシテ、是等ニ對スル
業者ニ對スル金融ガ全部貸出ガ濟ン
デ、五百萬圓増加ニナルト云々タヤウ
ナコトヲ承ッタノデアリマスガ、ソレ
ハ何カノ御間違ヒジヤナイデセウカ、
吾々ノ承ッタノハ千三百萬圓位シカ貸
サナイ、五百萬圓御出ニナツタノニ對
シテハ、農林省ノ方カラ故障ガ出テ、
五百萬圓ハ農村ノ方へ貸出スト云フノ
デ、中小商工農ト云フ名前ヲクツ付ケ
タ資金ニ直シテ、五百萬圓ヲ貸サウト
云フガ、其五百萬圓ハ少シモ手ガ付イ
テナイヤウニ吾々ハ承知致シテ居ルノ
デス、ソレハ間違ナイノデセウナ、私
デハナイガ、間違ツタコトヲ承ハルト
黙ツテ居レナイコトニナリマスカラ、念
ノ爲ニ伺ツテ置キマス

○儀國務大臣

シマシテ、是等ニ對スル
緩和ノ方法ヲ執リタイト
ルノデアリマス
只今二千萬圓ノ中小商工
金融ガ全部貸出ガ濟ン
増加ニナルト云々タヤウ
スノデアリマスガ、ソレ
違ヒジャナイデセウカ、
ノハ千三百萬圓位シカ貸
萬圓御出ニナツタノニ對
省ノ方カラ故障ガ出テ、
村ノ方へ貸出スト云フノ
農ト云フ名前ヲク付ケ
テ、五百萬圓ヲ貸サウト
百萬圓ハ少シモ手ガ付イ
吾々ハ承知致シテ居ルノ
間違ナイノデセウナ、私
サナコトヲ承テ居ルノ
間違タコトヲ承ハルト
イコトニナリマスカラ、念
直キマス
チヨット訂正シテ置キ
圓ノ中千六百萬圓ダケノ
居ルノデアリマス、ソレ
ハ増加致シテ居リマス
ハリ二千萬圓ノ口ニ増加
貸出ヲ勧誘シヨウト云フ
アリマス、ソレハ間違テ
ラ訂正致シマス
商工大臣ハ今普通銀行其

他ノ銀行ノ貸出、並ニ産業組合ノ連帶
スルト云フヤウナモノヲ相當ニ緩和
ニ御氣ノ付カレタト云フコトハ、私ハ
國家ノ爲ニ喜ブモノデアリマス、今日
低利資金ニ對スル申込ガナイト云フノ
モ、資力ニ付テ非常ニヤカマシイ規定
ガアルカラ、申込ンデモ駄目ダト諦メ
テ申込マヌノデアリマス、今日ノ銀行
法ノ改正ニ付テ庶民金融ノ緩和ニ資ス
ルト大藏大臣ハ一昨日アタリ、私ノ質
問ニ對シテ御答ニナツタ、私ハ不幸ニシ
テ本會議ノ方ニ臨マナカツタノデ、昨夜
深更ニ及ンデ速記録ヲ繰返シテ見タ所
ガ、成程貯蓄銀行等ニ付テモ個人ニ貸
出ガ出來ル、サウ云フ規定ニナツテ居
リマス、洵ニ結構ナコトダト思ツテ段
段見テ行クト、ヤハリ一口千圓以下デ
アル、サウシテ千圓以下デモ間ニ合ヘ
バ宜イガ、更ニ段々見テ見ルト、但シ
確實ナル保證人二人以上ヲ要スル、是
デ行詰ツテシマフ、確實ナル保證人ガ
アル位ナラバ政府ニ御願シタリ、銀行
ニ行クナドト云フ必要ハナイ、何處ヘ
腕、脚以外ニハナイカラ、ソコデ困ツ
テ居ル、何處ヘ行ツテモ循環何トカト
デモ申シマセウカ、グル／＼廻ツテ巴

ノ形ミタイナモノデ、何處ガ頭カ尻ツ
尾カ分ラヌト云フヤウナコトニナリハ
セヌカト、私共ハ考ヘテ居ルノデス、
此場合ハ他ノ場合ト違フ、ソレデアリ
マスカラ此點ニ付テハ十分思切ッタ政
策ヲ行ナハナケレバナラヌノデス、唯
改正ヲヤツタリ、サウ云フ圖面ヲ引張ッ
タリト云フコトダケヂヤ、何等建築ガ
成立タナイノデアリマス、ソレデアリ
マスカラクドイコトヲ申上ゲルヤウデ
スガ、私共ハ大藏當局ニ向ッテモ貸出
ガ出来ル積リダ、庶民金融ガ充實スル
積リダ、市街地ノ信用組合ヲ鞏固ニシ
テ或ハ新シク作ッテ金ヲ貸スト云フコ
トニシテ庶民金融ノ實ヲ舉グル積リダ
ト云フダケデハアリマセヌカ、即チド
レダケノ金融ヲドレダケノ機關デ御動
シニナルト言ッタヤウナ根據ヲ聞キマ
シテモ、マダソレ等ニ對シテハ明カナ
答ガナイ、ソレト同ジヤウニ商工大臣
ノ仰セニナルコトモ甚ダ失禮ナ申分デ
アルカモ知レマセヌガ、只今ノ所デハ
丁度繪ニ描イタ牡丹餅ミタイナモノト
同様、ヒツカラビテ焼イテモ煮テモ食
ヘナイト云フ代物ニナリ易イ、唯眺メ
テ居ルダケデ、却テ食慾ガ増進シ涎ガ
流レテ損失スルト云フコトデハ何ニモ
ナラナイ、サウ云フノガ國民ノ大體ノ
現狀ダラウト思フ、若シ貸サレナケレバ
貸サレナイデ工夫モアルケレドモ、イ

ヤ今ニオ前達ニ金融ヲツケテヤルゾト
云フノデ、繪圖面ヲ見セラレルモノデ
アリマスカラ、廳テハ本物ガ出テ來ル
ダラウト當込ンデ居ルノデアリマス、
偶マニ本物ガ出テ來テモ梯子ガ短クテ
棚ニ届カナイト云フコトニナツテ居ル、
ソレガ實情デアリマス、ソレデアリマ
スカラ、私ハモウ少シハツキリシタ數
字上ノコトヲ伺ッテ居ルノデアリマス
ガ、何レ調査ノ上庶民金融ハ今マデノ
所、デハ救濟ハ是ダケデアルガ、是カラ
借替ヲ第一ニ致シテ、サウシテ新規ノ
要求ニハ斯ウ云フ方法デドウサレルト
云フ、腹案ナリトモ此ノ場合御示シヲ
願ヒタイト思ヒマス、若シドウシテモ
數字ガ纏ラヌト云フナラバ、吾々ノ方
デ調査シタル數字ヲ御目ニ掛ケテ、之
ニ付テノ正確サヲ御判定願フト云フ順
序ニ段々相成ルダラウト思ヒマスカラ
ラ、ドウゾ十分御用意ノ上ニ次ノ機會
ニ於テ御答辯アランコトヲ私ハ望ム次
第デアリマス、尙ホ五六ノ質問ハ残ラ
テ居リマスガ、他ノ委員諸君ノ質問ノ
妨ニナルト惡イト思ヒマスカラ、一時
私ハ中止ヲ致シマス

○吉野政府委員　只今ノ御尋ニ對シテ
居ルト云フコトノ御話ガアッタノデアリマス、
ソレカラ一定ノ案ヲ大藏省ニ出シテ
云フコトモ御聽シタイノデアリマス、
兎ニ角商工省トシテノ御意見ヲ材料ニ
付テ具體的ニ御答願ヒタイト斯ウ申上
ゲタノデアリマス
御答致シマスガ、商工省ト致シマシテ
ハ、御承知ノ通リ大正十一年以來廣幅
織物ノ獎勵ト云フコトヲヤッテ居リマス、
ス、廣幅織物ノ獎勵ト云フコトヲモ
ト徹底シテヤルニハ、織物消費稅ヲ廢
幅織物ニ限ツテ免除シテ費フコトガ一
番手取早イ、稅トカ何トカ云フコトヲ
別ト致シマシテ、商工省ハ唯產業上ノ
關係カラ、サウ云フ考ヲ持チマシテ、
實ハ從來大藏省ニ對シマシテ、其希望
題ノ前カラノ私共商工當局ノ希望デゴ
ザイマシタ、偶々今度減稅ト云フコト
ゴザイマス、併シソレハ今度ノ減稅問
題ノ前カラノ私共商工當局ノ希望デゴ
ザイマシタモノデゴザイマスカラ、毒
ガ問題ニナツタモノデゴザイマシタノデ、
前々カラノ考モゴザイマシタノデ、產
業政策上ノ理由ニ依ツテ、サウ云フコト
ヲ考慮シテ貴ヒタイト云フコトヲ實ハ
今度ノ減稅ニ對シマシテモ、商工當局
トシテ大藏省ヘハ申上ゲタノデアリマ
ス、ケレドモ大藏省ノ方デハ、減稅ニ

付テハ又別ナ稅制ニ關スル色々ナ御考
モアツタモノト見エマシテ、今回ハ私共
ノ産業政策上ニ甚ク希望ハ容レラレズ
シテ了ツタ云フ状況デアリマス
○岡田委員 ソレヨリモ人絹ノ方ノ御
話ヲ伺ヒタイ
○吉野政府委員 大藏省ノ方ニ公式ニ
申上ゲマシタノハ、廣幅全體ニ付テ申
上ゲタノデアリマスガ、全體ニ付テ
ヤルノデハ其減稅ノ財源ヤ何カ、足リ
ナイカラ、サウ云フ場合ガゴザイマシ
タナラバ、セメテ人絹ハ今日織物ノ中
ノ花形ト申シマセウカ、外國ヘノ輸出
カラ見テモ、段々殖エルモノデゴザイ
マスカラ、サウ云フ方面ダケデモヤ
テ戴ケバ宜イト云フコトヲ私共考ヘテ
居リマシタガ、其點マデ公文デ大藏省
ノ方ニ申上ゲルト云フ手管ニハナッテ
居リマセヌ

○吉野政府委員 御尤ナ御質問デゴザ

イマス、重量ダケノ點カラ申シマスレバ、丁度御話ノヤウナ結果ニナルダラウト思ヒマス、唯大藏省ニ其點ニ付テ同ヒマシタ時ニモ、詰リ絹ト人絹ト云云フコトデ、實ハ私共率直ニ申上ゲマスレバ年來希望ノ廣幅織物全體ニ付テノ減税ト云フ事マデニハ今回ハ行キマセヌノデアリマシテ、其點ニ付テノ細イ事ハ尙ホ此法律ガ通リマシテカラ後ニ打合セタイト云フ程度デ、マダ其邊ノ所迄研究致シテ居リマセヌ

○岡田委員 人絹ハ私ガ申上グル迄モナク、近來非常ニ發達ヲ遂グ、日本ト致シマシテモ内地ノ需要ハ固ヨリ海外ニ向ツテ發展ノ餘地ガアルコト・思ヒマス、サウ致シマスレバ假令大藏省ガドウ云フ意見デアラウトモ、商工省ト致シマシテハ、今日輸出獎勵ニ付テ非常ニ力ヲ入レラレテ居ルノデアリマスカラ人絹ニ付テ、モット進シダ御研究ニナツテ大藏省ニ要求ナサルコトハ當然ダト私ハ思ヒマス、然ルニ此點ノ御研究ナリ御抱負ノ餘リ薄イ事ヲ遺憾ニ思ヒマス、更ニ伺ヒマスガ、人絹ト之ニ匹敵スル番手ノ木綿絲、瓦斯絲、生絲此三ツノ中何レガ人絹ニ近イノデアルカ、人絹ノ扱ヒハ絹ニ近クスルガ宜イカ、若クハ木綿ト同一ニ扱フノガ宜

イカト云フ事ニ付テ商工大臣及ビ商工當局ハドウ云フ今日御考ヲ有ツテ御イ

○岡田委員 商工大臣ニ一寸伺ヒタニナリマスカソレヲ伺ヒマス

デニナリマスガ、國イ、今ノ局長ノ御話ハ御尤デスガ、國策トシテ之ヲ如何ニ扱フカト云フコトハ是ハ大キナ問題ダト思ヒマスカラ念

モノデアルカ、或ハ絹ノ方ニ近イモノデアルカ、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ

是ハ人絹ノ發達ニ依ツテ領分ノ食込マレルモノハ絹デアラウカ、綿デアラウカト云フ問題ニ關聯ヲシテ居ルヤウニ

考ヘラレマスガ、場合々々ニ依ツテ色々

此際ソレハ綿ノ方ニ近イノダトカ或ハ

違フダラウト思フノデアリマス、隨テ

外國ニ出テ參ツテ居リマス、即チソレ

ハ支那方面、南洋方面或ハ印度或ハ阿

ガ、私共當局トシテ有ツテ居リマセヌ

○岡田委員 先程ノ大藏當局ノ御意見ニ依リマスト、人絹ト絹トハ先づ同ジ位ニ權衡ヲ得セシメタイ、餘リ人絹ノ商工省ト致シマシテハ、絹織物ノ獎勵行キマス、此領分ハ必シモ絹織物ノ領分デハナインデアリマス、ダカラシテ、

モサルコトナガラ、人絹織物ノ輸出ニ

對シテモ餘程是ハ獎勵シナケレバナラ

ヌモノデアル、必シモ衝突シナイ、斯

アル、是ハ一種ノ意見デアリ希望フノ

ス、絹ノ領分ト人絹ノ領分トハ必シモ

一致シマセヌ、今日人絹ノ織物ガ隨分

申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、

之ニ付テ何カ御考ガナインデアリマス

コトヲシナケレバナラヌト思フ

云フモノヲ大イニ發達セシメルト云フ

レヲ打破ツテ、サウシテ「レーヨン」ト

カ、モットアナタハ此人絹ニ付テノ御抱負ハアリマセヌカ

○儀國務大臣 ソレハ私ハ斯ウ考ヘマ

ガ、私共當局トシテ有ツテ居リマセヌ

○岡田委員 先程ノ大藏當局ノ御意見ニ依リマスト、人絹ト絹トハ先づ同ジ位ニ權衡ヲ得セシメタイ、餘リ人絹ノ商工省ト致シマシテハ、絹織物ノ獎勵行キマス、此領分ハ必シモ絹織物ノ領分デハナインデアリマス、ダカラシテ、

モサルコトナガラ、人絹織物ノ輸出ニ

對シテモ餘程是ハ獎勵シナケレバナラ

ヌモノデアル、必シモ衝突シナイ、斯

アル、是ハ一種ノ意見デアリ希望フノ

ス、絹ノ領分ト人絹ノ領分トハ必シモ

一致シマセヌ、今日人絹ノ織物ガ隨分

申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、

之ニ付テ何カ御考ガナインデアリマス

コトヲシナケレバナラヌト思フ

云フモノヲ大イニ發達セシメルト云フ

レヲ打破ツテ、サウシテ「レーヨン」ト

カ、モットアナタハ此人絹ニ付テノ御抱負ハアリマセヌカ

○儀國務大臣 ソレダカラ違フ、アナタ

ノ御考ト局長ノ御考トモ違フヤウデア

スル政策ト一致スルモノデハナインデ

アリマス、而シテ御尋ノ點ハ私ハ茲ニ

アルダラウト思フ、今頻リニ人絹ノ織

物業者ガ、國內ノ人絹ノ値段ガ餘リ高

過ギル、是ハ詰リ人絹ニ對スル輸入稅

ガ大變ニ高過ギル、隨テ此輸入稅ガ高

イモノデアリマスルカラ、外國品ガ餘

ト云フヤウナ考ハ持ツテ居リマセヌ

ト云フコトニ付テハ、「レーヨン」以外

ニハ今ハナイト云フヤウナ有様デア

デアルカ、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ

○岡田委員 大變ムツカシイ御尋

イ、今ノ局長ノ御話ハ御尤デスガ、國

策トシテ之ヲ如何ニ扱フカト云フコト

付テハアナタハ同ジ御考デアリマス

カ、モットアナタハ此人絹ニ付テノ御抱負ハアリマセヌカ

○儀國務大臣 ソレハ私ハ斯ウ考ヘマ

ガ、私共當局トシテ有ツテ居リマセヌ

○岡田委員 先程ノ大藏當局ノ御意見ニ依リマスト、人絹ト絹トハ先づ同ジ位ニ權衡ヲ得セシメタイ、餘リ人絹ノ商工省ト致シマシテハ、絹織物ノ獎勵行キマス、此領分ハ必シモ絹織物ノ領分デハナインデアリマス、ダカラシテ、

モサルコトナガラ、人絹織物ノ輸出ニ

對シテモ餘程是ハ獎勵シナケレバナラ

ヌモノデアル、必シモ衝突シナイ、斯

アル、是ハ一種ノ意見デアリ希望フノ

ス、絹ノ領分ト人絹ノ領分トハ必シモ

一致シマセヌ、今日人絹ノ織物ガ隨分

申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、

之ニ付テ何カ御考ガナインデアリマス

コトヲシナケレバナラヌト思フ

云フモノヲ大イニ發達セシメルト云フ

レヲ打破ツテ、サウシテ「レーヨン」ト

カ、モットアナタハ此人絹ニ付テノ御抱負ハアリマセヌカ

○儀國務大臣 ソレダカラ違フ、アナタ

ノ御考ト局長ノ御考トモ違フヤウデア

スル政策ト一致スルモノデハナインデ

アリマス、而シテ御尋ノ點ハ私ハ茲ニ

アルダラウト思フ、今頻リニ人絹ノ織

物業者ガ、國內ノ人絹ノ値段ガ餘リ高

過ギル、是ハ詰リ人絹ニ對スル輸入稅

ガ大變ニ高過ギル、隨テ此輸入稅ガ高

イモノデアリマスルカラ、外國品ガ餘

ト云フヤウナ考ハ持ツテ居リマセヌ

ト云フコトニ付テハ、「レーヨン」以外

ニハ今ハナイト云フヤウナ有様デア

デアルカ、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ

○岡田委員 大變ムツカシイ御尋

イ、今ノ局長ノ御話ハ御尤デスガ、國

策トシテ之ヲ如何ニ扱フカト云フコト

付テハアナタハ同ジ御考デアリマス

カ、モットアナタハ此人絹ニ付テノ御抱負ハアリマセヌカ

○儀國務大臣 ソレダカラ違フ、アナタ

ノ御考ト局長ノ御考トモ違フヤウデア

スル政策ト一致スルモノデハナインデ

アリマス、而シテ御尋ノ點ハ私ハ茲ニ

アルダラウト思フ、今頻リニ人絹ノ織

物業者ガ、國內ノ人絹ノ値段ガ餘リ高

過ギル、是ハ詰リ人絹ニ對スル輸入稅

ガ大變ニ高過ギル、隨テ此輸入稅ガ高

イモノデアリマスルカラ、外國品ガ餘

リ安クハイツテ來ナイ、茲ニ制限ヲセ
ラレテ、國內製造ノ人絹モ餘リ價格ガ
安クナイ、サウ云フ高イ人絹ノ原料ヲ
織物ニシテ外國ト競争スルニ付テハ甚
ダ困ル、斯ウ云フ今丁度問題ガアルノ
デアリマス、デ之ニ付キマシテハ一方
ニ於テハ輸入人絹ニ關スル輸入關稅ヲ
遞減スルカ又ハ保稅倉庫ヲ作ツテ、外國
ノ輸入人絹ヲ安ク使ハセルト云フコト
ニスルカ、斯ウ云フ點ノ問題ガアルノ
デアリマス、此點ニ付キマシテハ、人
絹織物ノ對策ト致シマシテ、是ハ重大
問題デアリマス、ソレニ付キマシテハ
大藏當局ト交渉致シテ居リマシテ、マ
ダ其交渉ノ一致點ニハ至リマセヌケレ
ドモ、商工省ト致シマシテハ、或ハ今
申ス兩様ノ方法ニ付テ、保稅倉庫ヲ利
用スルコトニスルカ、又ハ輸入關稅ヲ
モット遞減スルカト云フ點ニ付テ、緩
和シテ貰ヒタイト云フコトヲ大藏當局
ニ交渉中デアリマス

○青木政府委員 先程ノ答辯ニ關聯致
シマスカラ一應私カラ——後ハ政務次
官カラ御答シマス、先程吉野局長ノ言
ハレタヤウニ、人造絹絲ト生絲ヲ同ジ
答致シマシタノハ、其稅法ノ見地カラ、
言ヒ換ヘマスレバ擔稅力、言ヒ換ヘレ
バ消費者ノ方面カラ考ヘタ話デアリマ
ス、即チ此生絲ト云フモノト、人造絹絲
ト云フモノト、綿絲ト云フモノト、主ナ
ルモノガ三ツアル譯デアリマスガ、其擔
稅力ノ見地カラ考ヘマシテ、消費者ニ於
テ此絹織物ヲ著ル人ト、人造絹織物ヲ著
ル人ト、ソレカラ綿織物ヲ著ル人ト、此
消費者ノ擔稅力カラ考ヘテ見マスト云
フト、人造絹絲ト云フモノハ寧ロ絹ノ
方ニ近イモノデアル、私共ハ別段此價
格ダケヲ標準ニ取ルトハ申シマセヌケ
レドモ、此人造絹絲ト云フモノガ絹絲
ノ方ニ近イカ、或ハ綿絲ノ方ニ近イカ、
言ヒ換ヘレバ 人造絹絲ハ絹織物ニ近イ
カ綿織物ニ近イカト云フコトニ付テ、
價格ノ點ニ付テモ調査致シテ居ルノデ
アリマスガ、一體絹絲ニ付テ申シマスト
云フト、最近ノ相場ヲ見テ見マスト云
フト、百匁アタリハ四圓六十二錢五厘、
是ハ生絲ノ上等ノ方デアリマス、玉絲
ニ致シマシテモ三圓六十六錢七厘ト云
フヤウナ相場ヲ出シテ居ルノデアリマ
ス、然ルニ人造絹絲ノ値段ハト云フト

百々當リニ致シマシテ上等ノモノデ一
圓三十七錢五厘、極タ安イノニナリマ
スト八十五錢八厘ト云フヤウナ相場ヲ
出シテ居リマス、綿絲ノ相場ヲ見テ見
マスト、ヤハリ百々當リデアリマスガ、
上等ノ物デ一圓九十二錢七厘、惡イ方
デ二十九錢八厘ト云フ安イ物モアリマ
ス、何レニ致シマシテモ、消費者ノ擔
稅力カラ考ヘマシテ綿織物ヲ著ル人ノ
擔稅力ト、人造絹絲ヲ著ル人ノ擔稅力
ト、ソレカラ絹織物ヲ著ル人ノ擔稅力
ヲ比較致シマシテ、ソレハ、人造絹織
物ヲ著ル人ハ、綿織物ヲ消費スル人ニ
較ベレバ、絹織物ヲ消費スル人ノ方ニ
近イト云フ風ニ私共考ヘテ居リマス
○小川政府委員 屢々問題ニナッテ居リ
マスヤウデアリマス、私以前答辯シタ
コトニ關聯シテ補ツテ置キマス、產業
政策上ノ見地カラ稅ノ素質ノ中ニ多少
ハイツテ來ルコトガアリマス、サウ云
フコトハ吾々決シテ之ヲ否認スル者デ
ハナイ、ケレドモ租稅ノ組方、或ハ減稅
トカ云フコトハ國民ノ負擔力ト云フモ
ノヲ見マシテ、其負擔力ニ相應スルヤ
ウニ稅ヲシテ行カウ、シコデ課稅ノ公
正トカ、課稅ノ公平トカ云フコトニナ
ルノデアリマスカラ、負擔力本位ニ考
ヘルガ相當デアル、斯ウ云フコトヲ私
共前カラ申シテ居ルノデアリマシテ、
減稅ト云フコトハ國民ノ負擔ヲ減ズル

ト云フノデアリマスカラ、ヤハリ負擔
力ト云フ立場カラ考察シナケレバナ
ラヌコトニナルノデアリマス、産業政
策ノ上カラ免稅スルト云フコトモ、其
産業政策上ノ見地カラハ一應ノ理由ガ
アリマスケレドモ、國民ノ負擔ヲ輕減
スルト云フ時分ニハ、其見地ハ採ラナ
イノデアル、斯ウ云フコトヲ以前カラ
申上ゲテ居リマス、又松谷君ニモサウ
云フ説明ヲシタノデアリマシテ、大藏
大臣其他ガ、産業政策上ノ見地モ稅制
整理ノ時ニ考ヘルト言ハレマシタノ
ハ、ソレハ大體ノ建前ノ外ニ例外的ニ
ハイッテ來ルコトモ全然考慮セヌ、コト
モナイト云フコトヲ言ハレタノダト思
ヒマス、今日ノ減稅ノ場合ニハ、負擔
力ノ上カラ見テドウスル斯ウスルト云
〇岡田委員 大臣ガ居ラレヌノデ、大
分方々ニ飛火シテ、部門ガ多クナリマ
シタカラ、小川君ノ方ハ後廻シニシマ
ス、サウシテ人絹ノ主眼點ニ付テ御伺
致シマス、今ノ青木政府委員ノ御話デ
ハ、擔稅ト云フモノヲ概念的ニ調べテ
居ルト云フ御話モアッタシ、又主ナル點
ハ價格ニモアッタ思ヒマスガ、價格ノ
點ニ付テハ、アナタノ仰シヤルヤウニ
ナツテ居ラヌデハナイカ、私ハ商工會議
所ノ方ニ調べテ貴ツタノデアリマスガ、
昭和六年一月三十一日ト二月二十日ノ

ニツヲ調ベタノデアリマス、人絹ハ百五十「デニール」位ノモノデ、瓦斯絲ハ八十番手デアリマスガ、人絹ノ相場ハ百封度百十三圓、ソレカラ綿絲ノ八十番手百三十五圓、生絲六百圓、是ガ昭和六年一月三十一日ノ現物ノ相場デアリマス、ソレカラ二月二十日ノモノニ付テ見マシテモ、ヤハリ人絹ハ同ジャウニ百十三圓デアリマシテ、線絲ハ百四十八圓デ、少シ上ッテ居リマス、生絲ハ少シ下ッタガ、ヤハリ略、六百圓——五百七十七圓五十錢、斯ウ云フコトニナツテ居リマシテ、殊ニ人絹ニ付テハ製造工業ノ發達、外國トノ競争其他ニ依ツイヤウニ下ッテ居ル、値段カラ見マスレバ、木綿ヨリ安イノデアリマス、ソレヲ飛越シタノガ生絲デアル、而モ飛越シ過ギテ居リマス、斯ウナツテ來マスト、大藏省トシテ之ヲ獎勵スル方針ニト、私ノ持ツテ居ル相場表ト少シ違フヤウデアリマス、或ハ私ノ考達ヒカモ知レマセヌガ、其點ヲ御伺致シマス

○青木政府委員 私カラ一應申上ゲマシタ上デ、政務次官カラ御答辯申上ゲマス、先程申上ゲマシタノハ、一月二十九日ノ調デアリマス、是ハ私ガ百々當リニシテ申シマシタノデ、アナタノ方デ御調ニナツタ數字ト比較スルコトハ非常ニ困難デアリマス、今仰セニナリマシタヤウナ方法デ、綿絲ト人造絹手デアリマス、極ク正確ニ申上グマス手デアリマス、極ク正確ニ申上グマス致シマシテ二百六十四ト云フノデアリマスガ、二百六十四ト云フノハアリマスガ、二百五十五「デニール」ノ所ニアツテ同ジコトニナツテ居リマスガ、綿絲二十番手、人造絹絲二百五十「デニール」ヲ百封度當リデ見マスト、人造絹絲ノ方ハ百八圓ニナツテ居リマス、ソレカラ綿絲二十番手一捆當リ百三十六圓、是ハ双方トモ百々アタリニ換算致シマスト、綿絲ガ二十八錢三厘、人造絹絲ノ方ガ九十錢、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、即チ人造絹絲ニ對シマシテ御持チニナツテ居リマス表モ權威アリマス、成程今日ハ割戻稅モアルヤウリマス、外國ニ之ヲ向ケテ行クト云フコトデアリマス、内地ノ消費ヲ盛ニスレバ貴方ノ言ハレル課稅物件ガ多クナル、消費ガ多クナルノダカラ大藏省モ少シ待ツテ居レバ課稅物件ガ多クナル、旁シテ貴ヒタイト思ヒマス、私ハ今日ハ強調ヲ願ヒマス、尤モ其處ニ商工省ノ方置キマスガオイデニナリマスカラ或ハ此際御答話ノ通リ人造絹絲ノ二百五十「デニール」、是ハ綿絲ニ致シマスト、略、二十番

辯ガアレバ承リタイ、念ノ爲ニ申シテ置キマスガ人絹ト綿絲ノ比較ハ私ノハ所謂人絹ヲ入レ得ルヤウナ織物デアリマスカラ所謂瓦斯絲ニ付テ比較ヲ取マスガアレハソンナ意見デハアリマセヌヨ、八十番手ノ瓦斯絲デアリマス、ソレト交ゼ得ルヤウナモノ即チ百五十分、八十番手ノ瓦斯絲デアリマス、ソレ居リマス、タゞノ木綿デハアリマセヌ、依テ寧ロ渺クモ混ゼ織ニ付テ同一ニ扱ハレテモ少シモ妨ガナイト思ヒマス、進ンデ言ヘバ人絹ト云フモノ、發達ヲモット進メルニハ免稅ヲセラレテス、内地ノ消費ヲ盛ニスルコトニ依テ再び外國ニ之ヲ向ケテ行クト云フコトデアリマス、内地ノ消費ヲ盛ニスレバ貴方ノ言ハレル課稅物件ガ多クナル、消費ガ多クナルノダカラ大藏省モ少シ待ツテ居レバ課稅物件ガ多クナル、旁シテ貴ヒタイト思ヒマス、私ハ今日ハ強調ヲ願ヒマス、尤モ其處ニ商工省ノ方置キマスガオイデニナリマスカラ或ハ此際御答話ノ通リ人造絹絲ノ二百五十「デニール」、是ハ綿絲ニ致シマスト、略、二十番

辯ガアレバ承リタイ、念ノ爲ニ申シテ置キマスガ人絹ト綿絲ノ比較ハ私ノハ所謂人絹ヲ入レ得ルヤウナ織物デアリマスカラ所謂瓦斯絲ニ付テ比較ヲ取マスガアレハソンナ意見デハアリマセヌヨ、八十番手ノ瓦斯絲デアリマス、ソレ居リマス、タゞノ木綿デハアリマセヌ、依テ寧ロ渺クモ混ゼ織ニ付テ同一ニ扱ハレテモ少シモ妨ガナイト思ヒマス、進ンデ言ヘバ人絹ト云フモノ、發達ヲモット進メルニハ免稅ヲセラレテス、内地ノ消費ヲ盛ニスルコトニ依テ再び外國ニ之ヲ向ケテ行クト云フコトデアリマス、内地ノ消費ヲ盛ニスレバ貴方ノ言ハレル課稅物件ガ多クナル、消費ガ多クナルノダカラ大藏省モ少シ待ツテ居レバ課稅物件ガ多クナル、旁シテ貴ヒタイト思ヒマス、私ハ今日ハ強調ヲ願ヒマス、尤モ其處ニ商工省ノ方置キマスガオイデニナリマスカラ或ハ此際御答話ノ通リ人造絹絲ノ二百五十「デニール」、是ハ綿絲ニ致シマスト、略、二十番

辯ガアレバ承リタイ、念ノ爲ニ申シテ置キマスガ人絹ト綿絲ノ比較ハ私ノハ所謂人絹ヲ入レ得ルヤウナ織物デアリマスカラ所謂瓦斯絲ニ付テ比較ヲ取マスガアレハソンナ意見デハアリマセヌヨ、八十番手ノ瓦斯絲デアリマス、ソレ居リマス、タゞノ木綿デハアリマセヌ、依テ寧ロ渺クモ混ゼ織ニ付テ同一ニ扱ハレテモ少シモ妨ガナイト思ヒマス、進ンデ言ヘバ人絹ト云フモノ、發達ヲモット進メルニハ免稅ヲセラレテス、内地ノ消費ヲ盛ニスルコトニ依テ再び外國ニ之ヲ向ケテ行クト云フコトデアリマス、内地ノ消費ヲ盛ニスレバ貴方ノ言ハレル課稅物件ガ多クナル、消費ガ多クナルノダカラ大藏省モ少シ待ツテ居レバ課稅物件ガ多クナル、旁シテ貴ヒタイト思ヒマス、私ハ今日ハ強調ヲ願ヒマス、尤モ其處ニ商工省ノ方置キマスガオイデニナリマスカラ或ハ此際御答話ノ通リ人造絹絲ノ二百五十「デニール」、是ハ綿絲ニ致シマスト、略、二十番

シマセウ」ト言ツテ居ル、一國ノ租稅系統ヲ決メル時ニ於テ擔稅力モ宜カラウケレドモ、元來商工獎勵、產業獎勵ト云フコトヲ眼中ニ置カズ或ハ又社會政策ヲ眼中ニ置カズ唯擔稅力ト云フコトヲ言ハレルガ、ソシナ莫迦ナ學者ノ議論ノヤウナモノヲ以テ我國ノ稅法ヲ律セラレテハ困ル、モット大キナ雄大ナ意見ヲ樹テ、貴ハナクチヤナラヌ、モツトハツキリシタ見地ノ下ニ私ハ商工省ガ鞭撻ヲ加ヘルコトヲ希望シテ置キマス、大藏省ハ頑冥、デアル

ゲタ所カドウカ存ジマセヌガ、確ニ申シテ居リマス、ソレデ輸出獎勵トカ其ノ事モ是ハツノ産業政策デアルト他ノ見テ居ルノデアリマス、サウ云フモノモ這入ルコトハアリマスガ——這入ルコトハアリマスガ、大體ノ租稅制度ノ建前ト云フモノハ擔稅力カラ見タモノデアリマス、是ハ間違アリマセヌ、モノデアリマス、是ハ間違アリマセヌ、擔稅力ノ上カラ見タモノデアッテ、サウシテ今度ノ減稅ト云フコトニ付キマシテハ負擔力カラ見タ上ニ言フコトデアリマスカラ、大體ノ建前ガ此負擔力ト云フモノヲ見テカラ言フノデアル、斯ウ私ハ申上ゲテ居ルノデアリマス

〔松谷委員發言ヲ求ム〕

○本田委員： 岡田君モウソレデ宜シ

○松谷委員： 先達テ私ハ特ニ産業政策ノ上カラ見テ慥カ三千萬圓カ六千萬圓デアツタカ茲ニ速記持テ居リマセヌカラ分リマセヌガ、人絹ニ付テハ外國ニ輸出セラレテ居ル、就テハソレヲ保護スル見地カラ、此人絹ト綿織物ニ付テ減稅ヲセラレル意思ハナイカト云フコトヲ御尋ネシタ時ニ、小川政府委員ハ、サウ云フ考ハアリマセヌ、結局是ハ擔稅力ノ方カラノミ來タソデアル、ト云フキバシリシタ御答辯デアッタノデアリマス、速記錄ヲ讀ンデ宜ケレバ私ハズット讀ミマスガ、サウ云フコト

ヲ仰シヤツタ、ソレデ私ハ其後大藏大臣
ガ御出席ニナツタ時ニ、此自作農ニ付テ
ハ税金ヲ特ニ免除シテアルト云フ點カ
ラ、サウ云フコトモ社會政策上認メテ
居ルノデハナイカ、サウスルナラバ斯
ウ云フコトハ認メテ居ルカ否ヤト云フ
コトニ付テ、御聞シタ時ニ、ソレハサ
ウ云フ政策ヲ加味スル場合モアル、サ
ウ云フ御話ノ時ニ、アナタハキッパリト
サウ云フコトヲ考慮ノ内ニ入レナイト
仰シャツタコトニ付テ私ガ大藏大臣ニ
質問シタ時ニ、ソレハ小川君ノ言誤リ
デアル、國產獎勵ノ意味カラシテ減税
スル場合ガ必シモナイコトハナイ、キッ
パリト仰シャツタノデアリマスガ、只今
ノ御答辯ト餘程違フヤウデアリマスカ
ラ、念ノ爲ニモウ一遍小川サンニ御質
問申上ゲル次第デアリマス

行ケバサウデナイノデアリマス、國民ノ負擔ガドウ云フ風ニナルカ、負擔ノ公平ヲ圖ル」云々ト言ツテ居リマシテ、此處ニ產業政策ト云フモノモハイツテ來ルコトガアリマスト言ツテ居リマス、ケレドモ大體ノ稅制ノ建前ト云フモノハ負擔力カラ見テ行クンダ、今度ハ減稅スルノデアリマスカラ、今回ノ減稅ト云フモノモ負擔力ノ方カラ行ツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ風ニ立派ニ答ヘテ居リマス、其他ノ節ニ於キマシテモ、自作農維持創定ノ事ニ付キマシテモ私ハ答ヘタ節ガアリマス、今ドノ貢カソレハ覺エテ居リマセヌガ、明日ニ私答ヘテ居リマス、稅制ノ中ニ自作農維持創定ト云フヤウナ場合モハイツテ來ルンダ、斯ウ云フヤウナコトモ言ツテ居ルノデアリマス、ソレハ明ニ何遍モ言ツテ居ルノデアリマス、サウ云フ事ハ例外的ニハハイツテ來マスケレドモ、全體ノ稅制ノ建前ハ負擔力——堪エル力ガアリヤ否ヤト云フコトヲ見テ行クンダ、減稅ト云フモノモ亦同ジヤウニ負擔力ト云フモノヲ見テ行クンダト云フコトガ明カニ書イテアリマス、

税制度ヲ編立テル折ニ、輸出獎勵デアルトカ云フヤ
ルトカ、國產品獎勵デアルトカ云フヤ
ウナ考デ行クト、サウ云フ風ニ拜察サ
レル節モアリマスガ」ト、私ノ意見ガ
拜察サレル——私ノ意見ガサウ云フ風
ニ聽エマスガ、ト云フ意味デアリマス
ヨ（小川政府委員「サウデス」「固ヨリ
稅制ヲ編立テルニ付テハ產業政策モハ
イツテ來ルコトガアリマスケレドモ、稅
ト云フモノハ建前カラ行ケバサウ、デナ
イノデアリマス」）「サウデナイノデ
アリマス」ト言ツテ否認シテオイデニナ
ルデハアリマセヌカ、建前カラ言フナ
ラバサウデナイノデアル、サウ云フ風
ニアナタハ仰シャルケレドモ、ソレバ、
ハイラヌコトモナイカモ知レヌガ、產
業政策ガハイツテ來ルコトモアルカモ
知レヌケレドモ、稅ト云フモ、建前カ
ラ行ケバサウデナイノデアリマスト
キツバ、リ否認シテオイデハアリマセヌ
カ、宜シウゴザイマスカ、「國民ノ負擔
ガドウ云フ風ニナルカ、負擔ノ公平ヲ
圖ル、ソレデ負擔ガ仕切レルカ仕切レ
ヌカト云フコトヲ見テ、租稅制度ト云
フモノハ立テルモノナノデアリマス、
テ、輸出獎勵策トカ、或ハ國產獎勵トカ
云フヤウナ政策ニ付テノ御議論ガアリ
ナ負擔能力ト云フヤウナ點デナクシ
マス、其處ハ減稅ノ問題モサウ云フ風

ナ建前デナクシテ、」トスウ書イテアリ
マスヨ「ナクシテ、ソレニ堪ヘル力ア
ルヤ否ヤト云フコトカラ見テ、是ハ考
察ヲシタモノデアリマス」斯ウ言ツテ全
然否認シテ居ルデハアリマセヌカ
○小川政府委員 ソレデ宜イデス、私
ノ言フ通リデス、茲ニ今アナタノ御讀
ミニナツタ所ニ二ツノ問題ガアル、一ツ
ハ租稅制度ヲ立テル時分ニハドウ云フ
風ナ考デ行クカ、今一ツハ減稅ヲスル
ニハドウ云フ考デ行クカト云フ二ツノ
コトヲ述ベテ居ルノデアリマス、稅制
ヲ編立テルト云フヤウナ時分ニハ大體
負擔力ト云フモノヲ考察シテ、其上デ
立テ、行クノデアリマス、併シ多少例
外的ニ産業政策ノ考モハイルノハアリ
マス、ハイリマスケレドモ大體ノ建前
ト云フモノハ負擔能力ト云フ方カラ行
クモノデアル、直接稅デアルトカ間接
稅、デアルトカ或ハ所得稅ト云フヤウナ
モノヲ中心トシテ、收益稅ヲ以テ補完
稅トスルト云フヤウナ考ハ皆負擔力ノ
上カラ見タ其考察ノ上カラ出來タモノ
デアリマス、其間ニ多少産業政策ト云
フヤウナモノモ這入ツテ來ルコトハア
リマス、アリマスケレドモソレハドッチ
カト云フト例外的附ケタリ的ノモノデ
アッテ、大體ノ要素建前ト云フモノハ負
擔力カラ來テ居ルノデアリマス、斯ウ

隨テ今回ノ減稅モ今アナタノ仰シヤル
ヤウナ風ノ輸出ノ獎勵ヲスルトカ、サ
ウ云フヤウナ見地カラシテ減稅ヲスル
ト云フノデハナイ、國民ノ負擔ヲ減ジ
ヨウト云フノデアルカラ、其建前カラ
シテ今度ノ減稅案ト云フモノガ出來テ
居リマスト云フコトヲ申上ゲタノデア
リマス、ダカラ輸出獎勵トカ云フヤウ
ナコトハ内地ノ人ノ負擔ノ問題デナイ
ダラウト思フノデス、アナタ方ノ方ノ
非常ニ御議論ナサッテイラッシャル人
ハ、庶民階級或ハ大衆ノ負擔ガドウデ
アル斯ウデアルト云フコトヲ申スノデ
アリマスカラ、ソレハ負擔力ノ問題デ
ハナイカ、生産者ノ立場カラ見タ、產
業政策ノ立場カラ見タモノハソレトハ
別デハナイカ、斯ウ云フコトヲ私ハ申
上ゲタノデアリマス、ソレハハッキリ
言ツテ居リマス

上カラ見テモ、負擔力ノ上カラ見テモ、之ヲ免稅スルコトガ、非常ニ宜イデハナイカ、私ハ擔稅力ノ上カラモ論ジテ居ルノデアリマズ、ソレデアリマスカラ私ハモウ一遍此事ヲ御尋致シマス、ソレデ私共ガ申上ゲタノハ擔稅力ノ方カラト輸出獎勵ノ方カラト、此兩方面カラ申上ゲタ積リデ居リマス、擔稅力ノ方カラ言フナラバ、村ノ若イ娘ニ著セテヤツテ宜イデハナイカ、安イ物ヲ拵ヘテドンヽ著セテヤツテ宜イデハナイカ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、ソレデアリマスカラ、擔稅力ノ方面カラ言ツテモ交織ニ對シテ免稅ヲシテ宜イデハナイカト云フ一ツノ質問ト、ソレカラモウ一ツ之ヲ免稅スルコトニ依ツテ、詰リ交織ヲ免稅スルコトニ依ツテ、貨機ナドヲ織ル人ガ非常ニ樂ニナッテ、サウシテドンヽ輸出ガ出来ルデハナイカ、其點ガ國產獎勵ニナリハシナイカ、斯ウ云フ質問デアリマシテ、此點ハアナタノ御答辯ガ未ダニハッキリシテ居リマセヌカラ、今日改メテモウ少シハッキリ御答辯ガ願ヒタイノデアリマス

マセヌガ今日ニ於テ日本カラ外國ニ輸出サレル物ニ、其稅ヲ免ズルト云フトハ内地ノ消費者ニ利害關係ハナイノデアリマス、アナタ方ノ御考ニナッテ居ラッシャルノモ、消費者ノ負擔ヲ減ジヤウト云フ考カラデハナイカト思フノデアリマス、其建前カラシテアナタノ議論デモ消費稅ヲ減ズルコトガ少イト言ツテ居ルノデアリマス、日本ノ内地ノ人ガ消費シナイ物ヲ免稅シテ何ノ關係ガアリマスカ、アナタノ仰シャル點カラ見テモ、國民ノ負擔力ト云フモノヲ考ヘタ上デ減稅スルノガ筋道デアルト思フノデアリマス、其事ヲ私ガ今日マデ申上ゲテ居ルノデアリマス	ルト田舎ノ賃機ナドヲ織ッテ居ル人ガドンヽヤルカラシテ、隨テサウ云フアリマス、其建前カラシテアナタノ議論デモ消費稅ヲ減ズルコトガ少イト言ツテ居ルノデアリマス、日本ノ内地ノ人ガ消費シナイ物ヲ免稅シテ何ノ關係ガアリマスカ、アナタノ仰シャル點カラ見テモ、國民ノ負擔力ト云フモノヲ考ヘタ上デ減稅スルノガ筋道デアルト思フノデアリマス、其事ヲ私ガ今日マデ申上ゲテ居ルノデアリマス
○松谷委員 大分質問ガ腸道ニ反レテシマッテ、私ノ質問ノ要點ガ外レテ居ルヤウニ思ヒマスガ、簡単ニ申上ゲレバ綿ト人絹トヲ織ッタ物ヲ免稅シテヤルコトガ宜シイデハナイカ、ソレハ村ノ娘ナドノヤウナ擔稅力ノナイ者ニ使ハス必要上、免稅ヲシテヤッタナラバドウデアラウカ、詰リ擔稅力ノ點カラ來テ居ルノデアリマス、價格ガ下ルカラ從ツテ下層民ガ使用スルコトガ出來ル、要スルニ下層民ガ擔稅力ガナイカラシテ、ソレニ對シテ免稅ヲシテヤッタラドウカ、是ハ擔稅力ノ問題デアルモウ一つ安イ物ヲドンヽ安ク賣ルコトニ依ツテ需要ガ増シテ來ル、サウス	○小川政府委員 綿ト人絹トノ交織物ヲ今免稅スルノガ百分ノ九十五デアル——五分ダケ交織物ヲ免稅スル……○松谷委員 五分デナイ、半分々々ノコトデアル
○小川政府委員 綿ト人絹トノ交織物ガ、外國ニ行クト云フ御話デアリマスガ、外國ニ行クト云フ考ハ、アナタガ前カラ仰シャル所ノ產業政策ノ見地カラ來ルノデアリマス、產業政策ノ見地モ或所ニ於テハ全然認メナイコトハナイガ、今回ハ二千五百萬圓ヲ減稅スル、國民ノ負擔ヲ減ズル案ヲ拵ヘルノダカラ、サウ云フコトヲ今考ヘテ居リマセヌト、斯ウ申上ゲタノデアリマス	○青木政府委員 私モ茲ニ八十番ノモノヲ持ツテ居ルノデアリマス、私共ノ意見ニ依リマスト、八十番ノ方ヲ人造ノ百二十「デニール」ト比較スルト、八十番ノ絲ガ九十九錢デアリマスカラ、私ガ先程申上ゲタ二百五十「デニール」ガ九十錢、綿絲ガ九十九錢デ私ノ調デモ
○吉野政府委員 承知致シマシタ、アス	○岡田委員 商工大臣 ニチヨット申上ゲマスガ、先程申上ゲタ大藏省ノ調査デアリマスガ、商工省ノ方デ調べタ今ノ價格ノ調ヲ商工省ノ方カラモ御スルノガ妥當デアルカト云フコトデアリマスカラ私モ尙ホ一層研究ヲ致シマ

○岡田委員 只今ノ小川政府委員ノ御説明ト云フモノハ、是ハ直接ニ此問題ニハ關係ハナイヤウデアリマスケレドモ、進ンデ御答ニナッタ爲ニ再ビ伺ハナケレバナラヌノデアリマスガ、私ハナゼ之ヲ更ニ御伺スルカト云ヘバ、詰リ是ハ我ガ帝國ノ租稅ヲ作ル系統ノ觀念ノ上ニ於テ御聽シナケレバナラヌ、大藏省ノ所謂小川君ノ考ト、ソレヲ打消シテ居ラレル大藏大臣ノ考ト、又商工省、農林省ノ考ト云フモノガドウモ齠齧シテ居ルヤウニ思フノデアリマス、殊ニ今ノ小川君ノ御話ト云フモノハ、消費稅ト地租其他ノ直接稅ト云フモノヲマルデ混淆シテシマツテ、悉クチヤンポンニシタ學者ニアルマジキ御意見ノヤウニ私ハ思フノデアリマス、ノミナラズ減稅ヲスル場合ニハ擔稅力ノミデ俺ハ行クノダ、租稅ノ體系ヲ決メル時ニハ俺ハ產業政策モ加味スルノダ、斯フ云ウ御話デアルナラバ、減稅ヲスル場合、或ハ租稅ノ體系ヲ決メル場合トソニナニ區別ヲスル必要ハナイ——手ヲ振ラヌデモ宜イヂヤナイカ、手ヲ振ッタリ首ヲ振ッテ貰ッテハ困ル——兎ニ角減稅ヲスル場合ニ於テハ考ヘヌ、租稅體系ノ時ニ考ヘルト云フ其區別ガ抑、オカシイデハナイカ、ソレデハ私ハ問題ヲ變ヘテ言ヒマセウ、此減稅ヲスル場合ニ社會政策ニ付テハ御考ヘニナラヌ

ノデアリマスカ、産業政策ハ考ヘ又ト
云フナラバ、社會政策ハドウナサルカ、
ソレヲ聽キタイ
○小川政府委員 岡田君ニ私ノ趣旨ガ
徹底シテ居マセヌノカ、少シ私ノ考以
外ノ事ヲ御話ニナツテ居リマスカラ、一
寸モウ一度申シマス、租稅制度ヲ編立
テルトスウ云フコトヲ申上グテ居リマ
スノハ、アレハ租稅體系トモ言ヒマス
ガ、全體ノ租稅ヲドウ云フヤウナ風ノ
組合セデ——一ツノ建築物見タヤウナ
モノヲ建テルカ、斯ウ云フ時分ノ考察
ハ、大體ニ國民ガ負擔シ切レルカ負擔
シ切レスカト云フ負擔能力、擔稅能力
ヲ見テヤルノデアリマス、其中ニ他ノ
見地ガ多少入ルコトモアリマスケレド
モ、大體ノ考へ方ハサウデアル、直接
稅デモ間接稅デモ、サウ云フモノヲ結
合ハスモノガ皆負擔力ノ上カラ來テ居
ルト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリ
マス、ソレカラ今度ノ減稅ハヤハリ負
擔ヲ減ズルト云フコトヲ主旨トシテ居
ルノデアリマスカラ、此負擔能力ト云
フ風ノ見地カラ來テ居ルノダ、斯ウ申
上ゲタノデアリマス、所謂俗稱ノ減稅
力ト云フ建前カラ斯ウ云フ案ヲ拵ヘタ
ノデアリマスト斯ウ申上ゲテ居ルノデ

テ、所謂減税ト云フモノニ生産政策ノ上カラ出タ減税モアルデセウ、ソレカ
ラ、併シ今回ノ減税ト云フモノハ、倫敦會議ノ結果デ軍備ガ縮少シタ、ソレ
デ國民負擔ノ輕減ヲシヨウ、斯ウ云フ事ニナツテ居リマスカラ、ソレデ擔税
力ト云フ建前デ、其方カラ見テ減税ヲシタノデアル、斯ウ申上ゲテ居ルノア
リマス、ダカラ今度ノ減税ニ付テハ、アナタノ御意見デハ、產業政策上ノ見地
ヲ加ヘテ宜イト斯ウ仰シャルカモ知レマセヌ、マセヌケレドモ、輸出廣幅物ヲ皆免ズ
ルト云フコトニナツタラ、國民負擔ノ輕減ト云フ目的ハ達セラレヌカモ知レマセヌ、
マセヌケレドモ、國民負擔ノ輕減ト云フソレハ政府ハサウヤルコトハイカヌト
スウ云フ風ニ考ヘタカラ、ソレデ負擔能力ノ上カラ見タノダト申上ゲテ居ル
ノデアリマス、ソレカラ社會政策上ノ見地ト云フ、社會政策ト云フ考ハ負擔
能力ト云フ考ト能ク近寄ツテ居リマス、ソレデ稅制ヲ編立テル上ニ於キマシテ
コトヲ負擔能力ノ上カラモ見ル、又俗稱社會政策ト云フ上カラ見テモ、此下
ノ方ノ者ニ輕クスル、或ハ免稅スルト

云フ考ガ這入ツテ來ルノデアリマスガ、此社會政策ト云フ考ト、負擔能力ノ考ト云フモノハ、或點ニ於テ一致スルト思フ、見方ガ色々違フコトモアリマスケレドモ、大體其一致スル點ガアルト思フノデアリマス、今度ノ減稅ニ於テ社會政策ノ點ヲ考ヘルカト云ヘバ、強ヒテ申上ゲルナラバ、小營業者ニ對シテ稅率ヲウント減シテ居ルト云フヤウナ事ハ、社會政策ノ上カラ見テモサウ言ヘルノデアリマス、今ノ負擔能力ノ上カラ見テモサウ言ヘルノデアリマス、ソレハ言葉ノ使方デアリマスガ、大體ニ私ノ申上ゲテ居リマスノハ、稅制ノ編方ト云フモノハ擔稅力ノ上カラ見テ居ルノダ、斯ウ申上ゲテ居ルノデアリマス

ト大抵生産者ト云フヤウナ建前デアルト思ヒマス、ソレカラ負擔力ト云フ方ハ、負擔スルモノデアリマシテ、擔稅ス、直接稅ニ於キマシテハ多ク納稅者ト擔稅者ガ同ジ者デアリマスカラ、納稅者ト云フ方カラ見テ擔稅能力ト云フモノヲ考察スルノデアリマス、所ガ社會政策ト云フノハドウ云フコトヲ言ヒマスカト云フト、所得ノ少イ者、詰リ擔稅力ノナイ者ヲ輕クシテ、擔稅力ノ多イ者ニ多クヲ課ケテ行カウ、斯ウ云フヤウナ考デアリマスカラ、社會政策ノ見地ハ、詰リ擔稅力ノ見地ト云フモノト殆ド同ジヤウナ所ニ立ツテ居ルト言ヘルノデス、併シ之ヲ生産者ノ方カラ見タ、産業者ノ方カラ見タ方ハ違ッタ建前ニアルト思フノデス、立場ガ非常ニ相違シテ居リマス

ヲコトハ誰ガ決メタノデアルカ、減稅ト云フコトハ誰ガ決メタノデアルカ、減稅ヲスル場合ニ擔稅力ノミニ依ツテ行クト云フコトハ誰ガ決メタノデアルカ、政府ガ自ラ決メテ居ルカラ、私ハソレヲ非難シテ居ルノデアル、ソレガ減稅ト同時ニ産業政策ニナルナラバソレデ宜イデハナイカ、ソレヲ無理ニ目ヲ塞ギ、耳ヲ塞ギ、一方ニ於テ國產獎勵ヲスルト云フヤウナ此政府ノ方針ト云フモノハ、單リ産業上減稅案デアルノミデハナイカ、アナタノ謂フ租稅ノ體系ヲ決メル場合ニ、原則トシテ述ベテ居ルデハナイカ、原則トシテ述ベテ居ルニ、彼此レト言フコトハ私ハ許サヌ、若シ左様ナ事ヲ言ハレルナラバ大藏大臣ノ御出席ヲ求メタイ、サウシテ大藏大臣ハ取消シタノデアルカラ、大藏大臣ト次官ト立會ノ上デ此問題ヲ決メタイト思ヒマス、ソレマデハ私ハ之ヲ中止シテ置キマス、大藏大臣ノ出席ヲ求メマス

レハ存ジマセヌケレドモ、私ノ聞ク所ニ依リマスレバ私ノ言フコトヲ取消スト言ツタノデハナク、私ニ聞イタラ宜イト云フ風ニ御話ニナツタヤウニ伺ツテ居リマス

○岡田委員 兎ニ角今申上ゲタヤウニ、大藏大臣ノ出席ヲ求メマス、此問題ハ大キナ問題デアリマス、私ハ容易ニ承服出來マセヌ——大藏大臣ノ御出マデノ間ニ小川政府委員ニ一寸御聞シテ置キタイ、少クモ今度ノ減税ニハ政府ハ産業政策、並ニ社會政策ヲ眼中ニ入レナカツタカ、其御返事ヲ願ヒタイ

○小川政府委員 產業政策ト云フ言葉、社會政策ト云フ言葉ノ言方ニ依ツテハ違フカモ知レマセヌガ、大體私等ノ考ヘテ居リマスノハ、負擔能力ト云フ旨カラ、負擔ヲ輕減スルト云フ建前デヤツテ居ルノデアリマス、ソレカラ同時ニ例ヘバ土地ヲ耕作シテ居ル者ニ都合ガ好イト云フヤウナコトモ起ツテ來ルデアリマセウ、或ル意味カラ言ヘバ社會政策ト云フ考ガ一面アルト云ツテモ宜イ、負擔能力ト云フ上カラ云ヘバ密接シテ離ルベカラザルモノデアルト思ヒカ、此二ツノ問題ノ可否ヲ御答ヘ下サマス

イ、加味シテ居ルカ居ナイカト云フノ
デアルカラ、此間ノアナタノ御答辯ガ
餘程ハツキリシテ居タヤウニ、アノ手
デハツキリヤツテ貰ヒタイ

○小川政府委員 社會政策ト云フモノ
ハ加味シテ居リマセウ、ソレハ負擔力
ト離ルベカラザルモノデアルト言ツテ
居リマスカラ——產業政策ハ輸出獎勵
デアリマストカ、何トカ云フ問題カラ、
產業政策ト云フ文字ハ出テ來タノデア
リマスカラ、其方ハ考ヘテ居マセヌ
○岡田委員 私ハ商工大臣ニ對スル點
ハ、稅法ニ關スル限り一應是デ終リマ
ス

○武田委員 大藏大臣ノ御見エニナリ
マス間、專賣局長官ニ對スル私ノ質問
ヲ續ケマス、昨日專賣局長官ニ御伺致
シタコトニ付キマシテ、御答辯ノ趣旨
ノ御調ヲ戴キマシタ、ソレニ付テ伺ヒ
タインデアリマス、此中デ歲出ノ二千
百三十七萬云々ト云フ中ニ買戻金千二
百幾ラトアリマスノハ、前ニハ賣掛金
トナツテ居タモノヲ現金デ御引取ニナツ
タ、其賣下代金ニ當ルノデアリマスカ
○平野政府委員 左様デゴザイマス
○武田委員 次ニ資本金價格増トアル
ノハ、一度御引取ニナツタ現品ヲ、原價
デ御計算ニナツタモノカト承知致シマ
スガ、左様ニ承知シテ宜シウゴザイマ

○平野政府委員 資本金價格ノ増三百四十九萬二千圓トアリマスノハ、是ハ今ノ買戻シノ千二百萬圓ニ對シテ政府ノ資本トシテ計算スル時ニハ三百四十萬二千圓トナル、斯ウ云フノデアリマス

○武田委員 私モ左様デアラウト思ヒマス、續イテ伺ヒマス、此三百四十九萬圓ト御計算ニナツタモノハ、一度元賣捌人ニ拂下グラレル前、ニ御計算ニナツタ原價デ御計算ニナツタノデアリマスカ、又御引取ニナツタ當時ノ値段デ御計算ニナツタノデアリマスカ、ソレヲ一ツ伺ヒマス

○平野政府委員 是ハ元賣捌人ガ廢止ニナリマス時ノ、六月末ノ元賣捌人ノ手持品ガ幾ラト云フ計算デアリマスカラ、其間ニ資本ガ固定シテ居ラナイカラ同ジデアリマス

○武田委員 サウシマストドウモ今ノ御答辯デハハッキリ致シマセヌガ、元賣捌人ニ對シテ、歲出ノ方ノ買戻金ハ、御拂下ニナツタ時ノ値段ヲ千二百幾ラト御計算ニナツタ、ソレハ分ツテ居ル、御計算ニナル時ニハ、ドウ云フ風ニ御計算ニナツタノカト云フコトヲ伺ヒタインデアリマス、普通ニ考ヘマスト前ニ一度は計算ニ入ツテ居ルノデアリマス、賣下ゲタ時ニハ原價ノ方ニ、賠償金ト

ソレヲ製造スル生産費ト云フモノヲ加ヘタモノガアル筈デアリマスカラ、原料品ノ原價ト、生産費トヲ加ヘタモノハ、新シイ即チ仕入ノ品ト同ジコトニハ三百四十九萬圓ニ當ルノデアリマスカ、ソレヲ伺フノデアリマス

○平野政府委員 千二百萬圓ト云フ金ハ先程申上ゲタ如ク、大體六月ノ終リニ元賣捌ノ手許ニ此位ノ數量ガアルト云フコトヲ見込ンダノデゴザイマス、其内譯ハ例ヘバ口附ノ煙草ガ幾ラ、兩切ガドレダケ、刻ガドレダケト、色々各種目ニ依ツテ違ヒマスガ、其手許ノ資本價格ト云フモノガキマツテ居ル、例ヘバ敷島ノ資本價格ハ一萬本幾ラデアル、朝日ノ資本價格ハドレダケデアルトスウ云フ整理ヲシテ、其資本價格ニ依ツテ計算シタモノノ累計ガ三百四十九萬二千圓デアリマスカラ、是ガ千二百萬圓ノ買戻シニ對スル資本價格デアルトスウ申上ゲタノデアリマス

○武田委員 其點ニ私ハ疑フ持ツテ居ル、專賣局長官ハ、其引取ツタ品物——例ヘバ朝日一本ニ幾ラ掛ツテ居ルト云フ私ハ疑ツテ居ルノデアリマス、ソコノ御質問ハ、多分賠償價格モ下ツテ居ル

テモ、ソコヲ御計算ニナル場合ニ、一度拂下ゲタモノヲ御引取りニナツタ時ニハナニカト云フ御質問デハアリマセヌカ、ソレハ一年ニ一遍、豫定生産費ト云フモノデ、是ダケ生産シロト云フコトヲ、各地方局ニ通達スルノデアリマス、其御計算ニナル時ノ御見込デモ六月一日ナラ六月一日ノ——實際ハ六月一日ニ御引取リニナツテモソレハ御見込デアリマスカラ、即チ年度末ナラス、其生産價格ニ依ツテ元賣捌人ノ手持品ヲ計算スルト三百四十萬圓ニナルト、斯ウ云フ見込デアリマス、ソレカラ昨年ノ終リ若クハ一昨年ノ終リニ賠償料コトヲ見込ンダノデゴザイマス、スル時ニ、商店ノ棚卸シヲスル時モサウデアリマスガ、計算ヲスル時ニ元ハ幾ラ掛ツタト云フ元ノ價格デハ計算ハシテ行ケナイ、其時ノ時價ニ於テ計算ヲスルト云フコトハ商法ノ規定ニモアルコトデアリマス、專賣局ノ計算ノ仕方モサウナケレバナラヌノデアリマスガ、如何様ニキマツテ居ルト云フ其計算ヲスルト云フコトハ商法ノ規定ニモアルコトデアリマス、専賣局ノ計算ニナツタカト云フコトヲ承リタイト云フノガ私ノ趣旨デアリマス

○平野政府委員 分リマシタ、是ハ專賣局ニ於キマシテ年度ノ初メニ、其年ニ於ケル資本額ヲ毎年一度ヅ、キメルノデアリマス、其キマツタ所ノ資本價格ニ依ツテ計算シタノデアリマス、アナタノ御質問ハ、多分賠償價格モ下ツテ居ルコトヲ御説明下サイ、リテ質問スルノダト云フヤウナ御考デナク、御腹藏ナク事實ヲ御説明下サイ、ドウモ私ハ分ラナイカラ伺ツテ居ルノデアリマス、ソコデ決算ノコトデ伺ヘバ一番ハッキリシヤウト思ヒマス、一昨日吾々ニ御渡シヲ願ヒマシタ昭和四年度ノ決算ヲ拜見シマスト、前年度カラ繰越シニナツテ居ル品物、即チ昭和三年

度カラ四年度ニ繰越シニナツテ居ル品
物ガ一億三千何百萬、斯ワ云フコトニ
ナツテ居ルヤウデアリマス、ソレカラ專
賣品ノ賠償其他ノ購買費、即チ葉煙草
ノ御買上ニナルモノ、若クハ外國品ヲ
御買上ゲニナル費用ダラウト思ヒマス
ガ、九千八百幾ラト云フモノガ豫算デ
アツタガ、八千八百幾ラノ減少ニナツタ、
是ハ私ノ想像致シマスニハ、葉煙草ノ
賠償金額ヲ御下ゲニナツタト云フコト
モアリマセウケレドモ、ソレハ豫算ノ
時ニキマツテ居ルノダカラ、賠償價格
ノ引下ハ減額ノ中ニ入ツテ居ラナイト
思ヒマス、詰リ品物ヲ少ナク御買上ゲ
ニナツタ爲ニ減ジタモノト想像スルノ
デアリマス、ソレカラ作業費ノ方デ、豫
算ノ方ハ五千九百七十一萬幾ラニナッ
テ居ルノガ、豫算ヨリ八百萬圓減ツテ居
リマス、是ハ私ノ想像致シマスノニ、煙
草ノ作り方ガ少ナカタ、即チ賠償價格
ノ少ナイコトヲ見ルト、買入レベキ葉
煙草ガ少ナイ、其他外國品ガ少ナクナッ
タ、隨テ材料ノ分量ガ少ナイ、ソレ等ノ
コトガ彼此レ含マレテ八百萬圓減ツタノ
デアラウト、斯ウ思フノデアリマス、之ニ
ガ減ツテ居ル、賣上ハ私ガ申マデモナク
餘リ賣下金ヲ御減額ニナラナイノデア
リマス、是ハ詰リ品物ガ豫定ヨリ賣レ

ナカツタ結果ト見ル外ナイ、サウ致シマ
スト昭和四年度ノ利益計算ト云フモノ
ハ、前年度カラ繰越シニナリマシタ所
ニ品物ト、新タニ御買入レニナツタ所
品物ト、ソレヲ製造シテ煙草ニ御造リ
ニナル作業費、ソレガ所謂原價ニナル
ノデアリマス、ソレニ今度ハ翌年度ニ
繰越スベキ、即チ昭和五年三月三十一
日ニ繰越スデアラウト御想像ニナツタ
物品ヲ入レテ、ソレト賣上金トノ差ガ
專賣局ノ收入ニナルト斯様ニ私ハ考ヘ
テ居リマス、左様ニ致シマスト、此處デ
棚卸ノ際ニ、翌年度ヘ繰越サルベキ品
物ノ見積如何ト云フコトハ、非常ニア
ナタノ方ノ利益計算ニ關係ヲ及ボスノ
デアリマス、先程伺ッタノハ、中途デ賣
ツタモノヲ戻シテ來テ、戻シテ來タ品物
ヲドウ見ルカト云フコトデアリマシタ
カラ、先程ノヤウナ御説明モアリマス
ガ、併シ私ハ多少ソレニ疑ヲ持ッテ居リ
マスケレドモ、假ニサウト致シマシテ
モ、斯様ナ特例デナイ、一年度ニ亘ツテ
ノ場合ニハ、翌年度ニ繰越サウ、即チ昭
年度ニ繰越サレルコトニナツテ居ルヤウ
ニ私ハ拜見致シテ居リマス、ソレハド
ウ云フ根據デ御計算ニナツタノデアリ
マセウカ、此棚卸ノ見積價格ト云フモ
ノハ、ドウ云フ時期ニドウ云フ方法デ

○平野政府委員 只今ノ資本金ノ計算
ノ組織ニ付テノ御疑ノヤウニ思ヒマス
ガ、專賣局ニ於キマシテハ、資本金ノ計
算ハ、葉煙草ニ付キマジテハ、賠償金ノ
原價其儘ヲ資本ノ價格ト致シテ、買入
レタ原價ヲ以テ其儘ヲ資本ノ買入價格
トシテ居リマス、出來上タ製品ニ付キ
マシテハ、原料價格ト工賃ト材料品ト
雜費ト、斯ウ四ツヲ合シタモノヲ以テ、
製品ノ資本額トルノデアリマス、サ
ウ云フ風ナ一定ノ整理方式ガアリマシ
テ、ソレニ依テ年々資本價格ト云フモ
ノヲキメマシテ年度末ニハ屢々申シマス
如ク品物ノ持越シガアリマス、葉煙草
ハ一年分ヲ翌年度ニ持越シマスシ、又
鹽ノ如キニ致シマシテモ、近頃鹽田整
理ヲ致シマシタケレドモ、昨年ノ如キハ
非常ニ豊作デアリマシテ、内地鹽ガ是
デ又「ストック」ガ澤山アリマス、輸入鹽
等モ相當年度末ニハアリマスルカラ、
資本ハ買入レタ原價ヲ以テ資本價格ト
致シマス、製品ニ付キマシテハ、年度ノ
初メニ今年ノ材料價格ハドレダケ、工
賃ハドレダケ、雜費ハドレダケト云フ
ノデ、生產費ヲキメテ、其價格ヲ以テ地
方局へ通達シテ整理ラスル、サウ云フ
整理ノ方法ヲヤッテ居リマス

マシテ、諸君ノ質問ガ繼續サレルコト
デアラウト思ヒマスカラ、私ハ之ヲ保
留シテ他日ニ譲リマスガ、此場合一ツ
御願シテ置キマス、私ハ今ノ御説明ヲ
承ツテ、一層疑問ヲ増シタヤウナ心持デ
アリマス、モウ少シ伺ツテ見ナイト、若
シ私ノ疑ノ通リト致シマスト、餘程歳
入ニ關係ヲ及ボスト云フヤウナ氣分ガ
致シタノデアリマス、併シ是ハ單純ナ
事務的ノ質問デアリマスカラ、明カニ
左様ニ仰シヤレバ宜シイノデアリマス、
ソレカラ是ハ直キ御分リニナラウトシ
フカラ、明朝マデニ御願シタインデス
ガ、昭和三年度カラ四年度へ持越シニ
ナリマシタ、即チ一億三千何百圓トシ
テ、四年度へ持越シマシタ品物ノ種目
ト數量ト、單價ト金額トヲ承知致シタ
イノデアリマス、ソレカラ昭和四年度
中ニ受入レマシタモノ、即チ御買上ニ
ナツタヤウナモノ、ソレモ同様品物ノ
種目ト數量、單價ト金額トヲ承知致シ
タイノデアリマス、ソレト同時ニ昭和
四年度中ニ出拂ヒニナリマシタモノ、
同ジク品物ノ種類、數量、單價、金額ヲ
承知致シタイノデアリマス、サウシテ
ソレ等ヲ差引致シマシテ、昭和五年度
ヘ繰越ニナリマシタ品物ノ種類ト、數
量ト、單價ト金額ヲ承リタイノデアリ
マス、之ヲ私ハ今昭和四年度ノコトヲ
御伺致シマシタノハ、此確定的ナ決算

思^フテ伺^フタノデアリマスケレドモ、私
ノ知リタイ本旨ハ、昭和五年度へ繰越
ニナツタモノヲ承^フテ見タイ、サウシテ
ソレヲ基本トシテ、昭和六年度へ御計
算ニナツタ基礎ヲ知リタイ、斯^フウ云フ意
味ナノデアリマスカラ、之ヲ御含ミノ
上此表ヲ御作リ^フ願ヒタイ、サウシテ
尙ホ此次ニ其表ヲ戴イタ上^フデ、此質問
ヲ繼續スルコトヲ御許シ^フ願ヒタイノ
デアリマスガ、私ハ今終リニ今ノ説明
ヲ承^フテ、多少ノ疑問ヲ起シタト申シマ
スル意味ヲ申上^フグル方ガ、私ハハッキリ
スルト思ヒマス、ソレハ會社若クハ個
人デ損益計算ヲ致シマス場合ニ、假令
不動産デアレ、或ハ其他ノ仕入物デア
ル、仕入レタ物ノ「ストック」ガアリマス
ナラバ、其差引計算ハ、其時ノ時價デ計
算シナケレバ、本當ノ其利益ガ分ラナ
イノデアリマス、即チ會社ノ如キモノ
ハ、例ヘバ株券ヲ持^フテ居ル、買入レタ
時ヨリハ計算ノ時ガ非常ニ株券ガ上
ル、所謂サウ云フモノヲ利益ニ計算シ
テ居ル、大戰中ノ利益ノ時ナド、五割モ
八割モ計算シタト云フコトハ、サウ云
ル筋ノモノデアルマイカト私ノ頭ニア
ルノデ、御伺^フヌル譯ナノデアリマス、
詰リ其意味ヲ明カニシテ、此材料ヲ御

面倒大事ハナイト思ヒマスカラ、明朝
委員會ヲ開ク時マデニ、御面倒デモオ
作リヲ願ヒマス、サウシテ其上ニ委員
長ニモ何等カノ機會ヲ與ヘテ戴キタイ、
其表ノ出來タ上デ、簡單デアリマスカ
ラ、御答辯ヲ御願スルコトノ、其機會ヲ
御興ヘ願ヒタイト云フコトヲ委員長ニ
御願シテ私ノ質問ハ終リマス
○平野政府委員 出來ルダケ拵ヘテ一
ツ御覽ニ入レルコトニ致シマス
○高橋委員 専賣局長官ニ——大藏大
臣モ御見エニナリマシタガ……
○井上國務大臣 私ハモウ何モ用ガア
リマセヌカラ、緩リデ宜シイ
○高橋委員 昨日葉煙草ノ賠償價格ノ
コトデ、大藏大臣カラモ御答辯ガアッ
テ、ソレノ補充ニ專賣局長官ガ御見エ
ニナシタト、斯ウ私共ハ承知シテ居ル
ノデアリマス、大藏大臣ノ御言葉ニ依
ルト云フト、上級ノ方ノ煙草ヲ下ゲテ、
サウシテ下級ノ方ノ煙草ハ賠償價格ヲ
下ゲヌスト云フ御言葉ガアッタノデアリ
マスガ、私ハ逆ダラウトスウ申上ゲテ、
ソレデ政府委員カラノ答辯ヲ煩ハスト
見マシテモ、ドウシテモ優等、一等ト
云フヤウナ物ヨリハ、下級ノ方ハ相當
タノデアリマスガ、ヤハリ此表ヲ能ク
ニ下ヅテ居ル、斯ウ考ヘテ居リマス、殊

ノデアリマスカ、大臣ハサウ云フ工合ニ考ヘラレテ、長官ノ御企テニ同意セラレタト云フノデアリマスカラ、其邊ヲ明カニ承知シテ置キタイト思ヒマスノ賠償價額ヲ下ゲマシタ、ソレハ丁度昭和六年ニ煙草ノ値段ニ影響セヌケレバナラヌガ、何故煙草ノ値段ガ下ラナイカト云フ事情ハ、昭和四年ニ煙草ノ賠償價額ヲ下ゲマシタノハ、比較的上等ノモノデアツテ、今日ハソレヲ使用シテ居リマセヌ、專賣局ノ倉ノ中ニ貯藏シテアルヤウナ狀態デアリマスカラ、煙草ノ値段ハ下ゲルニ至ラズニ居リマス、斯ウ私ハ答ヘタノデアリマス、ソレヲ專賣局長官ガ後カラ參リマシテ、補充シタ筈デゴザイマス、昭和四年ニ賠償價額ヲ下ゲマスト、ソレハ丁度昭和六年ノ煙草ノ値段ニ、一箇年後ニ影響シテ來ル譯デアリマス、ソレガサウ出來テ居ナイノハ、只今申上ゲル事情ダト述ベタノデアリマス

二月査定デ、六年度ノ煙草ノ買上値段ノ標準ニナルノデアリマスガ、是ハ何圓下ツタ、何圓下ツタト云フコトハ、上級品ハ元ノ價額ガ大キイノデアリマスガ、之ヲ比率ニ計算ヲ致シマスルト、左様ナ下リ方ニモナッテ居ラヌノデアリマス、比率ニ計算シテ見マスト、優等ハ八分四厘臺デ、一等、二等、三等マデガ八分臺、四等、五等、六等ガ九分臺ニナル——九分ト云フノハ一寸間違デアリマスガ、九割臺ニナッテ居ル、ソレカラ次ニ八割臺ト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレ故必ズシモ價額、金ガ大キイカラト云ツテ、歩割デヤハリ其通り下ツテ居ルト云フコトニモ當ルマイト考ヘテ居リマス、私ガスウ云フコトヲ申シテ居リマスノハ、優等ノ煙草ヲ持ツテ居ル者ハ僅デアッテ、中以下ノ者ガ多カラウ、斯ウ云フ頭ヲ以テ私共伺ツテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ頭ノ物ハ少シ位下ゲタナゾト云フコトヲ言ハレテモ、多數ノ耕作者ノ耕作スル葉煙草ノ値段ガ、是ガ無暗ニ下ツテ居ルト云フコトハ非常ニ吾々ハ困ル、頭ノ方ダケ幾分手加減サレテモ、多數ノ者ノ耕作スル葉煙草ニ大ナル影響ヲ及ボスヤウデハ何モノナライ、ソレデ吾々ノ思フノニハ、多數ノ耕作者ヲ有スル中以下ノ者ヲモ

ウ少シ、是ハ賣高モ大キイコトデアリ
マスカラ、相當保護ノ意味ニ於テ、賠償
價額ト云フモノノ維持ヲ圖ッテ戴ケレ
バ宜シイ、是ノ御趣旨ニ適ハナイヤウ
デアリマスカラ、私ハ斯ウ云フ問ヲ發
シテ居ルノデアリマス

○平野政府委員 大體高橋サンノ御話
ハ能ク分リマシタガ、昨日モ一寸申上
ゲマシタ如ク、昭和四年度ノ終リニ賠
償金ヲ引下ゲマシタノハ、大臣カラ御
話ガアリマシタ如ク、比較的上等ノ中
等以上ノモノニ對シテ引下ゲタノデア
リマス、唯其中ニハ一等ト優等トハ、
優等ハ極メテ僅カアリマスカラ、是ハ
手ヲ觸レナカッタガ、二等カラ九等マデノ
ノ比較的上等ノモノニ對シテ値段ヲ下
ゲマシテ、此ノ十等以下十六等マデノ
三、高橋サンノ言ハレル下級品ハ、昭
和四年度ニハ少シモ手ヲ觸レナカッタ
ノデアリマス、其據置ニシタノデア
リマス、併ナガラ昭和五年末ニ賠償金ヲ
引下ゲタ時ニハ、如何ニモ物價ノ下リ
方ガ非常ニ多クアリマシテ、肥料代等
通ジテ下グルノガ適當ダト云フコト
カラ、昭和五年ノ末ニハ賠償金ヲ全部
デアリマシタカラ、是ハ全體ノ等級ヲ
ニ對シテ引下ゲタノデアリマス、又モ
ウーツ申上ゲテ置キタイコトハ、數年
前マデハ非常ニ上等ノ煙草ガ賣レマシ

テ、ソレガ爲ニ非常ニ產地ノ鹿兒島デ
アルトカ、水戸デアルトカ、神奈川ノ
泰野デアルトカ、比較的上級ノ煙草ヲ
產スル所ノ產地ヲ獎勵致シマシタ、所
ガサウ云フ風ニ情勢ガ非常ニ激變シマ
シテ、今日デハ殆ド在來ノ煙草デ賣レ
マスモノハ、刻ミデ言ヒマスト、撫子
トカ、萩ト云フヤウナ、極ク下級品デ
アリマスカラ、隨テ下級ノ原料ガ段々
多ク需要サレルコトニナリマシタカ
ラ、其事ハ十分考慮ノ中ニ入レテ、賠
償金ヲ決定スルノデアリマスガ、他ノ
煙草ニ對スル産業、作物等ハ、非常ニ
惡イモノデアリマスカラ、煙草ノ產地
カラ煙草ノ段別ガ欲シイト云フ、非
常ナ熱望ガアルノデアリマス、左様ナ
事情ノ關係デ、生産費デハアリマセヌ、
スル希望ノ、何ト申シマスカ、冷熱ト
云フヤウナ各般ノ事情カラ考ヘテ、賠
償金ヲ決定スルノデアリマスカラ、今
如ク下級產地ニ對シテハ、需要モ多イ
コトデアリマスカラ、相當考慮スル積
リデアリマス、ソレカラ又鑑定ノ御話
ジテ居ルノデゴザイマス、併シ御話ノ
枚取ツテ、ソレヲ標本トシテ、ソレニ照
シテ鑑定スルノデアルカラ、直グ一二

等位ハ違ツテシマフデハナイカト云フヤウナ御批難モアリマシタガ、是ハ御承知デモアラセラレル如ク、鑑定ハ二本ノ鑑定員ガ立會ヒマシテ、標本ヲ調製スル時ニモ十分慎重ニ、各地方局カラ主任ノ者ヲ集メマシテ、且ツ此頃デハ民間ノ煙草ニ對スル専門家モ、其標本ノ査定ノ時ニ參觀サセテ、参考ニサセルト云フヤウナ方法ヲ執リマシテ、標本ヲ嚴正ニ作リマシテ、其標本ニ對シテ、鑑定人ガ公正ニ鑑定スルノデアリマシテ、若シ其鑑定ニ不服ガアリマスレバ、再鑑定ノ方法モ認メテアルノデアリマス、今日マデノ統計ヲ取ツテ見マスルト、再鑑定ノ事實ハ洵ニ少ナイノデゴザイマスカラ、高橋サンノ御心配ノヤウナコトハ先ヅナカラウト、私ハ考ヘテ居ル次第デアリマス

ニ嚴正公平ニ御願致シタイトスウ考へ
テ居リマス、而シテ外國種ト云フモノ
ガ此處ニアリマスガ、是ハ無論米葉其
他ノ外國種デ、日本内地ニ於テ栽培サ
レタモノ、賠償價額ガ六百三十何萬圓
デアツテ、其外ニ米國カラ來ル所ノ、昨
年度邊リ約一千萬圓ト云フモノガ外國
ガ、外國カラ來ルモノガアルノデアリ
マス、サウ云フノハ此外ニアルト承知
シテ宜シイノデアリマスカ

○平野政府委員 此處ニ昭和六年度葉
煙草賠償金内地種三千四百四十萬圓、
外國種六百三十四萬五千圓、斯ウ書イ
テアリマス、外國種ハ内地デ作リマス
セヌ、御承知ノ通リ瀬戸内海ノ沿岸、
其他近頃段々方々ニ擴張シテ居リマス
ガ、其處へ亞米利加ノ「ヴァージニヤ」
ノ煙草ノ種ヲ持ッテ參リマシテ、移植シ
マシテ、產地ヲ段々擴張シテ居リマス
ソレニ對スル賠償金六百三十四萬五千
圓デアリマス、此外亞米利加カラ買フ
原料ガ、是モ減ラス積リデアリマスガ、
約七百萬圓位アラウト思ヒマス

○高橋委員 最後ニモウ一言ダケ御尋
シテ置キタイト思ヒマス、ソレハ大藏
大臣モ能ク聽イテ置イテ戴キタイノダ
ガ、所謂負擔輕減ト云フモノニ對シテ、

非常ナ影響ヲ及ボシテ居リマス、地方
ノ農民ノ消費力ガ非常ニ衰ヘタノデア
リマス、併ナガラ煙草ト云フ嗜好品ハ、
他ノ嗜好品ト違ツテ、中々止メラレナイ
ノデアル、ソレデ敷島ヲ喫ンデ居ツタ者ガ「バツ
ト」ト云フヤウナ工合ニ變ルト共ニ、
殊ニ農家ニ於テ刻煙草ヲ喫ミマスガ、
此頃ハ一番最下級ノ「アヤメ」ガ非常ニ
需要ガアル、所ガ地方ニ於テハ、殆ド
十日ニ一回位シカ配給ガ從來ナイノデ
アリマス、ソレデ已ムヲ得ズ他ノ高イ
煙草ヲ買フト云フヤウナコトヲ強制サ
レテ居ル、是ガ農家ノ今日ノ經濟ニ於
テアリマス、外國種ハ内地デ作リマス
ウ云フコトニ付テハ、十分御考ヲ願ハ
ナケレバナラヌノデアリマスルガ、六
年一度ニ於テハ、是等ノコトハドウ云フコ
トニ考ヘラレテ居ルカ、只今東京邊リ
シタ方ガ宜イノデアリマスカラ、其方
針デ年來ヤツテ居ルノデアリマスケレ
ドモ、唯煙草ニ對スル需要ノ變化ト云
如ク、以前マデハ口附ノ煙草ガ全盛デ
アリマシテ、ドウモ兩切ヲ持ッテ居ル
ト、梅雨ノ時分ニハ徵テシマッティカヌ
ト云フコトヲ言ハレマシテ、今日デハ
シテ置イテ、賣殘品ヲ強制的ニ販賣ヲ
行カナクテ、非常ナル片手落ニナッテ
居リマス、望マナイヤウナ品ヲドンド
シ押付ケラレルト云フヤウナ傾ガアル
ノデアリマス、是ハソレ等ヲ品切ニサ
レニ對スル賠償金六百三十四萬五千
圓デアリマス、此外亞米利加カラ買フ
原料ガ、是モ減ラス積リデアリマスガ、
約七百萬圓位アラウト思ヒマス

○平野政府委員 成ベク國民ノ需要ス
アリマス、ソレデ已ムヲ得ズ他ノ高イ
煙草ヲ買フト云フヤウナコトヲ強制サ
レテ居ル、是ガ農家ノ今日ノ經濟ニ於
テ非常ナ苦痛デアルノデアリマス、斯
ウ云フコトニ付テハ、十分御考ヲ願ハ
ナケレバナラヌノデアリマスルガ、六
年一度ニ於テハ、是等ノコトハドウ云フコ
トニ考ヘラレテ居ルカ、只今東京邊リ
シタ方ガ宜イノデアリマスカラ、其方
針デ年來ヤツテ居ルノデアリマスケレ
ドモ、唯煙草ニ對スル需要ノ變化ト云
如ク、以前マデハ口附ノ煙草ガ全盛デ
アリマシテ、ドウモ兩切ヲ持ッテ居ル
ト、梅雨ノ時分ニハ徵テシマッティカヌ
ト云フコトヲ言ハレマシテ、今日デハ
シテ置イテ、賣殘品ヲ強制的ニ販賣ヲ
行カナクテ、非常ナル片手落ニナッテ
居リマス、望マナイヤウナ品ヲドンド
シ押付ケラレルト云フヤウナ傾ガアル
ノデアリマス、是ハソレ等ヲ品切ニサ
レニ對スル賠償金六百三十四萬五千
圓デアリマス、此外亞米利加カラ買フ
原料ガ、是モ減ラス積リデアリマスガ、
約七百萬圓位アラウト思ヒマス

○高橋委員 最後ニモウ一言ダケ御尋
シテ置キタイト思ヒマス、ソレハ大藏
大臣モ能ク聽イテ置イテ戴キタイノダ
ガ、所謂負擔輕減ト云フモノニ對シテ、

非常ナ影響ヲ及ボシテ居リマス、地方
ノ農民ノ消費力ガ非常ニ衰ヘタノデア
リマス、併ナガラ煙草ト云フ嗜好品ハ、
他ノ嗜好品ト違ツテ、中々止メラレナイ
ノデアル、ソレデ敷島ヲ喫ンデ居ツタ者ガ「バツ
ト」ト云フヤウナ工合ニ變ルト共ニ、
殊ニ農家ニ於テ刻煙草ヲ喫ミマスガ、
此頃ハ一番最下級ノ「アヤメ」ガ非常ニ
需要ガアル、所ガ地方ニ於テハ、殆ド
十日ニ一回位シカ配給ガ從來ナイノデ
アリマス、ソレデ已ムヲ得ズ他ノ高イ
煙草ヲ買フト云フヤウナコトヲ強制サ
レテ居ル、是ガ農家ノ今日ノ經濟ニ於
テアリマス、外國種ハ内地デ作リマス
ウ云フコトニ付テハ、十分御考ヲ願ハ
ナケレバナラヌノデアリマスルガ、六
年一度ニ於テハ、是等ノコトハドウ云フコ
トニ考ヘラレテ居ルカ、只今東京邊リ
シタ方ガ宜イノデアリマスカラ、其方
針デ年來ヤツテ居ルノデアリマスケレ
ドモ、唯煙草ニ對スル需要ノ變化ト云
如ク、以前マデハ口附ノ煙草ガ全盛デ
アリマシテ、ドウモ兩切ヲ持ッテ居ル
ト、梅雨ノ時分ニハ徵テシマッティカヌ
ト云フコトヲ言ハレマシテ、今日デハ
シテ置イテ、賣殘品ヲ強制的ニ販賣ヲ
行カナクテ、非常ナル片手落ニナッテ
居リマス、望マナイヤウナ品ヲドンド
シ押付ケラレルト云フヤウナ傾ガアル
ノデアリマス、是ハソレ等ヲ品切ニサ
レニ對スル賠償金六百三十四萬五千
圓デアリマス、此外亞米利加カラ買フ
原料ガ、是モ減ラス積リデアリマスガ、
約七百萬圓位アラウト思ヒマス

○高橋委員 最後ニモウ一言ダケ御尋
シテ置キタイト思ヒマス、ソレハ大藏
大臣モ能ク聽イテ置イテ戴キタイノダ
ガ、所謂負擔輕減ト云フモノニ對シテ、

非常ナ影響ヲ及ボシテ居リマス、地方
ノ農民ノ消費力ガ非常ニ衰ヘタノデア
リマス、併ナガラ煙草ト云フ嗜好品ハ、
他ノ嗜好品ト違ツテ、中々止メラレナイ
ノデアル、ソレデ敷島ヲ喫ンデ居ツタ者ガ「バツ
ト」ト云フヤウナ工合ニ變ルト共ニ、
殊ニ農家ニ於テ刻煙草ヲ喫ミマスガ、
此頃ハ一番最下級ノ「アヤメ」ガ非常ニ
需要ガアル、所ガ地方ニ於テハ、殆ド
十日ニ一回位シカ配給ガ從來ナイノデ
アリマス、ソレデ已ムヲ得ズ他ノ高イ
煙草ヲ買フト云フヤウナコトヲ強制サ
レテ居ル、是ガ農家ノ今日ノ經濟ニ於
テアリマス、外國種ハ内地デ作リマス
ウ云フコトニ付テハ、十分御考ヲ願ハ
ナケレバナラヌノデアリマスルガ、六
年一度ニ於テハ、是等ノコトハドウ云フコ
トニ考ヘラレテ居ルカ、只今東京邊リ
シタ方ガ宜イノデアリマスカラ、其方
針デ年來ヤツテ居ルノデアリマスケレ
ドモ、唯煙草ニ對スル需要ノ變化ト云
如ク、以前マデハ口附ノ煙草ガ全盛デ
アリマシテ、ドウモ兩切ヲ持ッテ居ル
ト、梅雨ノ時分ニハ徵テシマッティカヌ
ト云フコトヲ言ハレマシテ、今日デハ
シテ置イテ、賣殘品ヲ強制的ニ販賣ヲ
行カナクテ、非常ナル片手落ニナッテ
居リマス、望マナイヤウナ品ヲドンド
シ押付ケラレルト云フヤウナ傾ガアル
ノデアリマス、是ハソレ等ヲ品切ニサ
レニ對スル賠償金六百三十四萬五千
圓デアリマス、此外亞米利加カラ買フ
原料ガ、是モ減ラス積リデアリマスガ、
約七百萬圓位アラウト思ヒマス

○希望スル煙草ヲ賣控ヘラスルト云フコトハ致サヌ積リデアリマス、専ホ配給等ニ付キマシテハ出來ルダケノ注意ヲ致シマシテ御希望ニ副フヤウニ努メル積リデアリマス	云ヒマスカ、口ガ長クテ先キノ煙草ノマスカ、利益歩合ハ定價ノ一割一分ヲ興ヘテ居ルノデアリマス、是ハ明治四十五年以來其通り一割一分デズワット
○井上國務大臣 高橋君ノ御注意ノ配給ニ注意スベシト云フ御忠告ハ喜ンデ私御請ケ致シテ置キマス	云ヒマスカ、口ガ長クテ先キノ煙草ノマスカ、利益歩合ハ定價ノ一割一分ヲコトニ相成リ、上級品ヲ求メテモ下級品ト同ジダケノ消費デ間ニ合フ、斯ウ云フコトニ相成ルカト考ヘマスカ
○高橋委員 只今承リマスト十分注意ヲ爲サルト云フコトハ非常ニ結構デアリマス、ソレデ私ハ最後ニ之ダケ申シテ置キマスルノハ、人マデ種々ナル變々タ品種ヲ揃ヘテサウシテ之ヲ客ノ——客ト云フト語弊ガアリマスガ、一般國民ノ好奇心ヲ喚テ煙草ヲ賣ラウト云フヤウナ政策モアルヤウデスガ、是ハ商賣トシテハ又一つノ方法デアルカモ	云ヒマスカ、口ガ長クテ先キノ煙草ノマスカ、利益歩合ハ定價ノ一割一分ヲコトニ相成リ、上級品ヲ求メテモ下級品ト同ジダケノ消費デ間ニ合フ、斯ウ云フコトニ相成ルカト考ヘマスカ
○武田委員 煙草ノ事ニ付テ重要ナ簡御注意ヲ願ヒタイト云フコトヲ最後ニ	云ヒマスカ、口ガ長クテ先キノ煙草ノマスカ、利益歩合ハ定價ノ一割一分ヲコトニ相成リ、上級品ヲ求メテモ下級品ト同ジダケノ消費デ間ニ合フ、斯ウ云フコトニ相成ルカト考ヘマスカ
○本田委員長 簡單デアレバ宜ウゴザイマス	云ヒマスカ、口ガ長クテ先キノ煙草ノマスカ、利益歩合ハ定價ノ一割一分ヲコトニ相成リ、上級品ヲ求メテモ下級品ト同ジダケノ消費デ間ニ合フ、斯ウ云フコトニ相成ルカト考ヘマスカ
○武田委員 煙草小賣人ノ利益歩合ヲ御減額ニナルコトニナツテ居リマスガ、何レノ商賣モ皆ナ不景氣デ困テ居ルトヲ考ヘテ居ルノデアリマスカラ、其點ニ御注意シナケレバイカス、兩切ガ賣レ出シテ口附ガ賣レナカッタ云フコトモ口附ガ非常ニ不經濟デアルノデアル、口ノ所ニ殘ル部分ガ多イカラソレ等ノコトデ嫌フト云フコトニナル、「バイブ」ヲ用キレバ兩切ハ餘程先キマデ喫ヘルト云フコトヲ考ヘル、ソコデ吾々ハ「ゾヴィエット」露西亞ノヤツテ居ルヤウナルアノ煙草ノ口ノ如キハ非常ニ長イ、所謂「バイブ」ノ部分ト	云ヒマスカ、口ガ長クテ先キノ煙草ノマスカ、利益歩合ハ定價ノ一割一分ヲコトニ相成リ、上級品ヲ求メテモ下級品ト同ジダケノ消費デ間ニ合フ、斯ウ云フコトニ相成ルカト考ヘマスカ
○平野政府委員 煙草小賣人ノ利益歩合ノ御尋デアリマシタガ、御承知ノ通シガ、直グ濟ミマスカ	云ヒマスカ、口ガ長クテ先キノ煙草ノマスカ、利益歩合ハ定價ノ一割一分ヲコトニ相成リ、上級品ヲ求メテモ下級品ト同ジダケノ消費デ間ニ合フ、斯ウ云フコトニ相成ルカト考ヘマスカ
○武田委員 煙草ノ値下ナリ其他ノ方法デス、例ヘバ値下ヲスルト云フコトモツノ方法デアリマセウシ、消費者ニ特別ノ便利ヲ與ヘル爲ニ——政府ガ多少ノ資本ヲ投ジテ、便利ヲ與ヘル方法ガアレバ消費者ニ利益ヲ與ヘル方法ニナリマセウ、例ヘバ二百萬、三百萬デ兩切、口附一個一錢下ゲテモ、一昨日カ大藏大臣ノ御話ニアツタヤウニ「バ	云ヒマスカ、口ガ長クテ先キノ煙草ノマスカ、利益歩合ハ定價ノ一割一分ヲコトニ相成リ、上級品ヲ求メテモ下級品ト同ジダケノ消費デ間ニ合フ、斯ウ云フコトニ相成ルカト考ヘマスカ
○武田委員 御覽ノ通リ極メテ簡単デゴザイマス——總體デドノ位ノ小賣人ノ利益ガ減ルノデアリマスカ	云ヒマスカ、口ガ長クテ先キノ煙草ノマスカ、利益歩合ハ定價ノ一割一分ヲコトニ相成リ、上級品ヲ求メテモ下級品ト同ジダケノ消費デ間ニ合フ、斯ウ云フコトニ相成ルカト考ヘマスカ
○平野政府委員 一分減額スル爲ニ六度ニ於キマシテハ政府ノ方ハ二百三十二萬五千圓ノ增收トナリマス、是ハト云フ割引歩合ハ、他ノ專賣ヲ施行シテ居リマスル、例ヘバ臺灣デアリマス	云ヒマスカ、口ガ長クテ先キノ煙草ノマスカ、利益歩合ハ定價ノ一割一分ヲコトニ相成リ、上級品ヲ求メテモ下級品ト同ジダケノ消費デ間ニ合フ、斯ウ云フコトニ相成ルカト考ヘマスカ
○武田委員 サウシマスト云フト、物販ナル質問ヲシテ煙草ノ方ヲ片付ケタス、イト思ヒマスガ、發言ヲ御許ヲ願ヒマス	云ヒマスカ、口ガ長クテ先キノ煙草ノマスカ、利益歩合ハ定價ノ一割一分ヲコトニ相成リ、上級品ヲ求メテモ下級品ト同ジダケノ消費デ間ニ合フ、斯ウ云フコトニ相成ルカト考ヘマスカ
○武田委員 サウシマスト云フト、物販ナル質問ヲシテ煙草ノ方ヲ片付ケタス、イト思ヒマスガ、發言ヲ御許ヲ願ヒマス	云ヒマスカ、口ガ長クテ先キノ煙草ノマスカ、利益歩合ハ定價ノ一割一分ヲコトニ相成リ、上級品ヲ求メテモ下級品ト同ジダケノ消費デ間ニ合フ、斯ウ云フコトニ相成ルカト考ヘマスカ
○武田委員 其問題ハ煙草ノ値下ノシタラドウカト云フヤウナコトノ御質問ノヤウニ伺ヒマスガ、サウデゴザイマスカ	云ヒマスカ、口ガ長クテ先キノ煙草ノマスカ、利益歩合ヲ御減額ニナツタノデアリマスカ
○武田委員 一寸武田君ニ申上ゲマスガ、直グ濟ミマスカ	云ヒマスカ、口ガ長クテ先キノ煙草ノマスカ、利益歩合ヲ御減額ニナツタノデアリマスカ

ツト」ナンカヲ一錢下ゲルト千八百圓減ルト云フヤウナコトデ、理窟ハサウダガ減額スル途ガナイ、斯ウ云フヤウナコトモ或ハ實際問題トシテアリ得ルカモ知レマセヌ、ソレト同時ニ消費者ノ便利ヲ圖ルヤウナ方法モ、先程高橋君カラノ御質問モアッタヤウニ、煙草代ヲ必シモ下ゲナクテモ、消費者ニ便景氣デ困ツテ居ルノニ政府ガ自分で出来ル權力ヲ以テ、自分ダケ儲ケルヤウナコトヲシテ、消費者ニ三百萬二百萬ノ恩典ヲ與ヘル考ガナイト云フコトハ、私ニハ受取レナイノデ伺フノデアリマス、取レバ取リ放シ、儲ケレバ儲デ政府ノ懷中ニ入レテ、消費者ニ對シテ利益ヲ與ヘル必要ガナイノデアリマセウカ

依ルト、朝鮮、臺灣ノ小賣人ノ比例カラ
スルト、内地ノ小賣人ガ少シ利益ガ餘計
過ギルカラソレヲ減ジタ、斯ウ云フヤ
ウナ御説明デアリマスガ、ソレハ本年
ニナツテ俄カニ出タ事柄デハナイノデ
アリマス、前カラソレハソレダケノ理
由ガアツテ、何年モ其狀態ニナツテ來タ
ノデアリマス、然ルニ一般ノ者ハ不景
氣ニ苦ンデ居ル時ニ、左様ナ事ヲ今俄
ニ思ヒ付イタガ如クニオヤリニナルト
云フ事ハ、一寸私其理窟ガ受取レスノ
デスガ、何カ他ニ理由ガアルノデアリ
マスカ、單純ニ朝鮮、臺灣トノ比例上、
一分減ジタ方ガ釣合ヒガ宜イト云フ理
由デアリマスカ、他ニ理由ハ全然ナイ
ノデアリマスカ、其理由ヲ伺ヒタイノ
デアリマス

○武田委員 サウシマスト今ノ御話カ
ラ見マスト、先程ハ朝鮮、臺灣ノ小賣
人トノ釣合上ト云フ御話デアリマシタ
ガ、今ハ賣上金ガ段々上ルカラ、此更
改期ニ臨ンデ少シ減シテモ宜カラウト
云フ御話デアリマス、ソレハ一寸私ニ
ハ受取レナイ話デ、昨年來不景氣ノ爲
ニ煙草ノ賣上高ガ順次減ッテ居ルノデ
アリマス、現ニ昭和四年度ノ決算ノ御
話ヲ承ツテモ、減ッテ居ル事ハ先程御承
認ニナツタ、八百萬圓モ減ッタ云フコ
トハ即チ賣高ガ減ッタノデアリマス、何
等他ニ關係ガ無イ、値段ガ下ッタノデナ
イ、値段ハアナタノ方デ御定メニナツタ
ノデ、減ッタノハ賣高ガ減ッタノデアリ
マス、此不景氣ニ臨ンデ順次ニ減ルノ
デアリマス、私ノ承ツタ所ニ依ルト、昨
年アタリハ一箇月ニ二十九萬圓モ減ッ
テ居ルト云フ事ヲ承ツテ居ル、減ル傾向
ニアル時ニ、順次増スカラ、利益ガ餘
計ニナルカラ、小賣人ノ利益歩合ヲ減
シタト云フコトハ、ソレハ甚ダンキ矛
盾デハアリマスマイカ、今ノ御説明デ
ハドウモ私ハ一寸矛盾シテ居ルヤウニ
思フノデアリマスガ、如何デセウ

思ヒマス、一割一分ト云フ利益歩合ハ
四十五年以來ズットソレデ來テ居リマス、其當時ト較ベマスト、今日ハ賣上
金高モ増シテ居リマス、ソレカラ朝鮮、
臺灣等ノ小賣歩合ト較ベマスト權衡ヲ
失スルカラ減額ヲシタト云フノデアリ
マス、其一割一分ノ利益歩合ハ四十五
年カラズット其通リデアリマス

○武田委員 ドウモ私ハ其御答辯ガ洵
ニ分リニクイノデス、餘リ長ク言フト
委員長カラ御叱リヲ受ケマスカラ大抵
ノ所デ止メテ置キマスガ、ドウモ今ノ
御答辯ハ私ニハ受取レナイノデアリマ
ス、私ハ今申上ゲタヤウニ賣高ガ餘計
ニナゾテ、自然ニ小賣人ノ受ケル利益ガ
餘計ニナルカラ、少シ歩合ヲ減シテモ
收入ニ變リハナカラウ、斯ウ云フコト
ナラ宜イノデアリマス、然ルニ昨年來
順次ニ減ジテ居ルノデアリマス、減ル
傾向ヲ著シク持ツテ居ルノデアリマス、
ソレダカラアナタノ仰シャルノトハ違
ヒハシマセヌカト聽イテ居ル、又實際
ニ小賣人カラアナタノ御手許ニ參ツテ
居ルコト、思フガ、私ノ所デモ七八通、
東京小賣人同盟トカ、大阪小賣人同盟
トカ、有力ナ小賣人同盟カラ其困難シ
テ居ル狀態ヲ具サニ陳情ヲ致シテ居ル
ノデアリマス、サウ云フコトハ私等ノ
所ヘモ斯様ニ澤山ノ困窮シタ所ノ狀ヲ

所へハ想フニ何千通モノ陳情書ガ參^ツ
テ居ラウト思フ、其陳情書ヲ見ルト實
ニ氣ノ毒ニ堪ヘナイヤウナ陳情ガア
ル、一面ニ於テハ小賣人ガ非常ニ困^ツテ
居ルト云フ狀態、又一面ニ於テハ賣上
高ガ減ルト云フ狀態デアルノニ、ソレ
ヲ減ズルト云フ理由ハ賣上高ガ餘計ニ
ナルト云フ理由デ以テ歩合ヲ減ズルト
云フコトハ少シク矛盾シテハ居リマセ
ヌカ、又小賣人ノ立場カラ申スト世ノ
中ガ段々進ムニ從^ツテ色々アナタ方ノ
方デハ御註文ヲ爲サル、斯ウ云フ品物
ヲ店ヘ並ベテ置ケトカ、店ノ體裁ヲ善
クシロトカ云フコトヲ御註文サレル、
故ニ彼等ハソレニ向^ツテ固定資本ヲ投
ジテ居ル、小賣人ト雖モ商賣デアリマ
スカラ、他ノ店デ綺麗ニスレバ此方モ綺
麗ニシナケレバナラヌガ、ソレニハ少
ナカラザル固定資本ヲ要スルコトハ事
實デアル、之ヲ御辯解ニナルニハモウ
少シ吾々ガ首肯スルダケノ御答辯ガ
アツテ宜カリサウニ思フガ、モウ一遍御
説明ヲ願ヒタイ、餘り長クハコダハリ
マセヌガ、大藏大臣ニ伺^ツタラ、大藏大
臣ハ三百萬圓バカリハ餘計ニナツタガ、
消費者ニ何等ノ利益ヲ與ヘルヤウナ施
設ハ致シマセヌト言フ、致シマセヌト云
フコトハソレデ分^ツタガ、其致シマセヌ
ト云フコトハドウ云フ譯カラデスカ、

府ガ權力ヲ以テ勝手ニ其利益ヲ減シテ置イテ半年度ニ於テ三百萬圓モ、謂ハシテ居ルカト云フコトヲ伺ッタ所ガドウモ受取レナイカラ、ドウ云フコトヲシテ居ルカト云フコトヲ伺ッタ所ガドウ云フ施設モシテ居リマセスト言ウタガ、ドウ云フ譯デ取レバ取ツ放シデ置クノカ、ソレハドウ云フ譯カ、是ハ或ハ政府ノ財政ガ缺乏シテ困ルカラ無理デアルカモ知レスガ、ソレデ賄フノダト云フコトガ分リマスレバ、ソレデモ宜シイ、ドウ云フ譯デ小賣人ガ困ツテ居ル上ニ賣上ガ減ルト云フ場合ニ、サウ云フ矛盾シタ理窟ヲ加ヘテ之ヲ減スノカト云フコトヲ伺ッテ見タイノデアリマス、此二點ニ付テ御答ヲ得レバ私ハ餘リコダハツテハ居ラヌノデアリマスカ、過酷ナコトデハナカラウ、シマスカ、下ゲテ貰ツテハ困ルト云フ陳情ハ私ノ所ヘモ澤山參ツテ居ルノデアリマシテ、能ク其事情ハ承知シテ居ルノデアリマスガ、今日ノ實際カラ考ヘテ見マシテ、小賣人ノ利益歩合ヲ二分トカ三分トカ云フヤウナ多大ノ減額ヲスルコトハ如何カト思ヒマスガ、一割一分ノモノヲ一分減ズルト云フコトハソレ程何ト申シマスカ、

寧ロ適當ノ方法テアラウ 實際ニ考ヘ
テ斯ウシタ方ガ適當デアラウト考ヘタ
ノデアリマス、他ノ總テノ企業ノ利得
ト云フモノモ減ツテ居ル今日、總テノ事
情ヲ考ヘタ結果、利益歩合ヲ一分減ジ
タコトハ小賣人ニ取ツテモ餘リ苦痛デ
ハナカラウ、御承知ノ通り小賣人ノ申
請ハ非常ニ多イノデアリマス、都會ハ
申スニ及バズ、ドンナ田舎ヘ行ツテモ煙
草ノ小賣申請ハ多イ現況デアリマシ
テ、專賣局ノ指定ヲ受ケマスト、戸棚
ヲ掩ヘナケレバイカストカ、或ハ一定
ノ數量ヲ置カナケレバナラスト云フコ
トヲ申シマスケレドモ、其手數ハ餘リ
掛リマセスデ、多ク兼業デアリマシテ
年寄トカ或ハ子供トカ云フモノガ店ノ
番ヲシテ居ツテ營ムコトノ出來ル業態
デアリマス、ソレカラ現金取引デアリ
マス、ソレカラ品物ガ惡クナリマシテ
モ全部引換ヘテヤルト云ツタ譯デ、何等
ノ苦勞ナシニ樂ニ商賣ガ出來ルノデア
リマスカラ、都鄙ヲ通ジテ小賣人ニナ
リタイト云フ者ガ非常ニ多イノデアリ
マシテ、ソレヲドウカシテ防止スル方
法ヲモ考ヘナケレバナラスト考ヘテ居
ルノデアリマス、小賣ノ利益歩合ハ、
何等カノ機會ニ改正シナケレバナラヌ
ト考ヘテ居ツタノガ、今回實現シタノデ
アリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

マヌカ申上ケタ如ク只今ノ所ハ其三百萬圓ヲ以テ煙草消費者ニ對シテ便利ヲ與ヘル、煙草ノ値段ヲ下ゲルト云フコトハヤツテ居リマセヌ、又只今ノ所ハ、三百萬圓ヲ以テ今後煙草ノ値段ヲ下ゲテ行カウト云フ確定シタ考モ持ツテ居リマセヌ、考へ様ニ依リマシラハ武田君ノ言ハレルヤウニ手數料ヲ下ゲテ得タ金ナラバ、煙草ノ値段デモ下ゲル時ニ使用シタラ宜カラウト云フコトモーツノ考デアリマスガ、只今ハソコマデキマツタ考ヲ持ツテ居リマセヌコトヲ申上ゲテ置キマス

ソコデ私ハ少シ私等ノ議論ヲ確メル爲ニ數字ヲ、極ク大略デ宜シウゴザイマスガ、伺ツテ見タイト思ヒマス、ソコデ煙草ノ賣上高ハドレダケゴザイマシタカ、御分リニナツテ居ルダケヲ、極ク大略デ宜シイカラ伺ツテ見タイ

○平野政府委員 昭和四年度ノ專賣局益金ノコト、思ヒマスガ、昭和四年度ノ專賣局益金ハ煙草ガ一億七千八百六十三萬圓、昭和四年度ノ賣上高ハ大體三億二三千萬圓ダト思ヒマス、正確ナ數字ハ後カラ調べ申上グマス

○加藤委員 更ニ御伺致シタイト存ジマスコトハ先刻武田君ノ質疑ニ對シマシテ工賃ガ減ジタトカ何トカ云フコトモアリマシタガ、更メテ伺ヒマス、工賃モ只今ノ所デ減ジテ居ルダラウト思ヒマス、或ハ煙草ニ從事シテ居ル所ノ使用者ト申シマスカ——使用者ノ工賃總テガ減ジテ居ルダラウト思ヒマスガ、是モ大體デ宜シウゴザイマスカラ承リタイト思ヒマス、ソレカラ元賣捌廢止ニ依ツテ相當政府ガ利得ヲ舉ゲルコト、思ヒマスガ是モ一ツ承リタイト思ヒマス

○平野政府委員 一寸先刻昭和四年度ノ煙草賣渡代金ノ數字ヲ間違マシタカラ訂正シテ置キマス、昭和四年度ノ煙草賣上高ハ二億七千八百七十五萬二千

ハナイカ、工賃ガ幾ラ掛ツテ居ルカト云
フ御尋デアリマシタガ、專賣局職工ノ現
在ノ工賃ハ下ゲテ居リマセス、但新ラ
シク採用シマス部分ニ限ツテハ成ベタ
採用工賃ヲ少クスル、低クスルト云フ
方針ヲ執ツテ居リマス、ソレカラ工賃ノ
總額ヲ申上グマスト、元賣捌直營廢止
ノ爲ニ政府ノ增收トナルベキ金額ハ平
年度ニ於キマシテ百十五萬圓ニナルノ
デアリマス

ソレカラ工賃ノ減額ガ幾ラアルカト
云フ御話デアリマシタガ、工賃ハ下ゲ
テ居リマセス、唯、新ラシク採用スル時
分ニハ工賃ヲ下ゲル方針デアリマス、
六年度ハ三十九萬五千圓デアリマス

○加藤委員　是ハ消費稅ノコトニ關聯
シテ居ル譯デアリマスガ、煙草ノ賣上
總高ト云フモノハ只今承リマスレバ二
億七千萬圓、益金總額ハ一億七千萬圓
デアリマスガ故ニ、ザット計算致シマシ
テモ七割位ノ利益ガアルト云フカラ餘
程利益ガアルヤウニ思フノデアリマ
ス、二億七千萬圓賣ツテ一億七千萬圓儲
カル、コンナ暴利ナモノハアリマセス、
其上ニ工賃ノ減及賠償費ノ少クナツタ
コトガ五百七十八萬圓、ソレカラ元賣
捌廢止ニ依テ平年度ニ於テ約百十五萬
圓アルト云フコトデアリマス、ソレカ
ラ小賣一分減ニシテ三百萬圓、之ヲ合

計シマスト算盤ハ少シ違フカモ知レマ
セヌガ千百萬圓カ二百萬圓ダケ茲ニ政
府ハ不當利得——增收ト云フコトニナ
ルノデアリマス、然ルニ只今專賣局長
官ハ一般ノ商賣ガ收入ガ少クナッタ場
合ニ煙草ノ小賣商ノ利益ノ少クナルノ
ハ當然ダト仰シャル、ソレデ一分減ズ
ルノハ當然過ギル程當然ノ御議論デア
ルト仰シヤツタ、然ラバ其場合ニ政府ダ
ケハ、不當利得ヲシテ宜イト云フ理由
ハ何處ニアリマスカ、少クトモ一千何
百萬圓ト云フ茲ニ增收ガアル以上——
三百萬圓ヤ二百萬圓デアリマシタナラ
バ、是デ煙草ヲ安クスル譯ニハ行カヌ
ト云フ理窟ハ立ツデアリマセウガ、是
ダケ多ク儲カル、政府ノ不當利得ト云
フコトニナリマス、外ノモノヲ下ゲル
ノハ當リ前デアッテ、政府ノ取ルノガ當
リ前デアルト云フ理窟ガ何處ニアル、
ソレデ先程來質問シテ居リマス、消費
稅ノ輕減ト云フコトニ付テ——政府ハ
他ノ分ラヌ方デ資本家ヲ儲ケサシテ、
斯ウ云フ的確ナルコトハ抛ッテ置ク、是
ハドウ云フ譯デアリマスカ、之ハ大藏
大臣カラ御説明ヲ承リタイト思ヒマ
シテ、サウシテ普通ノ商賣——企業
ス

ノ利益ヲ取ツテ賣ルノデハナイノデア
リマス、即チ其處ガ專賣デアリマシテ
只今言ヒマス如ク、二億七千萬圓賣
テ、一億七千萬圓ノ純益ガアル、普通
ノ商賣カラ言ヒマシタナラバ、殆ド暴
利ト云ツテモ宜シイノデアリマス、併シ
ソコガ專賣デアツテ、即チ國家ノ收入ヲ
圖ルト云フ意味カラ出テ居ルノデアリ
マスカラ、即チ生產費、原料費——原
料品ノ代金ト云フコトハ、殆ド標準ニ
ナツテ居ラヌト云ツテ宜イ位ノコトデア
リマス、二億七千萬圓カラ一億七千萬
圓ノ純益ガ上ルト云フコトハ、殆ド專
賣ニアラザレバ、サウ云フコトハナカ
ラウト思ツテ居リマス、ソレデアリマス
カラ、只今ノヤウニ内地ノ原料品ニ對
スル賠償價格ガ下レバ、是ハ今言フ如
ク是迄ノ建前デアリマスカラ、安クナッ
タ原料品ヲ使用スル場合ハ製品モ下ゲ
ル、斯ウ云フコトニナリマスガ、ソレ
モ理窟カラ申セバ必シモサウセヌデモ
宜シイト思フノデアリマス、サウ云フ
風ニ專賣ノ制度ハ出來テ居ルノデアリ
マスカラ、只今申スヤウニ生產費ガ下ツ
タカラ、直ニ製品ヲ下ゲルト云フコト
ハ、當然ノ歸結トシテハ出テ來スノデ
アリマス、唯、武田君ニ御答シテ居ルヤ
ウニ、大體ノ經濟界ノ實情ヲ申セバ、
斯ウ云フ風ニ變化シ、小賣ノ手數料カ
ラモ三百何十萬圓ガ出來テ來テ、ソレ

ガ將來煙草ノ値段ヲ下グルコトニナル
デアラウト考ヘテ居リマスガ、只今左
様ナ確定的ノ考ヲ持ツテ居ラスト云フ
コトヲ御答致シタ次第アリマス

○加藤委員 私ハ岡田君ガ御質疑ガア
ルサウデアリマスカラ、極ク簡單ニ申上
テ質問ヲ留保シテ、是ダケ簡単ニ申上
ダマス、只今大藏大臣ハ色々理窟ヲ仰
セニナツタノデアリマスガ、要スルニ一
口ニ碎ケテ申セバ、政府ガソレダケ増
税ヲシタト云フコトニ相成ルノデアリ
マス、政府ノ收入ガ殖エテ、政府ガソ
レダケ増税ヲシタ、一方ニ於テ理窟ハ
抜キニシテ、實際問題トシテサウナリ
マス、政府ハ消費税ヲ一面ニ於テ輕減
シテ、私ガ本會議以來屢々言ッテ居ル所
ノ、民衆ノ、的確ニ消費税ノ恩恵ヲ受
ケル者ニ増税ヲシテ居ル、何ト云フコ
トデアリマスカ、私ハ言葉尻ヲ捉ヘテ
彼此レ言フノデハアリマセヌ、專賣局
長官ハ唯煙草ノ小賣ト云フモノハ樂
ナコトデアッテ、遊ンデ居テ出來ルノ
デアルカラ、希望者ガ多クテ困ル、斯
ウ云フモノハ廢メテ、安クシテ利益ヲ
少クシテ差支ナイト云フ、サウ云フコ
トデアレバ專賣局長官ヲ只デモヤル者
ガアル、政府ノ參與官デモ大臣デモ只
デモヤル者ガアル、サウ云フ馬鹿ゲタ
ブ考ヲ持ツテ居ルカラ困ル、何十萬人ト
ガ将来煙草ノ値段ヲ下グルコトニナル
デアラウト考ヘテ居リマスガ、只今左
様ナ確定的ノ考ヲ持ツテ居ラスト云フ
コトヲ御答致シタ次第アリマス

○加藤委員 私ハ少クトモ是ハ政府ガ
ルサウデアリマスカラ、極ク簡單ニ申上
テ質問ヲ留保シテ、是ダケ簡単ニ申上
ダマス、只今大藏大臣ハ色々理窟ヲ仰
セニナツタノデアリマスガ、要スルニ一
口ニ碎ケテ申セバ、政府ガソレダケ増
税ヲシタト云フコトニ相成ルノデアリ
マス、政府ノ收入ガ殖エテ、政府ガソ
レダケ増税ヲシタ、一方ニ於テ理窟ハ
抜キニシテ、實際問題トシテサウナリ
マス、政府ハ消費税ヲ一面ニ於テ輕減
シテ、私ガ本會議以來屢々言ッテ居ル所
ノ、民衆ノ、的確ニ消費税ノ恩恵ヲ受
ケル者ニ増税ヲシテ居ル、何ト云フコ
トデアリマスカ、私ハ言葉尻ヲ捉ヘテ
彼此レ言フノデハアリマセヌ、專賣局
長官ハ唯煙草ノ小賣ト云フモノハ樂
ナコトデアッテ、遊ンデ居テ出來ルノ
デアルカラ、希望者ガ多クテ困ル、斯
ウ云フモノハ廢メテ、安クシテ利益ヲ
少クシテ差支ナイト云フ、サウ云フコ
トデアレバ專賣局長官ヲ只デモヤル者
ガアル、政府ノ參與官デモ大臣デモ只
デモヤル者ガアル、サウ云フ馬鹿ゲタ
ブ考ヲ持ツテ居ルカラ困ル、何十萬人ト
ガ将来煙草ノ値段ヲ下グルコトニナル
デアラウト考ヘテ居リマスガ、只今左
様ナ確定的ノ考ヲ持ツテ居ラスト云フ
コトヲ御答致シタ次第アリマス

○加藤委員 私ハ少クトモ是ハ政府ガ
ルサウデアリマスカラ、極ク簡單ニ申上
テ質問ヲ留保シテ、是ダケ簡単ニ申上
ダマス、只今大藏大臣ハ色々理窟ヲ仰
セニナツタノデアリマスガ、要スルニ一
口ニ碎ケテ申セバ、政府ガソレダケ増
税ヲシタト云フコトニ相成ルノデアリ
マス、政府ノ收入ガ殖エテ、政府ガソ
レダケ増税ヲシタ、一方ニ於テ理窟ハ
抜キニシテ、實際問題トシテサウナリ
マス、政府ハ消費税ヲ一面ニ於テ輕減
シテ、私ガ本會議以來屢々言ッテ居ル所
ノ、民衆ノ、的確ニ消費税ノ恩恵ヲ受
ケル者ニ増税ヲシテ居ル、何ト云フコ
トデアリマスカ、私ハ言葉尻ヲ捉ヘテ
彼此レ言フノデハアリマセヌ、專賣局
長官ハ唯煙草ノ小賣ト云フモノハ樂
ナコトデアッテ、遊ンデ居テ出來ルノ
デアルカラ、希望者ガ多クテ困ル、斯
ウ云フモノハ廢メテ、安クシテ利益ヲ
少クシテ差支ナイト云フ、サウ云フコ
トデアレバ專賣局長官ヲ只デモヤル者
ガアル、政府ノ參與官デモ大臣デモ只
デモヤル者ガアル、サウ云フ馬鹿ゲタ
ブ考ヲ持ツテ居ルカラ困ル、何十萬人ト
ガ将来煙草ノ値段ヲ下グルコトニナル
デアラウト考ヘテ居リマスガ、只今左
様ナ確定的ノ考ヲ持ツテ居ラスト云フ
コトヲ御答致シタ次第アリマス

○加藤委員 私ハ少クトモ是ハ政府ガ
ルサウデアリマスカラ、極ク簡單ニ申上
テ質問ヲ留保シテ、是ダケ簡単ニ申上
ダマス、只今大藏大臣ハ色々理窟ヲ仰
セニナツタノデアリマスガ、要スルニ一
口ニ碎ケテ申セバ、政府ガソレダケ増
税ヲシタト云フコトニ相成ルノデアリ
マス、政府ノ收入ガ殖エテ、政府ガソ
レダケ増税ヲシタ、一方ニ於テ理窟ハ
抜キニシテ、實際問題トシテサウナリ
マス、政府ハ消費税ヲ一面ニ於テ輕減
シテ、私ガ本會議以來屢々言ッテ居ル所
ノ、民衆ノ、的確ニ消費税ノ恩恵ヲ受
ケル者ニ増税ヲシテ居ル、何ト云フコ
トデアリマスカ、私ハ言葉尻ヲ捉ヘテ
彼此レ言フノデハアリマセヌ、專賣局
長官ハ唯煙草ノ小賣ト云フモノハ樂
ナコトデアッテ、遊ンデ居テ出來ルノ
デアルカラ、希望者ガ多クテ困ル、斯
ウ云フモノハ廢メテ、安クシテ利益ヲ
少クシテ差支ナイト云フ、サウ云フコ
トデアレバ專賣局長官ヲ只デモヤル者
ガアル、政府ノ參與官デモ大臣デモ只
デモヤル者ガアル、サウ云フ馬鹿ゲタ
ブ考ヲ持ツテ居ルカラ困ル、何十萬人ト
ガ将来煙草ノ値段ヲ下グルコトニナル
デアラウト考ヘテ居リマスガ、只今左
様ナ確定的ノ考ヲ持ツテ居ラスト云フ
コトヲ御答致シタ次第アリマス

○本田委員長 答辯ガアリマセヌ

○加藤委員 是ハ御默認ナサツタコト
ダラウト思フ、言葉モ出マイト思フ、
マスガ、ドウモ満足ハ出來マセヌ、何
ダカ材料ノ出シ方ヲ遲延サレテ態々御
遠慮ナサルヤウニ思ヒマスカラ、是非
明日マデニ御出シヲ願ヒタイモノノ茲
ニ申上ゲマス、義務教育費ノ國庫負擔
増加ニ依ル市町村、減稅調査、私ノ要
求シタノハ是ダケデハナイ、都市別ノ
減稅目別、及其課率ノ減、ソレカラ其
中デ東京市ノ有様、之ヲ御願致シタイ
ノデアリマス、ソレカラ尙ホ明日ニ御
ハソレトシテ置イテ下サイ、今私ノ申
上ゲタノハ御分リデアリマセウ
大藏大臣ニ御伺ヒ致シタイノデアリ
マスガ、實ハ租稅ヲ課スルニ付テノ觀
念ト申シマスカ、目標ト申シマスカ、
原則ト申シマスカ、兎ニ角民政黨内閣
ノ懷イテ居ル租稅ノ原則ニ付テ私ハ疑
問ガアル、先づ話ヲ簡便ニスル爲ニ、
小川政務次官ガ、曾テ松谷委員ニセラ
レタ答辯ノ要領ヲ申上ゲテ、之ヲ大藏
大臣ハ御認メニナルカ、ナラヌカト云
之ヲ讀上ゲマス、松谷委員ノ人絹ニ關

云フ小賣商人ノ利益ヲ搾取スルト云フ
カ、私ハ之ニ對シテ何カ御答辯ガアリ
マシタナラバ、御答辯ヲ得テ、私ノ質
疑ハ明日ニ留保シテ本質問ニ入りタ
云フコトヲ申上ゲテ置ク、若シサウデ
イ、今ノハ言葉尻ヲ捉ヘルノデハナイ、
サウ云フ官僚式ノ間違タ頭デアルト
戴キタイ

○岡田委員 私ハ先程大藏大臣ノ御出
席ヲ要求シタノデアリマスガ、尙材料
ノコトデ二三内務省ノ方ニ要求致シマ
シテ、ソレカラ質問致シマスガ、内務
省ノ先刻御提出ノ材料ヲ見タノデアリ
マスガ、ドウモ満足ハ出來マセヌ、何
デアリマス故ニ是ハ大ニ考ヘテ貴ヒタ
イ、一分減ハ、一面ニ於テ小賣人ニ增
稅ヲシタト云フコト、ナル、之ニ對シ
テ増稅デナイト云フコトヲ專賣局長官
デ宜シイ、一度サウデナイト云フコト
ヲ明確ニ會得ノ行クヤウニ御答辯ヲ願
ヒタイ、出來ナカツタラ參ラレタト、斯
ウ思フ

○平野政府委員 加藤サンノ御意見ニ
對シテ一寸申上ゲタイト思ヒマス、或
返事ヲ残シテ置キマスガ、此市町村減
稅ノ調ハ何時ノ調デアルカ、其御調ノ
締切ノ日ヲ聞キタイノデアリマス、ソ
レカラ義務教育費ノ總額ヲ御配付ニ
ノデアリマス、ソレカラ尙ホ明日ニ御
ハソレトシテ置イテ下サイ、今私ノ申
上ゲタノハ御分リデアリマセウ
大藏大臣ニ御伺ヒ致シタイノデアリ
マスガ、實ハ租稅ヲ課スルニ付テノ觀
念ト申シマスカ、目標ト申シマスカ、
原則ト申シマスカ、兎ニ角民政黨内閣
ノ懷イテ居ル租稅ノ原則ニ付テ私ハ疑
問ガアル、先づ話ヲ簡便ニスル爲ニ、
小川政務次官ガ、曾テ松谷委員ニセラ
レタ答辯ノ要領ヲ申上ゲテ、之ヲ大藏
大臣ハ御認メニナルカ、ナラヌカト云
之ヲ讀上ゲマス、松谷委員ノ人絹ニ關

スル質問ヲ繞ツテ、發生シタ問題デア
ハ研究ヲシテ居ルト云フ意味ノ御話ガ
アリ、ソレニ次デ小川政府委員ガ御説
明ニナツテ居ル、少シ長クナリマスガ、
前後ヲ讀マナイト分リマセヌ、斯ウ言ッ
テ居ラレル「固ヨリ稅制ヲ編立テルニ
付テハ產業政策モハイツテ來ルコトガ
アリマスケレドモ、稅ト云フモノ、建
前カラ行ケバサウデナイノデアリマ
ス、國民ノ負擔ガドウ云フ風ニナルカ、
負擔ノ公平ヲ圖ル、ソレデ負擔ガ仕切
レルカ仕切レヌカト云フコトヲ見テ、
租稅制度ト云フモノハ立テルモノデア
リマス、今ノ人絹ノ問題デモ、何ノ問
題デモ、皆負擔能力ト云フヤウナ點デ
ナクシテ、輸出獎勵策トカ、或ハ國產
獎勵トカ云フヤウナ政策ニ付テノ御議
論ガアリマス、ソコハ減稅ノ問題モ、
サウ云フ風ナ建前デナクシテ、ソレニ
耐ヘル力アルヤ否ヤト云フコトカラ見
テ、是ハ考察ヲシタモノデアリマス、
隨テ産業政策ノ方カラ云ヘバ、今他ノ
政府委員カラ申シタヤウニ……」即チ
勝君ノコトデアリマセウ「輸出スルニ
ハ戻稅ガアリ、其他ノ方法デ獎勵ガ十
分ニ出來ル譯デアル、何モ稅ニ依ツテ
國產獎勵トカ、輸出獎勵トカ云フモノ
ヲヤラナクテモ宜イ」モウ一遍言ヒマ
ス「何モ稅ニ依ツテ國產獎勵トカ、輸出

獎勵トカ云フモノヲヤラナクテモ宜イ、成ベク出來得ベクンバ、ソレヲキツ
バリ分チタイト云フノデアリマス」斯様ナ一般的ノ稅ニ付テノ主義方針、原
則ヲ御述べニナツテ居リマス、之ヲ大藏
大臣ハ御認メニナリマスカ如何デアリ
マセウカ

提案シテ居リマス所ノ減税計畫ニハ、二種ノ消費稅ヲ捕ヘテ考ヘテ見マシテモ、殆ド産業政策ヲ入レル餘地ハナカツタト申上ゲテ宜カラウト考ヘテ居リマス、即チ小川君ノ言フ言葉カラ言ヘバ、國民ノ擔稅能力ト云フコトカラ割出サレテ、社會政策ノ主義ヲ取り、或ハ全體ヲ通ジテ一部ノ稅ヲ下グタ、斯ウ云フコトデアリマス、併シ根本ノ稅ノ觀念ニ行キマシテハ、是ハ此處デ議論スベキ限りデハアリマセヌケレドモ、稅制整理ヲ致シマス場合ニハ産業政策ト云フモノヲ必ズ加味シテ稅制ノ整理ヲスルコトガ幾多アルト云フコトヲ考ヘテ居リマス

川政府委員ノ御考ト、アナタノ御考ハ根本的ニ違フテ居ルト思フ、ナゼナレバ此産業助長政策其他ノコトハ、成ルベクナラバ切離シタイ、税ト云フモノハ偏ニ擔税力ヲ中心トシテ、其上ニ建テラレルモノデアル、國產獎勵或ハ産業ノ獎勵ナドハ、他ノ方法ヲ執フテモ宜イノデアリマス、成ベク切離シタイト云フコトヲ見レバ、アナタノ御話トハ全ク達フト私ハ見マス、先程繰返シテ讀ンダ通リ、即チ「何モ税ニ依フテ國產獎勵トカ輸出獎勵トカ云フモノヲヤハナクテモ宜イ」斯様ニ斷言シテアルデハアリマセヌカ、サウスルト只今大藏大臣ノ政府ヲ代表サレタル言明トハ違フノデアリマス

問題ニ付テノ御答辯ニ見テモ、全ク大藏大臣ノ御意見ト、小川君ノ御意見ハ背馳シテシマツテ居ル、例ヘバアナタノ御答辯ダカラ覺エテ御出デセウガ、第十五回ノ速記録ノ十一頁「只今ノ松井君ノ御説ニ對シテ簡單ニ御答致シマス云々」トアツテ、其前ノ松井君ノ御演説ヲ見タナラバ、大藏大臣ノ觀念ト、小川政府委員ノ、何レモ政府ヲ代表セラレタ方ノ説ガ如何ニ違フカト云フコトガ分ル、宜シク今夜之ヲ御精讀戴キマシテ、改メテ御答辯ヲ伺ヒタイ、其場限リノ御答辯デハ私ハ満足ガ出來マセヌ

○井上國務大臣 私ハ岡田サンニ申シテ置キマスガ、私自身ノ申上ゲタコトニハ御疑問ハゴザイマスマイカ
○岡田委員 アリマス
○井上國務大臣 ソレガアリマスナラバ、之ヲ其處デ明ニシテ置キタウゴザイマス、私ハ今ノヤウニ、全體ノ小川君ノ議論カラ言フト「產業政策モ入ッテ來ルノデアリマスガ」デ宜シイ、實際問題トシテハ私ガ申ス如ク產業政策ヲ入レル餘地ハナカツタ斯ウ云フコトデアリマスカラ、其上デ御判斷下サレバ宜シイト考ヘテ居リマス

○岡田委員 今ノ政府ノ發表セラレテ居ル意見ト云フモノハ、何レガ正シイカ、兎ニ角此速記録ト云フモノハ、天

下ニ公表サレルモノデアリマス、又新題デアル、此點ガハキリシナイ以上聞ニ出ルノデアルカラ、是ハ大キナ問題ノ上デ正確ナ御答辯ヲ願ヒ、其時ニガ出來ナイ、之ニ付テハモウ少シ御研究ノ上デ、第二ノ現實ノ問題ニ付テ私ハ質問者ヲ御比較下サツテ御判断下サレバ如デアリマスカ、私ガ解釋スル所ハ、全體ノ稅ノ輕減ト云フモノハ、產業政策モ入ッテ來ルケレドモト言ハレテ居ル、現實ノ問題デハ、私ガ言フ如ク產業政策ヲ加味スル餘地ガナカツタ、私ガ言フ通リデアリマス

○岡田委員 所ガ小川サンヲ庇フ點ハ宜シウゴザイマス、人情トシテ宜カラト思フケレドモ、ソシナ問題デナイ、所調稅ノ根本原理ノ問題ニ關スルモノデアリマスカラ、モウ少シ慎重ニ御考慮ノ上デ御答辯ヲ願ヒタイ、比較スレバ分ルト云フガ、私ニハソンナコトハガ話ガ早イ、「何モ稅ニ依ツテ國產獎勵モノヲ加味スルコトモアルト云フヤウナコトデハ満足出來ナイ、假令ソレヲ承認シテモ、經濟生活ニ向ツテ政府ハ稅ヲ課ケル時ニ何時デモ産業政策ヲ入レズドウシテ出來マスカ、此明瞭ナコトニ向ツテ彼此レトアナタハ詭辯ヲ弄スルト云フコトハ、政府ノ耻辱デアルト

○岡田委員 一寸明ニシテ置キマス、大藏大臣ガ御出デニナラヌ時ニ、誰ガ見テモ分ルノデアリマス
○小川政府委員 丁度私ガ今大藏大臣ノ仰シヤツタヤウナコトヲ申上ゲタノデアリマス、此稅力一方デヤラウト云フコトデアルガ、アナタハ產業政策モ入レルト言フ、小ガ、此第九回ノ速記録ノ七頁ノ「今」

策ト云フコトモ其考察點カラ見ルコトモアリマスガ、大體ハ負擔能力ト云フ點デ、租稅體系ト云フモノヲ組立テルマスカラ、サウ云フ生產政策、產業政策ノダト云フコトヲ申上ゲタ、今ノ減稅策ノ見地カラ離レテ、負擔能力ガアルカ無イカト云フコトカラ見テ決メタノデアル、所謂國民負擔ノ輕減ヲ圖ルト云フ方針トハマルデ違ツテ居ルト云フコトハ明カデアリマセヌカ

○井上國務大臣 ソレハ小川君カラ說前ノ文句一ツ々々ヲ捉ヘテ仰セデアリ出デニナラヌ先ニアナタニ説明シマシタ、現在此處ニ提供シテアリマス減稅モ私ハ説明シタノデアリマス、今大藏大臣ノ御話ト寸分違ツテ居リマセヌ、唯、マスケレドモ、私ガ丁度大藏大臣ノ御考度ノ減稅ノ問題ニハナイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマス減稅モ私ハ説明シタノデアリマス、今大藏大臣ノ御話ト寸分違ツテ居リマセヌ

○岡田委員 松谷君ノ問題デヤナイ、余計ナコトヲ言ウタノダ、政府委員ガ言ハヌデモ宜イコトヲ言ウタノデアルニ付テノ問題デアリマス

○岡田委員 松谷君ノ問題デヤナイ、余計ナコトヲ言ウタノダ、政府委員ガ言ハヌデモ宜イコトヲ言ウタノデアルニ付テノ問題デアリマス

○岡田委員 吾々ハ此產業政策ト云フモノヲ加味スルコトモアルト云フヤウナコトデハ満足出來ナイ、假令ソレヲ承認シテモ、經濟生活ニ向ツテ政府ハ稅ヲ課ケル時ニ何時デモ産業政策ヲ入レズドウシテ出來マスカ、此明瞭ナコトニ向ツテ彼此レトアナタハ詭辯ヲ弄スルト云フコトハ、政府ノ耻辱デアルト思フ

○小川政府委員 岡田君ニ申上ゲマスガ、此第九回ノ速記録ノ七頁ノ「今」

人絹ノ問題」ト云フコトカラ以下ハ、現在ノ減税問題ヲ取扱ツテ私ハ話シタスカラ、其前ガ税ノ組立ノ話デアリマスカラ、今ノアナタノ仰セラレテ居ル所ノ「成ベク出來得ベクンバ云々」ト云フノハ今ノ問題ニ續イテノ私ノ話デアリマスカラ、ソコハ能クハッキリ讀ンデ戴キタイノデアリマス

○岡田委員 アナタガ讀ンダラ宜シイ

○小川政府委員 大藏大臣ノ仰シヤルコト、少シモ違ツテ居リマセヌ

〔發言スル者多シ〕

○本田委員長 皆サンニ申上ゲマスガ、餘リ一緒ニゴタ一言ツテハ速記ガマルデ取レヌト云フコトデアリマスカラ、モウ少シ順序ヲ立ツテヤツテ下サイ、一々發言ヲ求メテオヤリニナラスト、一緒デハ速記ガ取レヌサウデアリマス、大口君ガ關聯シテ御意見ヲ御述べ

○大口委員 是ハ大藏大臣モ、政務次官モ能ク御話合ニナッテ、御訂正ニナルモノナラバ御訂正ニナッテハドウデスカ、之ヲ何處マデモ御抗辯ニナレバ、吾々マデモ議論ヲシタクナル、小川政務次官ノ御答辯ハ、後段ノ方ハ現在ノコトヲ言ツタト云フ議論デ押通サウト云フ、ソレデ濟ム、ソレヲ大藏大臣マデ加勢

ナサイマスケレドモ、之ヲ能ク讀ンデ御覽ニナレバ現在ノコトノミトハ言ヘス「何モ税ニ依ツテ國產獎勵トカ輸出

獎勵トカ云フモノヲヤラナクテモ宜イ」ト根本的ニ言ツテ居ラレル、サウシテ「成ベク出來得ベクンバ、ソレヲキッカリ分チタイト云フノデアリマス」トハッキリ言ツテ居ラレル、假令現在ノコトニ付テ言ハレタニシテモ税ノ根本觀念ヲ言ツタノデアル、大藏大臣ノ、成ベク産業政策ヲ加味シテヤリタイト云フ御趣旨ニハ私共モ賛成デ、是ハ此間ノ生絲ノ話、廣幅ノ話デ意見ガ一致シテ、大藏大臣ノ答辯ヲ私モ満足スルトマデ言ツテ、其方針ガ宜イト思フ、所ガ政務次官タル小川君ガ、斯ウ云フ全然違ツタコトヲ言ツテ居ラレルノデ、今日一寸議論ガ出テ、私ハ大シテ大問題ト思ツテ居ラヌカラ、黙ツテ御イデニナレバ濟ムト思ツタノニ、政府委員ガ出ラレテ又頻ニ御主張爲サルカラ引掛ツテ來テ、新ウ云フコトニナッテ居ル、是ハドウシテモ根ニナルナラバ大口君ニ許シマス

○本田委員長 皆サンニ申上ゲマスガ、私ハマダ大變アルノデスガ、内務大臣ノ御都合ハドンナコトニナッテ居リマスカ

○岡田委員 議事ノ進行ニ付テ申上ゲマスガ、私ハマダ大變アルノデスガ、内務大臣ノ御都合ハドンナコトニナッテ居リマスカ

○本田委員長 ソレデハ本日ハ是デ散会致シマシテ、明日ハ午前正十時ヨリ開會致シマス

午後六時三分散會

ト云フコトヲ聞キマシタ、又只今委員長カラ海軍大臣ガ明朝御出席ニナルト云フコトデ頗ル安心致シマシタガ、表作ツタ表ヲ見テ、五分ヤ十分デ直グ質問ハ出來マセヌカラ、何レニシテモ出タラ、是ハ事實上ノ問題トシテ委員長ニタ上デナケレバ、質問ニ掛レマセヌカ

○井上國務大臣 折角ノ大口サンノ御演説デモアリマスカラ、一ツ今晚能ク速記録ヲ拜見致シマシテ……

○岡田委員 議事ノ進行ニ付テ申上ゲマスガ、私ハマダ大變アルノデスガ、内務大臣ノ御都合ハドンナコトニナッテ居リマスカ

○本田委員長 ソレデハ本日ハ是デ散会致シマシテ、明日ハ午前正十時ヨリ開會致シマス

○内田委員 私ハ去ル二十一日海軍大臣ニ材料ノ提出ヲ御願シテ置イタノデスガ、多分明日ノ朝ハ手ニ入ルダラウ

昭和六年二月二十四日印刷

昭和六年二月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者

常磐印刷株式會社